

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

【茅野市】

事務事業名	文化財ガイドブック編纂、発刊事業			事業期間	平成 28 ~ 年度	整理番号	07020102
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志	連絡先	76-2386
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
				施策	06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供		
				細施策	08 文化財の充実		
				事務事業	02 文化財ガイドブック編纂、発行事業		
	予算事業名				会計コード	-	款 - 項 - 目 - 事業 -
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	昭和63年に発行した『茅野市の文化財』を新しく編纂する。 市内に所在する文化財を多くの方々に知っていただくために、ガイドブックを作成し、文化財巡りなどの一助に活用を図る。					
	現状と背景 （どうして）	市内には多くの文化財があり、その内容について解説された案内冊子が昭和63年以降発行されていないため、新たに指定された文化財を含めてガイドブックを作成する。 国宝に指定されている土偶「縄文のビーナス」と「仮面の女神」が掲載されていない。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民・文化財に興味のある者				
		対象 （直接働きかける）	市民・文化財に興味のある者				
		意図	文化財ガイドブック『茅野市の文化財』を新たに発行し、多くの方々に利用していただく。				
	手段・方法 （どうやって）	文化財審議委員会の先生方にはかりながら、昭和63年以降指定された新指定文化財の写真や、解説などを加え、利用しやすい、文化財ガイドブックを製作し販売する。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		原稿作成	作成件数	件	原稿作成件数/指定文化財数	102	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		作成原稿	作成件数	件	原稿作成件数/指定文化財数	102	

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円					2,031
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					2,031
職員数							
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人					
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	0.00
O （ ）	活動指標	作成件数	目標	件			102
			実績	件			102
		達成率	%	-	-	100.00	-
	-	-	目標	件			
			実績	件			
		達成率	%	-	-	-	-
	成果指標	作成件数	目標	件			102
			実績	件			102
		達成率	%	-	-	100.00	100.00
	-	-	目標	件			
			実績	件			
		達成率	%	-	-	-	-
備考	本年度は旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化と内容検討のため、予算を伴わないが、来年度実施計画として予算計上する。						

事務事業名	文化財ガイドブック編纂、発刊事業	事業期間	平成 28 ~	年度	整理番号	07020102	
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志	連絡先	76-2386

期	目 標	実 績	課 題
第1期	旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化と内容検討	旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化	他の業務の合間に入力作業を行っている。
第2期	旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化	旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化実施計画提出	他の業務の合間に入力作業を行っている。
第3期	旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化	旧『茅野市の文化財』の原稿のデジタル化実施計画提出	指定文化財の原稿については、ほぼデジタル化を終了した。
第4期	文化財審議委員とも協議しながら、指定文化財以外のものをどれだけ取り込んでいくかを検討する。	文化財審議委員会を開催し、図書の体裁等について協議していただいた。	未指定の文化財の検討と、本の構成等の検討はこれからである。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 他の業務の合間に入力作業を行っている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 実施計画で、印刷製本費を計上。	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>これまでに掲載されていない新指定の文化財のほか、未指定の文化財についても検討する。文化財の種類ごとか、地域ごとの検討も、文化財審議委員会にはかりながら検討していく。</p>															
記号の定義	<p>A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06040104															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	文化財巡りなどで持ち運べるガイドブックの体裁を検討する。解説文内容のコンパクト化と案内方法を考える。	ガイドブックは文化財を識る大きな手引きとなり、重要な役割を果たす。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後									
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止					②	⑤	⑦							
					③	⑥	⑨	④	⑧	⑩					
					①										
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
基本的な原稿・写真資料は整ったので、わかりやすさやガイドブック的な観点から、編集を平成28年度専門業者に委託し、秋頃には発刊を目指す。なお、原稿内容については、文化財審議委員にも提示し指導を仰いでいる。	通常公開されていない文化財を識る手がかりとして文化財ガイドブックは有効な手段である。														

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	文化財情報発信の充実による周知、啓発事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	07020103
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志
				連絡先	76-2386

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策 06 第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
			細施策 08 文化財の充実			
			事務事業 03 文化財情報発信の充実による周知、啓発事務事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 10 項 05 目 08 事業 01		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	NPO縄文文化輝く会が主体となって行っている、考古学関係講演会の開催。 県天然記念物ミヤマシロチョウなどの希少高山蝶の保護パトロールを市民団体茅野ミヤマシロチョウの会に委託し、周知、啓蒙を行う。				
	現状と背景 （どうして）	中央学会での成果に触れる機会が少ないため、講座を開催し好評を得ている。 ミヤマシロチョウを指定文化財と知らないことによる、捕獲などがあり減少の一途となっていたが、パトロールを継続することで周知化が図られてきている。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民・考古学・歴史・自然に興味がある者			
		対象 （直接働きかける）	NPO縄文文化輝く会に働きかけて 茅野ミヤマシロチョウの会に働きかけて			
		意図	考古学に興味ある者の理解を深め、身近な縄文文化について再確認してもらう。 身近に貴重なミヤマシロチョウが生息していることを知ってもらい、保護・保存について理解を深めてもらう。			
	手段・方法 （どうやって）	夏季に考古学や歴史民族等の関連学問を専門とする中央の研究者2名くらいに講演いただく。 茅野ミヤマシロチョウの会の学習会、観察会などで学び、その一つの活動として、生息地での啓蒙パトロールを行う。				
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		講演会PR	案内状の発送数	通	NPO会員・地元の興味のある者	500
		パトロール実数	パトロール日数	日	3人×20日	60
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		聴講者数	聴講者数	人	当日の聴講者数	500
		指導しない日を増やす	指導しない日を増やす	%	1-（指導日数/パトロール実施日数）×100	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）			
事業費等 (a)	円	416,160	407,480	499,000	492,262	679,000			
財源内訳									
国庫支出金	円								
県支出金	円								
地方債	円								
その他特定財源	円								
一般財源	円	416,160	407,480	499,000	492,262	679,000			
職員数	人	0.30	0.35	0.20	0.20	0.20			
正規職員	人								
嘱託職員	人								
臨時職員	人								
合計	人	0.30	0.35	0.20	0.20	0.20			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-			
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円	7.00	7.00	9.00	9.00	39.00			
D O （ ）	活動指標	案内状の発送数	目標	通	500	500	400	300	300
			実績	400	400	400			
		達成率	%	80.00	80.00	100.00	-		
	パトロール日数	目標	日	60	60	60	60	60.00	
		実績	60	60	100	60			
		達成率	%	100.00	100.00	166.67	100.00		
-	目標	-	-	-	-	-			
	実績	-	-	-	-	-			
	達成率	%	-	-	-	-			
成果指標	聴講者数	目標	人	100	80	80	80.00		
		実績	80	80	100	100			
	達成率	%	80.00	100.00	125.00	125.00			
	指導しない日を増やす	目標	%	100	100	100	100		
実績		100	100	100	100				
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00				
備考									

事務事業名	文化財情報発信の充実による周知、啓発事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020103
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志	連絡先	76-2386

期	目 標	実 績	課 題
第1期	講演会の日程調整 茅野ミヤマシロチョウの会との委託契約締結	茅野ミヤマシロチョウの会との委託契約締結	講演会の開催について、実施団体と調整ができない。
第2期	講演会の日程調整と、広報・実施	縄文文化講演会の実施	講演会の日程が決まるのが遅く、十分な広報ができない。
第3期	ミヤマシロチョウの会への委託金支払い	ミヤマシロチョウの会への委託金支払い。 来年度契約内容の見直しと予算要求	ミヤマシロチョウの生息地に隣接して、希少野生生物の生息地があり、その保護も行う必要がある。
第4期	活動予定なし	活動なし	活動なし

事 中 評 価																													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成 果</td> <td>拡 充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方 向 性</td> <td>縮 小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性</td> <td></td> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今	成 果	拡 充		②	⑤	⑦	後	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨	の	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩	方 向 性		休 廃 止	①			
今	成 果	拡 充		②	⑤	⑦																							
後	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨																							
の	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩																							
方 向 性		休 廃 止	①																										
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																												

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	会場を市民館にしたところ、大幅に聴講者数を増やすことができた。茅野ミヤマシロチョウの会による保護監視活動は、年々活発になり、小学生に自然に触れる機会を作る「こども自然探検隊」による活動、博物館の「子ども科学クラブ」による観察会なども行われ、啓もう活動にも力を入れてきた。会員数は会員の高齢化もあり多少減少傾向にあるため、会員数の獲得が課題である。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	
	前年度評価シート整理番号	06040102

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	講演内容を、より一般人が興味を引く話題性のあるものを取り上げるなど、企画内容を練る必要がある。ミヤマシロチョウの監視活動は、パトロールだけでなく、幅広い啓もう、普及活動を展開していく必要がある。	文化財についての理解と関心を深め、身近な文化財について再認識してもらおう機会とする。身近に貴重なミヤマシロチョウが生息していることを知ってもらい、保護について理解を深めてもらう大切な施策である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充			
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
性	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策	絶滅が危惧される文化財の保護監視活動を充実させることで、ミヤマシロチョウの生態やその観察を維持しなくてはならない。文化財の重要性を周知し、関心を高めるために講演会の開催は重要な手立てとなり、これを継続することは重要である。	文化財を保護・保存していくためには、周知・啓もう活動事業は大事であり、できるだけ現状を維持したい。
--------	---	---

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	未指定文化財の指定事務事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020104				
担当部署	教育委員会	生涯学習部	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志		連絡先					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供							
				細施策	08	文化財の充実							
				事務事業	04	未指定文化財の指定事務事業							
	予算事業名	高島藩諏訪家廟所調査費			会計コード	001	款	10	項	05	目	08	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市内に多くある文化財の中で特に貴重なものについて、文化財審議委員会に諮りながら、指定していく。 上原頼岳寺所在の高島藩諏訪家廟所（市史跡）の国史跡に向けての調査を行う。												
現状と背景 （どうして）	これまで大切に守られてきた文化財も、生活様式や世代が変わると価値観が薄れ、失われてしまう。 大名家墓所について、全国で国史跡指定が行われており、本件も諏訪市と一体になって進める。												
目的	対象 （誰のために）	地域 の 自然や歴史に関心のある市民。											
	対象 （直接働きかける）	文化財所有者や土地所有者。											
	意図 （どんな状態にしたいか）	地域 の 自然や歴史に関心を持ち、郷土を愛し、誇りに思う人材を育てる。											
手段・方法 （どうやって）	指定文化財候補について調査を行い、文化財審議委員会に諮る。 石造文化財について詳しい業者に調査を委託し、報告書作成に備える。												
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		文化財審議委員会の開催	開催回数	回	審議委員会開催回数				2				
		事業委託	件数	会	地形測量と石塔調査				2				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		文化財審議委員会の開催の開催	開催回数	回	審議委員会開催回数				2				
		委託成果品	成果品	件	委託成果品納入				2				

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況	事業費等 (a)	円	34,886	260,590	85,000	1,351,080	752,000	
	国庫支出金	円				675,540	350,000	
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	34,886	260,590	85,000	675,540	402,000	
	職員数	人				0.10		
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人				0.10		
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	1.00	5.00	2.00	24.00	13.00	
D O （ ）	活動指標	開催回数	目標	回	2	2	2	2
			実績	回	0	2	2	2
	達成率	%	0.00	100.00	100.00	50.00		
		%				2		
	件数	目標	会					
		実績	会					
達成率	%	—	—	—	—			
	%	—	—	—	—			
成果指標	開催回数	目標	回			2	2.00	
		実績	回			1		
	達成率	%	—	—	—	50.00		
	成果品	目標	件				2	
実績		件				2		
達成率	%	—	—	—	100.00			
備考	10-5-8-1一般経費の文化財審議委員会経費63,000を含む							

事務事業名	未指定文化財の指定事務事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07020104
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志	連絡先		

期	目 標	実 績	課 題
第1期	委託契約準備 委託契約	委託契約準備	土地の所有者が遠隔地で、連絡が取りにくかった。
第2期	委託契約 測量実施	委託契約 測量実施	石塔調査の開始が遅れているが、めどが立った。
第3期	測量実施 文化財審議委員会開催	地形測量と石塔の調査 地形測量の成果納品	石塔の調査が遅れている。
第4期	文化財審議委員会の開催	石塔調査成果納品 文化財審議委員会の開催	来年度の報告書作成

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 報告書作成の予算を要求	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課題	市有地で未指定の遺跡について、積極的に文化財指定を行う。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		
前年度評価シート整理番号		

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		高島藩諏訪家廟所の調査について、諏訪市教育委員会と連携をとりながら進めていく。					文化財の指定行為は文化財保護の基本となるので、基本的調査を行い文化財の価値の基本情報を把握しておく必要がある。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止	② ③ ④ ①	⑤ ⑥ ⑧	⑦ ⑨ ⑩	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止			
改革・改善策	市有地で未指定文化財候補について、文化財審議委員に諮り、積極的に文化財指定を行う。					文化財指定の基本調査を今後も深めその資料に基づき、文化財審議委員会に諮り、文化財指定について積極的に取り組む。				

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	文化財保護団体の育成と助成事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020105				
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志			連絡先	76-2386				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供								
			細施策	08	文化財の充実								
			事務事業	05	文化財保護団体の育成と助成事務事業								
予算事業名	文化財保護団体育成支援事業			会計コード	001	款	10	項	05	目	08	事業	02
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	指定文化財保護・保全のために条例に基づき事業実施主体者に補助金を交付する。												
現状と背景 （どうして）	指定文化財保護・保全等の管理の一助として交付する。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	指定文化財所有者・管理者											
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	同上											
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	指定文化財管理、修理事業を行い長く文化財を伝えていく。											
手段・方法 （ ど う や っ て ）	指定文化財保有者または管理団体の活動に対し、補助金を交付する。												
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	活動指標	補助対象件数	補助対象件数	件	対象件数				102				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		保護・保全の状態	文化財保護率	%	保護件数/指定文化財件数				100				

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	232,110	441,420	1,167,000	166,110	167,000	
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	232,110	441,420	1,167,000	166,110	167,000	
	職員数							
	正規職員	人	0.20	0.05	0.05	0.05		
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人	0.20	0.05	0.05	0.05	0.25		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	4.00	8.00	21.00	3.00	3.00		
O （ 活 動 指 標 ）	補助対象件数	目標	4	4	4	3	3	
		実績	4	4	4	3		
		達成率	100.00	100.00	100.00	100.00		
	-	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
		達成率	-	-	-	-		
	-	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
		達成率	-	-	-	-		
	成果指標	文化財保護率	目標	104	104	104	102	102.00
			実績	4	4	4	3	
		達成率	3.85	3.85	3.85	2.94		
-		目標	-	-	-	-		
実績	-	-	-	-				
達成率	-	-	-	-				

備考 H24県宝白岩観音修理事業
H25権現の森修理事業
H26田沢稻荷神社修理事業 本年度は新規の補助事業の予定がない。

事務事業名	文化財保護団体の育成と助成事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07020105
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志	連絡先	76-2386

期	目 標	実 績	課 題
第1期	補助金交付事務	補助金交付事務	特になし
第2期	支払い事務	支払い事務	特になし
第3期	予算要求	支払い事務 予算要求	特になし
第4期	精算事務	精算事務	特になし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4					4	A
課題	文化財所有者の負担割合の軽減も考え、補助金を拡充することにより、よりよい文化財保護が図れる。なお、最低線の補助金は維持していかななくては、現状が維持できなくなる。																				
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					06040101					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
		補助個所の順位付け等の工夫は必要であるが、定額で均一に補助を行うことで、適切な管理・保護が図られている。																		
	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後							
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	成 果 の 方 向 性	拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止		
		②	③	④	①			③	④				
		⑤	⑥	⑧				⑥	⑧				
		⑦	⑨	⑩				⑨	⑩				
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
	現状を最低限維持し、事業の推移を見守りたい。					通常の補助事業に関しては現状を維持したい。							

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	史跡整備、活用のための調査事務	事業期間	平成 23 ~ 年度	整理番号	07020106
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔
				連絡先	76-2386

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策 06 第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
			細施策 08 文化財の充実			
			事務事業 06 史跡整備、活用のための調査事務事業			
予 算 事 業 名	縄文の里史跡整備活用事業費		会計コード	001 款 10 項 05 目 09 事業 04		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市は「縄文の里」と呼ばれるように、豊かな自然を背景に200箇所以上の縄文遺跡が残された地域である。尖石遺跡、上之段遺跡、駒形遺跡は茅野市を代表する縄文時代の集落遺跡であるが、学術的にも極めて重要であるとの点から国の史跡に指定されている。これら3遺跡を連関させた整備・活用事業を地域住民・市民とともに進めながら、まちづくりや人づくり（市民総学芸員化）にもいかしていく。					
現状と背景 （どうして）	尖石遺跡は史跡内の確認調査によって遺跡の内容が詳細に把握され、この成果に基づいて平成20年に史跡整備が終了している。これに対し、上之段遺跡と駒形遺跡は史跡内の本格的な確認調査が行われていないため、遺跡の内容に不明な点が多い。そのため整備と活用が進められず、3遺跡を連関させた整備・活用事業も展開できない。					
目 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受 益 者 （ 誰 の た め に ）	市民、文化財に興味がある者				
	対 象 （ 直 接 働 き か け る ）	市民、文化財に興味がある者				
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	意 図	遺跡の立地・継続時期などの違いを踏まえた特徴ある史跡の整備と活用を図り、当地域に繁栄した縄文文化に対する知識を深めてもらう。				
		史跡内・外（史跡隣接地）を対象に、遺跡の内容やその広がり把握するための確認調査を地域住民（遺跡がある地区住民）とともに計画的に行う。この成果と史跡範囲周辺で行われた過去の発掘成果をまとめ、遺跡の実態や特徴を明らかにする。これら遺跡情報を地域住民と共有し、公民協働で整備・活用方法を立案する。 駒形遺跡の国史跡追加指定地の鑑定評価を行い、買い上げの準備を行う。				
N （ ） 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		体験発掘の実施	遺跡に対する関心度	回	児童、地域住民、地元の文化財に興味がある者	4
		現地説明会の開催	遺跡に対する関心度	回	市民、考古学に興味がある者	2
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		体験発掘の参加者数	市民総学芸員化	人	当日の参加者数	60
		現場見学会の参加者数	市民総学芸員化	人	当日の参加者数	150

実 施 状 況 （ ） D O （ ） 備 考	項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
	財 源 内 訳	事業費等 (a)	円	2,203,028	2,000,000	2,400,000	375,192	300,000
国庫支出金		円	1,101,000	1,000,000	1,200,000			
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円						
一般財源		円	1,102,028	1,000,000	1,200,000	375,192	300,000	
正規職員		人	0.50	0.40	0.35			
嘱託職員		人						
臨時職員		人						
合 計		人	0.50	0.40	0.35			
活 動 指 標	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	39.00	36.00	43.00	7.00	5.00	
	遺跡に対する関心度	目標	回	4	4	2	2	1
		実績	回	4	0		0	
		達成率	%	100.00	0.00	-	0.00	
		目標	回	2	2	1	1	1.00
	遺跡に対する関心度	実績	回	2	0	1	0	
達成率		%	100.00	0.00	100.00	0.00		
目標		-						
実績		-						
達成率	目標	%	-	-	-	-		
	実績	%						
	目標	人	60	60	60	60		
	実績	人	86	0	0	0		
市民総学芸員化	達成率	%	143.33	0.00	0.00	0.00		
	目標	人	150	60	60	60		
	実績	人	170	0	60	0		
	達成率	%	113.33	0.00	100.00	0.00		

本年度は発掘調査は行わない。
H26年度実施した駒形遺跡の発掘調査報告書作成は、10-5-9-3市内遺跡発掘調査費で行う。

事務事業名	史跡整備、活用のための調査事務	事業期間	平成 23 ~	年度	整理番号	07020106	
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先	76-2386

期	目 標	実 績	課 題
第1期	土地鑑定委託契約準備。 報告書作成準備。	土地鑑定委託契約準備。 駒形遺跡発掘測量図面修正。 駒形遺跡出土遺物実測。 上之段遺跡の表面探集	他の報告書作成との平行であるため、進捗状況が把握できない。
第2期	土地鑑定委託契約準備。 駒形遺跡発掘測量図面修正。 駒形遺跡出土遺物実測。	土地鑑定委託契約準備。 駒形遺跡発掘測量図面修正。 駒形遺跡出土遺物実測。 上之段遺跡の表面探集	土地鑑定が進まない 他の報告書作成との平行であるため、進捗状況が把握できない。
第3期	報告書作成業務	土地鑑定 報告書作成	
第4期	報告書作成業務	報告書作成・刊行	

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 方 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
駒形遺跡の追加指定地について、早急に鑑定評価を行い、買い上げの説明会を開催し、地権者と交渉を行う。 本年度は発掘調査の予定はないが、上の段遺跡の表面探集を学校の要請により行う。	チェック				4					4					4					4	A
	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																				
	前年度総合評価判定										A										
	前年度評価シート整理番号 06040106																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	早急に鑑定評価を行い、買い上げの説明会を開催し、地権者と交渉を行う。 事業の内容と方向性は妥当であるが、調査の実施時期を学校とする必要がある。	史跡の整備・活用事業を進めながら、市民総学芸員化を目指す当事業は、地域の歴史資産をまちづくり・人づくりにいかすことのできる茅野市特有の施策である。遺跡保護の観点からも、早期に確認調査を行い、その結果に応じた適切な整備を施す必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	成果の方向性	拡 充		
方向性	現 状 維 持		③	⑥	⑨	方向性	現 状 維 持			
方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩	方 向 性	縮 小			
性	休 廃 止	①				性	休 廃 止			
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策	平成26年度に実施した駒形遺跡の試掘調査の結果を、報告書として遺跡の内容をまとめ、その重要性を再認識する機会とする。今後の報告書に基づき史跡の保護・保存に努める。	史跡を適切に管理し保護保存を図ることは重要なことであり、史跡を活かした縄文プロジェクトの守る観点からも重要な取組である。
--------	---	--

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	史跡整備・管理事務	事業期間	平成 〇〇 年度	整理番号	07020107
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志
				連絡先	76-2386

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
				施策 06 第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供		
				細施策 08 文化財の充実		
				事務事業 07 史跡整備・管理事務事業		
予 算 事 業 名	史跡整備・管理費			会計コード 001 款 10 項 05 目 09 事業 05		
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	公有地化を図った国史跡駒形遺跡27,020㎡、国史跡上之段遺跡23,531㎡の草刈り作業を実施、史跡の保存に努め、後世に残す。 整備された中っ原縄文公園の清掃管理を行うほか、老朽化した施設の保守を行う。 また、市で管理する王経塚古墳と永明寺山古墳、中っ原縄文公園の草刈りを行う。					
現状と背景 （どうして）	国史跡公有地の管理を行わないと荒廃化が進行し、周辺景観に悪影響を与える。 重要文化財土偶出土地保存公園の保護管理は、文化財保護の観点からも重要である。					
対 象 （ 誰 の た め に ）	受益者	市民および国民のため				
対 象 （ 直 接 働 き か け る ）	対象	公園利用者 管理受託者に働きかける				
意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	公有地を整然とした状態で維持したい。 常に整備、管理されたきれいな史跡公園を目指す。					
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	公有地の年2回の草刈りを行い、管理を図る。 史跡公園内の管理、植栽管理を行う。					
N （ 評 価 指 標 の 作 成 ）	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	活動指標	草刈り実施面積	草刈り実施面積	㎡	草刈り委託面積	50,551
		公園清掃日数	清掃日数	日	9ヶ月×4週×2日	72
	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		草刈り管理されている面積	管理率	%	草刈り委託面積／指定地面積	100
	公園清掃割合	管理率	%	清掃実施日数／清掃委託日数	100	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	2,665,892	2,567,800	2,257,000	2,077,376	4,025,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	2,665,892	2,567,800	2,257,000	2,077,376	4,025,000	
職員数	人	0.40	0.30	0.20	0.20	0.30	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合 計	人	0.40	0.30	0.20	0.20	0.30	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	47.00	46.00	40.00	37.00	112.00	
D （ 活 動 指 標 ）	草刈り実施面積	目標	㎡	50,551	50,551	50,551	50,551
		実績	㎡	50,551	50,551	50,551	50,551
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	清掃日数	目標	日	72	72	72	72.00
		実績	日	72	72	72	72
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
—	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
	達成率	%	—	—	—	—	
O （ 成 果 指 標 ）	管理率	目標	%	100	100	100	100.00
		実績	%	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	管理率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
備考							

事務事業名	史跡整備・管理事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020107
担当部署	教育委員会	文化財課	文化財係	作成担当者名	小林 深志	連絡先	76-2386

期	目 標	実 績	課 題
第1期	委託契約の締結準備。 委託契約の締結。	委託契約の締結準備。 委託契約の締結。 中っ原縄文公園花壇整備	駒形遺跡の草刈管理の契約が遅れ、ゴールデンウィーク直後の作業ができなかった。
第2期	作業実施。	作業実施。 上之段遺跡に表面採集禁止の看板を設置	上之段遺跡の表面採集を外部の人が行っているとの通報あり
第3期	作業実施。	作業実施。 上之段遺跡の管理方法の検討	中っ原縄文公園のジオラマが傷んでおり、修復工事が必要
第4期	特になし	中っ原縄文公園入口の看板に国宝の文字を追加	特になし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 中っ原縄文公園のジオラマ修理工事を予算化	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	公有地を適切に管理することは必要である。地元からも適切な草刈り管理の要望を受けている。新しく整備した永明寺山古墳の草刈り等の事業が増えている。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06040105															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現状を維持し、今後も継続していくことが必要。	史跡地を整然とした状態で維持し、常に整備、管理されたいきれいな史跡公園を目指すために大切な施策である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現状維持で基本とするが、さらに草刈回数の増加等検討が必要。	現状維持を基本とするが、草刈りの実施時期を検討することで適正な管理をし充実を図ることができる。								
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止									
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	埋蔵文化財に関する周知、啓発事務事業	事業期間	平成 27 ~ 28 年度	整理番号	07020110
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先
					76-2386

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 08 文化財の充実 事務事業 10 埋蔵文化財に関する周知、啓発事務事業		
	予算事業名	埋蔵文化財保存活用整備事業費		会計コード 001 款 10 項 05 目 09 事業 06		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	埋蔵文化財（土器・石器等）を公開・活用するために、再整理および台帳の作成を行う。埋蔵文化財を活用した小・中学校対象の体験学習会を開催し、埋蔵文化財に関する啓発を図るとともに、「市民総学芸員化」を進める。				
	現状と背景 （どうして）	収蔵庫に保管されている埋蔵文化財の整理が十分でないため、公開・活用に支障をきたしている。				
目的 （ P L A N ）	対象 （誰のために）	受益者 市民・埋蔵文化財に興味がある者				
	対象 （直接働きかける）	同上				
目的 （ P L A N ）	意図 （どんな状態にしたいか）	埋蔵文化財に直にふれる機会をとおり、地域の歴史を知り、学んでいただくとともに、埋蔵文化財を大切にすることを養っていただく。				
	手段・方法 （どうやって）	埋蔵文化財の公開・活用に係る準備作業を容易にするため、再整理と台帳化を進める。一例として、実物の縄文土器を手本に、土器作りの体験会を行う。				
N （ P L A N ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		埋蔵文化財の再整理	再整理した箱数	箱		120
		体験学習会の実施	埋蔵文化財に対する関心度	回		6
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		埋蔵文化財の適切な収納と台帳化	資料の台帳化	%		100
		体験学習会の参加者数	市民総学芸員化	人	参加者数	120

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	3,568,060	2,900,000	2,000,000	1,993,232
財源内訳	国庫支出金	円	1,784,000	1,450,000	1,000,000	996,616	1,300,000	
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円	1,784,060	1,450,000	1,000,000	996,616	1,300,000	
	正規職員	人	0.30	0.40	0.20	0.20		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
状況	合計	人	0.30	0.40	0.20	0.20	0.45	
	対象（者）数							
状況	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
状況	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	64.00	52.00	36.00	36.00	46.00	
D O	活動指標	再整理した箱数	目標	箱	120	70	110	100
			実績	箱	126	70	96	
	達成率	%	105.00	100.00	87.27	-		
	埋蔵文化財に対する関心度	目標	回	6	6	6	6.00	
		実績	回	5	6	6		
	達成率	%	83.33	100.00	100.00	-		
成果指標	資料の台帳化	目標	%	100	100	100	100.00	
		実績	%	100	100	100		
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00			
市民総学芸員化	目標	人	120	120	120	120		
	実績	人	70	58	110	51		
	達成率	%	58.33	48.33	91.67	42.50		
備考								

事務事業名	埋蔵文化財に関する周知、啓発事務事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020110
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先	76-2386	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	作業準備	作業準備	職員による作業準備を行う。できるだけ、連続して作業員を雇用し作業してもらいたいため、作業員雇用を控える。
第2期	作業実施	作業実施	発掘調査と報告書作成の合間に行っているが、順調。
第3期	作業実施	作業実施	別事業の報告書作成に従事したため、作業量は減少。
第4期	作業実施	作業実施 収蔵整理	収蔵用棚収容の確保が難しくなっており、整理や移動によりなんとかスペースを確保している。

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 国庫補助金額の減少により、通年を通して作業員を雇用できないため、下半期に集中して雇用し作業してもらうことになる見込み。	今 後 の 方 向 性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 引き続き新年度も継続して実施。	成 果 の 方 向 性																
	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
拡 充	②	⑤	⑦														
現 状 維 持	③	⑥	⑨														
縮 小	④	⑧	⑩														
休 廃 止	①																
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	埋蔵文化財の再整理と、埋蔵文化財を活用した体験学習会は、おおむね計画通りに進めることができた。なお、体験学習会の実施にあたり、小中学校の主要な行事である運動会・音楽会などの調整に苦慮した。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	小中学校の年間計画表を入手し、あらかじめ主要な行事と重ならない時期に体験学習会を行う旨を伝えれば、さらに回数が増え、今以上に埋蔵文化財を有効に活用することができる。	埋蔵文化財の活用を通して、地域の歴史を直に学ぶことのできる大切な施策である。また、これを実現するための埋蔵文化財の再整理と台帳化も継続する必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後																														
	埋蔵文化財の再整理と台帳化は、文化財の活用・公開に必要な事業であるので、引き続き現状を維持して進めたい。体験学習会は平成25年度並に実施する予定である。	埋蔵文化財の公開・活用は、地域の歴史を学ぶ一助とするために必要であるので、継続して実施する。埋蔵文化財の再整理と台帳化は、文化財の活用・公開には欠かせない事業であるので、継続して事業を進めて行く。																																		
今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性																										
	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充				現 状 維 持			レ	縮 小				休 廃 止				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性
拡 充	②	⑤	⑦																																	
現 状 維 持	③	⑥	⑨																																	
縮 小	④	⑧	⑩																																	
休 廃 止	①																																			
拡 充																																				
現 状 維 持			レ																																	
縮 小																																				
休 廃 止																																				

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	市内遺跡緊急発掘調査事務	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	07020111
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先
					76-2386

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
			細施策 08 文化財の充実			
			事務事業 11 埋蔵文化財発掘の実施と記録公開事務事業			
	予算事業名	市内遺跡発掘調査受託事業費		会計コード 001 款 10 項 05 目 09 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	各種開発事業に伴い、失われてしまう遺跡を記録保存するために発掘調査を行う。調査成果は発掘調査報告書にまとめ、後世に伝えていく。あわせて、地域の歴史に直にふれていただくために現地説明会を開催する。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市の歴史的財産である遺跡が失われるため、記録保存を図る必要がある。				
	目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	受益者 市民、遺跡に関心のある者			
		対象 （ 直 接 働 き か け る ）	開発事業者			
		意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	事業者が発掘調査の協力を求め、その中で現地説明会を開催し、失われる遺跡を見学してもらう。あわせて、発掘調査報告書を刊行し、歴史を学ぶ一助に活用していただく。			
	手段・方法 （ ど う や っ て ）	発掘現場の公開と、発掘報告書を作成する。				
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		開発事業者との遺跡の保護協議	開催回数	回	保護協議回数	10
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保護協議の割合	開催率	%		100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円		1,939,000	2,000,000	238,140	2,002,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円		1,939,000	2,000,000	238,140	2,002,000	
一般財源	円						
職員数	人					0.30	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人					0.30	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	35.00	36.00	4.00	76.00	
D （ ）	活動指標	開催回数	目標 10 実績 0 達成率 0.00	目標 10 実績 2 達成率 20.00	目標 10 実績 2 達成率 20.00	目標 10 実績 0 達成率 0.00	
		-	目標 - 実績 - 達成率 -				
	成果指標	開催率	目標 100 実績 100 達成率 100.00	目標 100 実績 100 達成率 100.00	目標 100 実績 100 達成率 100.00	目標 100 実績 0 達成率 0.00	
		-	目標 - 実績 - 達成率 -				
備考							

事務事業名	市内遺跡緊急発掘調査事務	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020111
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先	76-2386	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	開発事業者との保護協議		
第2期	開発事業者との保護協議		
第3期	開発事業者との保護協議		
第4期	開発事業者との保護協議		今年度の緊急発掘調査は発生しなかったが、引き続き、早めの事前協議に努めたい。

事 中 評 価			
今 成 果 後 の 方 向 性 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 試掘確認調査から本発掘に切り替える開発がなく済んでいる。	拡 充	②
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 今年度同様実施予定。	現 状 維 持	③
		縮 小	④
		休 廃 止	①
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					1 2 3 4 判定					
	チェック					4					4					4					
課題	開発は景気にも左右されるため、発掘件数や経費は予測が難しい。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号					
前年度総合評価判定																	A				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	個人住宅以外の営利を目的とする開発に伴う発掘調査費用は、事業主が負担することになっているが、補正予算成立まで調査ができない状況をなくすために予算措置している。					個人住宅以外の営利を目的とする開発に伴う発掘調査費用は、事業主が負担することになっているが、補正予算成立まで調査ができない状況をなくすために予算措置している。				
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拡 充	②	⑤	⑦	成果の方向性	拡 充			
	今 後 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
縮 小		④	⑧	⑩	縮 小					
休 廃 止		①			休 廃 止					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
改革・改善策	個人住宅以外の営利を目的とする開発に伴う発掘調査費用は、事業主が負担することになっているが、補正予算成立まで調査ができない状況をなくすために予算措置している。消費税10%の導入前の駆け込み開発が予想され、特に宅地分譲等の増加が見込まれるため、民間業者との事前協議や情報収集を活性化していく。					今年度、開発事業に伴う発掘調査は発生しなかったが、アベノミクスによる景気回復に伴う開発や、消費税導入前の駆け込み開発が予想されるため、現状維持とする。				

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	市内遺跡範囲確認調査事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	07020112
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先
					76-2386

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 08 文化財の充実 事務事業 11 埋蔵文化財発掘の実施と記録公開事務事業		
	予算事業名	市内遺跡発掘等調査事業費		会計コード 001 款 10 項 05 目 09 事業 03		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	遺跡を開発事業から守るためには、遺跡の範囲や内容（遺構密度・深度）を把握した上で調整を図る必要がある。そのため遺跡の一部を対象に確認調査を行う。また、個人住宅を遺跡内に建築する際に、発掘調査を行い、記録保存をする。				
	現状と背景 （どうして）	開発事業によって遺跡の破壊が進んでいる。				
目 的 （ P U R P O S E ）	対象 （誰のために）	開発事業者、遺跡に関心のある市民				
	対象 （直接働きかける）	開発事業者				
	意図 （どんな状態にしたいか）	遺跡保護と開発事業の調整を図り、茅野市の財産である遺跡を現状のまま後世に伝える。				
手 段 ・ 方 法 （ D O I ）	確認調査で得られた遺跡の情報と開発事業の計画をすり合わせ、遺跡に影響のない場所または深度で事業を行っていただくよう設計変更などの協力を求める。 個人住宅建築に際し、施工業者と協議を行い、できるだけ遺跡の破壊がないように調整を行い、やむを得ない場合は発掘調査を行う。					
N （ E V A L U A T I O N ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		開発事業者との遺跡の保護協議	開催回数	回	保護協議回数	3
		保護する対象面積	保護対象面積	m ²	開発事業面積	1,000
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		保護協議の割合	開催率	%		100
		保護された遺跡面積	保護率	%		100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	216,442	1,900,000	1,700,000	2,092,881	2,750,000		
財源内訳								
国庫支出金	円	108,000	950,000	850,000	1,046,440	1,375,000		
県支出金	円							
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	108,442	950,000	850,000	1,046,441	1,375,000		
職員数	人	0.50	0.40	0.35	0.35	0.55		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.50	0.40	0.35	0.35	0.55		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	4.00	34.00	30.00	37.00	123.00		
D O （ I N D I C A T O R ）	活動指標	開催回数	目標	回	3	3	15	7
			実績	回	3	10	10	7
	達成率	%	100.00	333.33	66.67	100.00		
		目標	m ²	4,721	4,721	5,000	1,000	
	実績	m ²	4,721	584	535	300		
		達成率	%	100.00	12.37	10.70	30.00	
—	目標	—	—	—	—			
	実績	—	—	—	—			
達成率	%	—	—	—	—			
	目標	%	100	100	100	100		
実績	%	100	100	100	100			
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
保護率	目標	%	100	100	100	100		
	実績	%	100	100	100	100		
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00			

備考 市内遺跡範囲確認調査費(昨年度1,700,000)と市内遺跡個人住宅発掘調査費(昨年度1,600,000)を合わせ、一つの予算とした。

事務事業名	市内遺跡範囲確認調査事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020112
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	文化財係	作成担当者名	塩澤 恭輔	連絡先	76-2386	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	開発事業者との保護協議 試掘調査	開発事業者との保護協議 範囲確認調査(2件) 家下、構井・弥陀堂遺跡 個人住宅発掘調査(1件) 中島遺跡	相手業者の都合によるので、日程調整が難しい。 調査も迅速さが求められる。
第2期	開発事業者との保護協議 試掘調査	開発事業者との保護協議 範囲確認調査(1件) ツキノ木遺跡 個人住宅発掘調査(1件) 中沢遺跡	相手業者の都合によるので、日程調整が難しい。 また、水稲耕作時期などの考慮が必要。
第3期	開発事業者との保護協議 試掘調査		
第4期	開発事業者との保護協議 試掘調査	開発事業者との保護協議 範囲確認調査(1件) 上原城下町遺跡 個人住宅発掘調査(1件) 上原城下町遺跡	相手業者の都合によるので、日程調整が難しい。 調査も迅速さが求められる。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 増税後の影響から開発件数が減少の横這い状態となっている。その一方で 宅地造成工事や集合住宅建設など広い面積での開発かつ、事業主が調 査費用を負担し得るケースは一定数ある。慎重な協議を行っていく必要がある。	今 後 の 方 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 引き続き、個人住宅発掘調査と合わせて実施していく。	成 果 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	遺跡を開発事業から守るためには、計画段階に保護協議を行うことが望ましい。そのために遺跡保護側は 開発事業の早期把握、開発事業者側は遺跡所在地の把握が求められる。															
記号の定義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	これまでどおり、開発事業者との密な連絡体制の構築、『遺跡分布図』の整備と周知徹底に努める。その上で確認調査の結果を踏まえた遺跡の保護協議を継続して行う。						遺跡を現状のまま保存し、茅野市のまちづくり・人づくりを進めるための歴史的財産として後世に伝えていく大切な施策である。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今後の方向性	成 果 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止	② ③ ④ ①	⑤ ⑥ ⑧	⑦ ⑨ ⑩		成 果 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止			
改革・改善策	遺跡の範囲規模の把握は、教育委員会の行わなければならない業務で、試掘調査を行うことは、遺跡の内容を把握し、事業者等と保護協議を行う際の重要な情報を得る作業となるため、遺跡内で開発を行う業者と十分な協議を行い、早めに試掘調査を実施する。					遺跡を保護・保存する上で、開発事業者との保護協議をできるだけ早くかつ円滑に行うことが重要である。現状の維持に努め、事業者と協議を行う際に必要となる十分な情報を的確にとることに努める。				

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	守矢史料館展示会事業	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	07020308
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川英司
				連絡先	73-0300

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供
				細施策	09	神長官守矢史料館の充実
				事務事業	02	常設展・企画展開催事業
	予算事業名				会計コード	001 款 10 項 05 目 06 事業 03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	守矢史料館収蔵資料に関わる企画展を開催し、幅広い人に守矢文書を周知する。				
	現状と背景 （どうして）	守矢文書は通常、保存の観点から収蔵したまま、現品の写真展示となっている。そこでテーマを設けてそれに沿った企画展を開催し、守矢文書の重要性を認識してもらう。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	来館者			
		対象 （直接働きかける）	史料館収蔵資料			
	意図	多数の入館者を得たい。				
	手段・方法 （どうやって）	企画展の回数を年3回行い、企画展ごとに、ポスター・チラシを作成し、また、インターネットなどで告知し、企画展ならびに守矢文書の内容について告知し、展示する。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		企画展を何回開催したか	企画展回数	回	開催回数	2
		企画展来館者数	企画展来館者数	人	企画展中の来館者数	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	企画展来館者数前年度比	企画展来館者数割合	%	今年度企画展中の来館者数／前年度の企画展中の来館者数	100	

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	190,050	152,720	243,258	134,152	167,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	190,050	152,720	243,258	134,152	167,000	
職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	3.00	3.00	4.00	2.00	30.00	
活動指標	企画展回数	目標	回	2	2	2	2
		実績	回	3	3	3	3
	達成率	%	150.00	150.00	150.00	150.00	—
	企画展来館者数	目標	人				
実績		人	4,395	5,001	3,916	4,765	
達成率	%	—	—	—	—	—	
成果指標	企画展来館者数割合	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	126	114	78	122
	達成率	%	126.00	114.00	78.00	122.00	—
	—	目標	%	—	—	—	—
実績	%	—	—	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	—	
備考	・平成27年度から、守矢史料館一般経費（10-5-4-6）の目が、総合博物館費（10-5-4）から神長官守矢史料館費（10-5-6）に分離された。 ・平成27年度から、平成26年度の守矢史料館一般経費（10-5-4-6）から守矢史料館展示事業費（10-5-6-3）を分離し、新設した。						

事務事業名	守矢史料館展示会事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020308
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川英司	連絡先	73-0300

期	目 標	実 績	課 題
第1期	企画展「諏訪上社造営」を開催し、集客を図る。	・4月4日(土)～6月28日(日)に企画展「諏訪上社造営」を開催した。 ・期間中1,771人の入館者があった。	八ヶ岳総合博物館と同時に開催したが、総合博物館から守矢史料館への入館者の誘導があまりできなかった。
第2期	企画展「守矢真幸と武井真澄(真澄)」を開催し、集客を図る。	・8月8日(土)～10月12日(月)に企画展「守矢真幸と武井真澄(真澄)」を開催した。 ・9月30日まで1,009人の入館者があった。	マスコミの反応が悪く、あまり報道されなかった。
第3期	企画展「守矢真幸と武井真澄(真澄)」を開催し、集客を図る。	・期間中1,437人の入館者があった。	マスコミの反応が悪く、あまり報道されなかった。
第4期	企画展「申年の古文書」と御柱祭に関する企画展を開催する。	・期間中324人の入館者があった。	マスコミの反応が悪く、あまり報道されなかった。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>・企画展の周知に関して、あまり周知されていないところがあり、新聞を主とするマスコミ頼みであるが、新聞の取材もほとんどなかった。企画展の情報発信について考えていかなければならない。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06040111															

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
現状の状況で継続しながら、広報・周知などの情報発信について改善する必要がある。	守矢文書を通じて幅広い人に、守矢文書の価値や諏訪の歴史を知ってもらうために大切な施策である。マスコミ等のメディアを活用した情報発信に今後も務める必要がある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改革・改善策	現状の状況で、有効に守矢文書を保存活用していきたい。	館での企画展のほか、八ヶ岳総合博物館での古文書解説講座も開催しており、あわせて主要な有効活用として現状で続けたい。

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守矢昌文
---------	------------	---------	-------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	守矢史料館管理運営事務			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020307				
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川英司			連絡先	73-0300				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供								
			細施策	09	神長官守矢史料館の充実								
			事務事業	01	維持管理運営事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	10	項	05	目	06	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	史料館の維持管理、特に守矢史料の保管管理と守矢史料館周辺の借地3,900㎡に植栽されている樹木の管理と、館前庭の芝管理に関する事業。											
	現状と背景 （どうして）	守矢史料館に收藏されている古文書の保護・保存を図るために、收藏庫等の燻蒸を行うことで古文書を虫害から守る。史料館周辺の植栽管理を行うことで、管理地の整備ができ荒廃化が避けられる。											
	目的	受益者 （誰のために）	来館利用者										
		対象 （直接働きかける）	史料館に收藏されている資料を対象。管理受託者に働きかける。										
		意図 （どんな状態にしたいか）	寄託されている古文書の防虫、防カビを行う。借地を整然とした状態で維持したい。										
	手段・方法 （どうやって）	くん蒸作業を行い、古文書とその周辺の殺虫、殺カビを行う。周辺の植栽管理は、業者に委託し、保全していく。											
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		燻蒸面積	燻蒸面積	㎡	年間燻蒸面積				70				
		整備実施面積	整備実施面積	㎡	借地面積				3,900				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		実施された割合	燻蒸面積率	%	年間燻蒸面積／展示室・收藏庫面積				100				
		実施された割合	周辺整備率	%	当年度整備面積／前年度整備面積				100				

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等(a)	円	1,632,000	2,467,000	1,474,000
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	1,632,000	2,467,000	1,474,000	3,551,375	2,693,000
職員数	正規職員	人	0.09	0.03	0.03	0.03	0.03
	嘱託職員	人		0.06	0.06	0.06	0.06
	臨時職員	人		0.06	0.06	0.06	0.06
	合計	人	0.09	0.15	0.15	0.15	0.15
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数(b)						
状況	単位コスト(a)/(b)	円	—	—	—	—	—
	受益者負担額	円					
状況	市民一人当たりのコスト	円	29.00	44.00	26.00	64.00	58.00
	活動指標	燻蒸面積	目標	㎡	70	70	70
実績			㎡	38	38	38	38
達成率		%	54.29	54.29	54.29	54.29	
整備実施面積		目標	㎡	3,900	3,900	3,900	3,900
		実績	㎡	3,900	3,900	3,900	3,900
達成率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	
成果指標	燻蒸面積率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	54	54	54	54
達成率	%	54.00	54.00	54.00	54.00		
成果指標	周辺整備率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	100	100	100	100
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
備考	・平成27年度から、守矢史料館管理運営費(10-5-4-7)の目が、総合博物館費(10-5-4)から神長官守矢史料館費(10-5-6)に分離された。 ・平成27年度から、平成26年度の守矢史料館管理運営費(10-5-4-7)から守矢史料館施設管理費(10-5-6-2)に変更された。						

事務事業名	守矢史料館管理運営事務	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07020307
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川英司	連絡先	73-0300

期	目標	実績	課題
第1期	・早期に燻蒸業者・庭木手入れ及び周辺養生の業者と契約を締結し、作業に取り掛かる。	・庭木手入れ及び周辺養生は、6月1日にマル荻カネコ園と契約を締結。また、茅野広域シルバー人材センターと4月22日に契約した。 ・6月18日に草刈りを行った。	・燻蒸の契約ができなかった。 ・草の生育状態が読めず、なかなか草刈りができなかった。
第2期	・燻蒸業者と契約を締結し、7月上旬に燻蒸作業を行う。 ・草刈りを3回行う。	・燻蒸業者をナルコ薬品工業に決定し、7月8日から10日まで燻蒸作業を行う。 ・草刈りは、8月6日・7日に1回行う。	・草の生育状態が読めず、なかなか草刈りができなかった。
第3期	・草刈りを2回行う。	・草刈りを10月日に1回行い、本年度の草刈り業務を終了。	・草の生育状況が読めず、3回のみ草刈り作業となった。
第4期	・降雪の際、雪かきの対応を行う。	・大雪は降らず、職員による雪かきが2回ほどあった。	・敷地面積が広いので、大変な雪かきであった。

事中評価																													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成果</td> <td>拡充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現状維持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方向</td> <td>縮小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方向</td> <td>性</td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今	成果	拡充		②	⑤	⑦	後	の	現状維持		③	⑥	⑨	の	方向	縮小		④	⑧	⑩	方向	性	休廃止	①			
今	成果	拡充		②	⑤	⑦																							
後	の	現状維持		③	⑥	⑨																							
の	方向	縮小		④	⑧	⑩																							
方向	性	休廃止	①																										
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	<p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																												

評価年度	
------	--

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	
課題	<p>・草刈りのタイミングが難しく、かなり伸びてしまっからの草刈りを行うことが多かった。</p>															<p>記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
	前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					06040110

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	最低限でも現状を維持し、整然とした状態で保管・管理することは、寄託資料保管の面からも必要なことである。						寄託されている古文書の保存と館周辺の整備の環境を整然とした状態で維持するのに大切な施策である。			
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性				

改革・改善の方向性（ACTION）	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	成果の方向性	拡充		
方向性	現状維持		③	⑥	⑨	方向性	現状維持			レ
	縮小		④	⑧	⑩		縮小			
方向性	休廃止	①				休廃止				
	皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	・早めの草刈り対応を図り、現状を維持しながら、整備内容の見直し内容を充実させていく。					史料の適切な保存、館周辺の整備等、現状を維持したい。				

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守矢昌文
---------	------------	---------	-------	------

事務事業名	総合博物館施設管理事業	事業期間	平成 元 ~	年度	整理番号	07020301	
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健治	連絡先	73-0300

期	目 標	実 績	課 題
第1期	設備管理・清掃業務の年間計画確認と発注 警備委託業務の年間計画確認と発注 草刈り委託業務の年間計画確認と発注	管理上必要とされる設備管理・警備・草刈りにつ いて、適切な時期に年間計画を策定し、契約業務 を実施した。	委託業務の内容見直し
第2期	委託業務の適切な実施 照明器具・誘導灯などの点検と交換 適切な館内温度管理	委託業務を監督し、適切に実施した。照明機器・ 誘導灯を点検し、必要により速やかに交換した。 温度管理に注意し、燃料費の縮小に心がけた。	経費削減の方法検討
第3期	委託業務の適切な実施 照明器具・誘導灯などの点検と交換 適切な館内温度管理	委託業務を監督し、適切に実施した。照明機器・ 誘導灯を点検し、必要により速やかに交換した。 温度管理に注意し、燃料費の縮小に心がけた。	老朽化対策の不断の検討
第4期	展示ジオラマメンテナンス委託発注 支障木伐採委託発注	展示ジオラマのメンテナンスを実施し、展示環境 の維持に努めた。	経費削減の方法検討

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 照明設備の老朽化に伴う更新計画の検討が必要。	今 後 の 方 向 性																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 燻蒸業務の実施（追加必要額3,024千円）	方 向 性																
	<table border="1"> <tr> <td>成 果 的 方 向 性</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①		
成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦														
現 状 維 持	③	⑥	⑨														
縮 小	④	⑧	⑩														
休 廃 止	①																

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	経年劣化による設備の突発的な修理について、費用の捻出に苦労している。	記 号 の 定 義	A：計画どおり事業を進めることが B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体 の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検 討が必要
		前年度総合評価判定	
		前年度評価シート整理番号	06010601

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		施設が老朽化しているため、メンテナンスに気を配り、早めに修繕することにより出費を抑える。					来館者に気持ち良く施設を利用してもらうため、老朽化している施設のメンテナンスに気を配り、早めの修繕を行う。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後						
	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充				
		現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ			
		縮 小	④	⑧	⑩		縮 小					
		休 廃 止	①				休 廃 止					
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	施設が老朽化しており、多額の修繕料が掛からないようメンテナンスに気を配りたい。施設管理を委託している業者と緊密に連絡を取りあい、修繕費の縮小につながるよう努める。					施設が老朽化による多額の修繕料が発生しないように注意する。施設管理業者と連携し、修繕費の縮小に努める。博物館改修計画と連動させ緊急性・必要性と、将来計画に沿った中で施設の管理に努める。						

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	資料の収集・保管事業	事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	07020302
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川英司
				連絡先	73-0300

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
			細施策 10 ハヶ岳総合博物館の充実			
			事務事業 03 資料の収集・保管事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 10 項 05 目 05 事業 04		
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	自然や歴史・民俗などの資料を収集・保管し活用する。				
	現状と背景 (どうして)	地域の自然や文化が自然環境の変化や開発、生活の習慣の変化により失われていく。				
	目的	対象	受益者 市民全体 対象 市内を中心とした自然や歴史などの文化財			
		意図	次世代へ資料や文化を引き継ぐ。			
	手段・方法 (どうやって)	・博物館職員が、日常業務として行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		どのくらい資料を収集したか	所有資料数	点	年度末における所有資料の総数	120,000
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		収集資料の台帳化	台帳化率	点	所有資料数÷台帳化数×100	119,000

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)		
事業費等(a)	円	207,000	13,617,067	140,616	161,462	3,172,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円		13,440,000					
地方債	円							
その他特定財源	円							
一般財源	円	207,000	177,067	140,616	161,462	3,172,000		
職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		
合計	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15		
対象(者)数								
延利用(者)数(b)								
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	4.00	243.00	3.00	3.00	73.00		
D （ ）	活動指標	所有資料数	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	12,000
			実績	116	33,246	2,908	3,711	
	達成率	%	0.10	27.71	2.42	3.09	-	
	-	-	目標	-	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	台帳化率	目標	101,000	18,000	3,000	3,000	3,000
			実績	101,971	33,246	2,940	3,711	3,000
	達成率	%	100.96	184.70	98.00	123.70	100.00	
	-	-	目標	-	-	-	-	-
実績			-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考	平成20年から台帳化率に変更する。 平成21年度から3カ年計画で緊急雇用対策の補助金として年間120人分の賃金が予定されている。 市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 03050103							

事務事業名	資料の収集・保管事業	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	07020302	
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川 英司	連絡先	73-0300

期	目標	実績	課題
第1期	・平成26年度以前に目録化した古文書や図書を整理する。 ・平成26年度以前に寄贈・寄託され、整理されていない資料を整理する。	・送付された各機関からの図書の整理は、その都度整理を行っている。	・企画展の準備などで、古文書などを整理する時間がなかなか取れない。
第2期	・平成26年度以前に目録化した古文書や図書を整理する。 ・平成26年度以前に寄贈・寄託され、整理されていない資料を整理する。	・送付された各機関からの図書の整理は、その都度整理を行っている。 ・新たに寄贈・寄託を受けた加藤昭郷家資料(寄贈)、小平一家資料(寄託)、藤森知美家資料(寄託)、篠原敬博家資料(寄贈)、小尾洋介家資料(寄贈)の整理作業と寄贈・寄託事務を行った。	・企画展の準備などで、古文書などを整理する時間がなかなか取れない。
第3期	・平成26年度以前に目録化した古文書や図書を整理する。 ・平成26年度以前に寄贈・寄託され、整理されていない資料を整理する。	・送付された各機関からの図書の整理は、その都度整理を行っている。 ・新たに寄託を受けた帯川順一家資料(寄贈)、竹村静夫家資料(寄贈)、吉川長利家資料(寄贈)の整理作業と、寄贈・寄託事務を行った。	・企画展の準備などで、古文書などを整理する時間がなかなか取れない。
第4期	・平成26年度以前に目録化した古文書や図書を整理する。 ・平成26年度以前に寄贈・寄託され、整理されていない資料を整理する。	・送付された各機関からの図書の整理は、その都度整理を行っている。 ・新たに寄託を受けた藤森知美家資料(寄託)、帯川順一家資料(寄贈)の整理作業と、寄贈・寄託事務を行った。	・企画展の準備などで、古文書などを整理する時間がなかなか取れない。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・各機関から送付される図書類は、機械的に入力できるので、滞りは少ないが、古文書読解については、担当者が1名で、企画展やその他の事業を並行して行わなければならないので、なかなか進捗しない。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 燻蒸業務の実施(追加必要額3,000千円)	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4	3				4					電子化等 4	A
課題	<p>・古文書類については、現状で解読できる担当者が1名だけで、他の業務を並行して行っていく中で、整理作業を行っていくのは、なかなか困難な場合がある。</p>															
CHICK	<p>記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号																

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
先人の足跡は例えば古文書や民俗資料として地域に遺されているが、世代替わり等により、貴重な資料が散逸や消滅することで、地域の文化・歴史等が欠落してしまう可能性がある。資料収集・保管は博物館業務の第一義的な業務である。	地域に遺されている資料を収集・整理・保管・展示することは博物館としての基本的な業務であり、今後も継続していく。なお、世代替わりで資料が破棄されたりしているため、寄贈・寄託による資料収集は情報収集に努め、緊急に対応する必要がある。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	成果の方向性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改革・改善策	現在までに資料集したものの資料整理を進め、目録化を図る。	資料整理と寄贈・寄託業務を進める。

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		特別展等事業		事業期間	平成 1 ~ 年度	整理番号	07020305
担当部署		生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健治	連絡先 73-0300
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む	施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供	細施策 10 ハヶ岳総合博物館の充実	事務事業 04 常設展・特別展・講演会・研究会・講習会開催事業
	予算事業名				会計コード	001 款 10 項 05 目 05 事業 10	
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	教育普及・展示会は博物館の使命の一つである。市民に多くの教育機会を提供し、魅力的な展示会を開催していく。本事務事業は、従来5つに分かれていた下記の事務事業評価を統合したものである。 ①「常設展・特別展開催事業」②「講演会・研究会・講習会開催事業」③「こども科学クラブ事業」④「学校支援事業」⑤「親望会事業」					
	現状と背景 （どうして）	常設展示だけでは、多くの市民が集う活発な博物館にはならない、多くの教育機会を提供し、展示会を開催することで博物館は活性化していく。					
目的	対象 （誰のために）	市民全体及び来館者。					
	対象 （直接働きかける）	同上					
的	意図 （どんな状態にしたいか）	向学心を持つ市民に対し多くの学習の場を提供し、様々な市民を知的に刺激する展示会を開き、最終的に来館者を増加させる。					
手段・方法 （どうやって）							
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		計画した事業の品質を損なうことなく実施していく。	事業実施率	%	品質を損なうことなく実施できた事業数÷計画事業数	100	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		入館者数を増加させる。	入館者数増加率	%	当年度入館者数÷前年度入館者数	105	

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）		
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円			1,098,968	922,961	1,113,000		
	財源内訳								
	国庫支出金	円							
	県支出金	円							
	地方債	円							
	その他特定財源	円			675,000	679,000	437,000		
	一般財源	円			423,968	243,961	676,000		
	職員数								
	正規職員	人			0.30	0.30	0.60		
	嘱託職員	人			0.10	0.10	0.10		
臨時職員	人			0.25	0.30	0.20			
合計	人			0.65	0.70	0.90			
対象（者）数									
延利用（者）数 (b)									
単位コスト (a)/(b)	円		-	-	-	-	-		
受益者負担額	円								
市民一人当たりのコスト	円		-	-	20.00	16.00	112.00		
活動指標	事業実施率	目標	%			100	100	100	
		実績	%			100	100	100	
	達成率	%		-	-	100.00	100.00	-	
	-	目標	%						
		実績	%						
	達成率	%		-	-	-	-	-	
	成果指標	入館者数増加率	目標	%			105	105	105
			実績	%			108	110	105
		達成率	%		-	-	102.86	104.76	100.00
		-	目標	%					
実績	%								
達成率	%		-	-	-	-	-		
備考									

事務事業名	特別展等事業	事業期間	平成 1 ~	年度	整理番号	07020305	
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健 治	連絡先	73-0300

期	目 標	実 績	課 題
第1期	企画展『諏訪上社造営展』の開催 講演会・自然観察会・星空観察会・古文書関係事業・裂き織・各種講座の立上げと開催	企画展『諏訪上社造営展』観覧者数2,371人 計画した事業を全て実施することができた。	定例の事業の見直しと、新たな市民ニーズの把握を心掛けた。科学教育の振興に繋がる事業を充実させたい。
第2期	企画展『運動公園のニホンリス』の開催 企画展『島木赤彦の祝詞』の開催 講演会・自然観察会・星空観察会・古文書関係事業・裂き織・各種講座の開催	企画展『運動公園のニホンリス』の観覧者数2,765人 企画展『島木赤彦の祝詞』の観覧者数2,621人 計画した事業を全て実施することができた。	企画展は地元関連のテーマを中心に、新鮮なテーマ設定を心掛けた。定例の事業の見直しと、新たな市民ニーズの把握を心掛けた。科学教育の振興に繋がる事業を充実させたい。
第3期	企画展『宮崎龍介・柳原白蓮と夢科』の開催 企画展『ふるさとこころの情景Ⅱー映像詩ー』の開催 企画展『研究創意工夫展』の開催 講演会・自然観察会・星空観察会・古文書関係事業・裂き織・各種講座の開催	企画展『宮崎龍介・柳原白蓮と夢科』の観覧者数3,102人 企画展『ふるさとこころの情景Ⅱー映像詩ー』の観覧者数246人 企画展『研究創意工夫展』の観覧者数1,145人 計画した事業を全て実施することができた。	定例の事業である『研究創意工夫展』のやり方見直し。新たな市民ニーズの把握を心掛けた。科学教育の振興に繋がる事業を充実させたい。
第4期	企画展『博物館活動発表展』の開催 講演会・自然観察会・星空観察会・古文書関係事業・裂き織・各種講座の開催	企画展『博物館活動発表展』の観覧者数649人 計画した事業を全て実施することができた。	定例の事業である『博物館活動発表展』のやり方見直し。新たな市民ニーズの把握を心掛けた。特に科学教育の振興に繋がる事業の展開を検討したい。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	企画展の内容を充実させるためには、早期計画が必要である。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要 前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 06010603

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	テーマや捉え方・視点を変えた特別展を開催することは、博物館のリーダーを確保するために必要有効である。	市民の方々に、所蔵する多くの資料からテーマに沿った特別展を行うことで、再度市民を館に呼び込み、館の存在をアピールし、来館者を増加させる有効的な手段である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	職員専門性をより高めるようOJTにて研修を深める。	職員専門性をより高めるようOJTにて研修を深める。								
今後の方向性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	八ヶ岳麓文芸館事業	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	07020303
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川英司
				連絡先	73-0300

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
			細施策 10 八ヶ岳総合博物館の充実			
			事務事業 05 八ヶ岳麓文芸館整備活用事業			
	予算事業名			会計コード 001 款 10 項 05 目 05 事業 05		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	博物館内に併設された施設で、岳麓地域に関わるものを中心に今昔の歌人、俳人、文人達の文化資料を展示し、多くの方に郷土の文芸を紹介している。 個人所有の文化資料の調査、研究及び保存に関する事業も行う。				
	現状と背景 （どうして）	昔に学び、文芸を暮び、今につながる館として平成12年10月に設置された。				
	目的	受益者 （誰のために）	茅野市民及び博物館来館者			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	文化資料を展示し、より多くの方に郷土の文芸を紹介するとともに、市内に現存する文化資料の調査・研究を行う。			
	手段・方法 （どうやって）	展示資料の一部を、新しい資料に展示替えていくことにより、多くの資料を紹介していく。 また、文化資料の調査・研究を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		文芸館の展示替えを行う	展示替え実施回数	回	年間展示替え数	5
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		年間入館者数を増加させる	年間入館者数	人	文芸館を含む総合博物館年間総入館者数	15,000

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
実 施 状 況	事業費等 (a)	円	1,189,000	1,204,343	750,875	282,273	174,000	
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	1,189,000	1,204,343	750,875	282,273	174,000	
	職員数	人						
	正規職員	人	0.20	0.06	0.06	0.10	0.10	
	嘱託職員	人	0.05					
	臨時職員	人	0.45	0.52	0.52	0.10	0.10	
	合計	人	0.70	0.58	0.58	0.20	0.20	
	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	21.00	22.00	13.00	5.00	20.00	
O （ ）	活動指標	展示替え実施回数	目標	回	5	5	5	5
			実績	回	4	2	3	5
		達成率	%	80.00	40.00	60.00	100.00	-
	-	-	目標	-	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成果指標	年間入館者数	目標	人	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績	人	11,613	10,162	11,001	8,649
		達成率	%	77.42	67.75	73.34	57.66	
		-	-	目標	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-		
	達成率	%	-	-	-	-		
備考	市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 03061401							

事務事業名	八ヶ嶽麓文芸館事業	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	07020303	
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	柳川 英司	連絡先	73-0300

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・八ヶ嶽麓文芸館において、諏訪上社造営・永明山古墳店を開催し、集客を図る。	・企画展開催中、入館者が2,520人あった。	・企画展「諏訪上社造営」を主体に、一部岳麓文芸館の常設展の展示を行う予定だったが、突然の永明山古墳展の開催により、展示が散漫になってしまった。計画的な展示が望まれる。
第2期	・「島木赤彦の祝詞」の展示を行う。 ・企画展「宮崎龍介・柳原白蓮と蓼科」を行う。	・小展示「島木赤彦祝詞公開」の観覧者数2,621人	・企画展「宮崎龍介・柳原白蓮と蓼科」のトークショーは参加者189人と大変盛況であった。今後も地元ニーズに応える、企画を開催していきたい。
第3期	・企画展「宮崎龍介・柳原白蓮と蓼科」開催継続	・企画展開催中、入館者が3,102人あった。	・第2期のトークショーの他に、ギャラリートークを行えばよかったが、行えずに、入館者の伸びは鈍かった。
第4期	・企画展「御柱祭」を開催し、集客を図る。	・御柱祭は、3月19日から始め、3月31日まで、入館者が406人あった。	・3月中のイベントができなかった。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・企画展展示期間中のイベントが単発で終わってしまっている感じで、継続的な企画展観覧に、あまりつながっていないような気がする。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の準備期間があまり取れず、調査も不十分なところが多く、特に企画展「宮崎龍介・柳原白蓮と蓼科」の展示資料の収集がうまくできなかった。 ・企画展「諏訪上社造営」で、講演会にあまり人が集まらず、宣伝方法などを考える必要があると思われる。 															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06010607															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	さらに、特色のある展示会を開催するために、文芸資料や情報の収集を進めることで幅広い展示会の企画が可能となる。	市内に現存する文化資料の調査・研究を行い、文化資料を展示して郷土の文芸を紹介することで、茅野市の文化・芸術史を識り、後世に伝えていく大切な取組である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止	②	⑤	⑦	③	⑥	④	⑧	⑩	①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
企画展の開催と展示替えにより、リピーターの集客に勤める。	市内の文化資料の地洋さ・研究を基に企画展を開催し、また展示替えを行い、リピーターや幅広い入館者が期待できる。									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		市民研究員養成事業		事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	07020304
担当部署		生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健治	連絡先 73-0300
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む	
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供		
			細施策	10	ハケ岳総合博物館の充実		
			事務事業	06	ボランティア組織育成事業		
	予算事業名			会計コード	001	款	10
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	市民研究員養成事業は科学や博物館活動などに関心を持つ人たちに対して、地域の自然史研究や科学教育の振興などを担う市民を育成・支援するもので、博物館施設の主要な目的である、調査・研究を学芸員とともに進める主体的存在になること、博物館活動を支援するボランティアになることを目指している。					
	現状と背景 （どうして）	調査研究・資料収集保管活動が停滞しているため、市民研究員と共に活発化させたい。市民研究員養成事業の実施の背景には、今後のハケ岳総合博物館への期待を込め、茅野市博物館協議会から答申された展示替えと科学教育振興の構想がある。					
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	博物館を利用する一般市民。				
		対象 （直接働きかける）	博物館を利用する一般市民。 博物館のテーマである茅野市の自然、文化、歴史、産業、民俗に関心のある一般市民。				
	意図	市民の博物館活動を支援し、それを広げていく。					
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 市民研究員養成講座参加者のための講演会を年3回開催する。 主に調査研究を指導者とともに、月1回行う。 市民研究員通信を発行する。 					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		市民研究員養成講座	参加者数	人		30	
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		研究目標	研究テーマ	個		10	

実施状況 （ D O ）	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円		509,862	535,219
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円		509,862	535,219	1,141,156	712,000
職員数	正規職員	人		0.10	0.10	0.10	0.30
	嘱託職員	人		0.40	0.40	0.40	0.40
	臨時職員	人		0.05	0.05	0.20	0.20
	合計	人		0.55	0.55	0.70	0.90
状況	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
状況	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
状況	市民一人当たりのコスト	円	-	9.00	10.00	20.00	79.00
	活動指標	参加者数	目標	人	30	30	30
実績			人	41	48	60	
達成率		%	-	136.67	160.00	200.00	-
-		目標	-				
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	研究テーマ	目標	個	10	10	10	10
		実績	個	5	5	4	5
	達成率	%	-	50.00	50.00	40.00	50.00
	-	目標	-				
実績	-						
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考	市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 03040201 03050101						

事務事業名	市民研究員養成事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	07020304
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健治	連絡先 73-0300

期	目 標	実 績	課 題
第1期	1期3年の最終年度。今までの補間を含め、年度末の報告書のまとめを旨とした活動を開始するとともに、講演会を開催して第2期以降の博物館活動への市民の関わり方について学ぶ。	全体として、市民研究員の今後の博物館活動への関わり方を学ぶ講演会を1回実施。1グループを除き各グループの活動は活発になり、それぞれ3~6回の活動をした。	指導者が不在になった陸水グループの今後。来年度から始まる養成講座第2期目以降の展開の仕方。
第2期	原則毎月1回の各グループの活動を進める。一方、指導者による専門委員会を開催し、今年度に終了する養成講座第1期のまとめと、第2期目の展望を固める。	一般市民に呼びかけた観察会、わくわく実験教室の指導やサイエンスフェスタへの参加等、1期内では想定していなかった活動がみられた。それぞれ3回以上の活動をした。	指導者会議が10月にずれ込んだ。今後の見通し、特に2期目の具体的な展開の仕方について固めること。各グループの活動の活発化に伴い、活動する部屋が手狭になってきた。
第3期	原則毎月1回の各グループの活動を進める。1期3年のまとめ、報告書の準備に取り掛かる。2期目の計画をまとめる。	各グループ毎月の活動は順調に進んだ。各グループの指導者と2期目の活動の打ち合わせを行った。またシダの講演会を開催し、2期目にシダと天文グループを追加活動拡大の準備をした。	博物館活動に有機的に関わる各グループ2期目の具体的な活動内容を明確にする。また、市民にやりがいを感じてもらえるような支援をする。
第4期	1期3年の活動報告、成果報告をまとめ、紀要に掲載する。また、その成果のまとめを年度末に活動発表展示会を開催し広報する。さらに2期目の準備を整える。	年度末に名簿登録されていたのは60名、うち36名に認定証を授与。各グループの活動成果として、調査データや標本資料が蓄積された。また、市民研究員が指導者になった講座も開催、博物館を拠点にした市民が市民へという構図も見られるようになった。	各グループの活動が活発化錯綜するようになり、使う部屋が狭隘になった。増加する標本資料の格納収蔵場所の確保。市民研究員の活動の拡大と支援。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
本年度をもって、市民研究員養成事業第1期が終了し、平成28年度から第2期を開始する。第1期5グループ植物・菌類・実験工作・陸水・鳥類のうち、陸水・鳥類を終了し、第2期からは、天文・シダの2グループを立ち上げ、新たなグループ編成のもと事業を進める。	
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	市民研究員養成事業は、原則的にコストを維持し、市民活動を活発にしていく。ただし、今年度導入した顕微鏡のような備品整備など、活動の経緯に応じて費用の発生が見込まれる。最も重要な課題は、これまでの活動が個人レベルの学習に留まることなく、博物館の資料収集保管・調査研究へと連動していくことである。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06010608															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	博物館職員の不足と短期間で異動がある中では、博物館業務の中核である資料収集・調査研究を、市民が主体となって実施していくことは必須である。同事業の実施によって、停滞していたこれらの業務が活発化してきたことが、この業務の妥当性と有効性を示している。今後、収蔵場所の検討や調査の方法など、より高い効率性を検討しながら事業を進めていく。	市民と共に研究活動を進めることで、博物館活動の活性化が図られ、市民のための博物館としての意識が高まり、有効な活動である。								
	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	第1期事業を通じて市民は取り組む分野の知識を着実に蓄積している。第1期は講師の指導のもと、調査・研究を進めてきたが、第2期は、市民研究員認定者を中心に主体的に活動を進めていくことが望まれる。	新たなる分野の市民研究員の育成を目指すことで、幅広く博物館活動の底支えをしてもらえる環境が整ってくる。								

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	展示替え・科学教育振興事業			事業期間	平成 21 ~ 年度	整理番号	07020305
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健治	連絡先	73-0300
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む	
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供		
			細施策	10	八ヶ岳総合博物館の充実		
			事務事業	07	展示替え・科学教育の振興事業		
予算事業名						会計コード	001 款 10 項 05 目 04 事業 02
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成25年9月5日答申「茅野市八ヶ岳総合博物館の展示の更新及び茅野市における科学教育の振興についての基本計画の策定について」で提言された事業計画を深化させるため、平成26年度に企画運営会議を発足させ、中長期的な運営等の検討を進め、報告された。平成27年度は、この報告に沿った形の実現に向け、段階的具體案を作り上げていく計画である。						
現状と背景 （どうして）	八ヶ岳総合博物館は昭和63年に開館し、四半世紀が経過している。この間の科学研究の進展や自然の様相の変化により、現在の展示内容を替えていく必要が生じている。今後の方針について茅野市博物館協議会において平成23年～25年の3年に亘り検討され、平成25年9月5日に答申がなされている。これが、平成25年12月17日の政策調整会議にて、審議されたが、更なる検討が必要とされ、結論に至っていない。						
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	市民					
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	市民					
手段・方法 （ ど う や っ て ）	今後求められる展示を検討し、科学教育の振興の役割を持つ博物館とする。さらに、市民の活動がさらに拡充できるように施設とする。 ・博物館専門委員による企画運営会議にて協議を進める。						
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		検討の機会	会議回数	回			15
	成果 指 標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値
		運用計画	運用計画書	冊			1

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	400,509	96,851	184,457	90,176	3,257,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	400,509	96,851	184,457	90,176	3,257,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.20	0.13	0.25	0.25	0.55	
嘱託職員	人	0.30	0.03	0.50	0.50	0.50	
臨時職員	人				0.40	0.30	
合 計	人	0.50	0.16	0.75	1.15	1.35	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	7.00	2.00	3.00	2.00	166.00	
D （ ）	活動指標	会議回数	目標	18	5	6	15
		実績	10	4	7	11	
	達成率	%	55.56	80.00	116.67	73.33	
	達成率	%	-	-	-	-	
O （ ）	成果指標	運用計画書	目標	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	
	達成率	%	-	100.00	100.00	100.00	
	達成率	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	展示替え・科学教育振興事業	事業期間	平成 21 ~	年度	整理番号	07020305	
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係	作成担当者名	小林 健 治	連絡先	73-0300

期	目 標	実 績	課 題
第1期	企画運営会議に作業部会を設け、平成26年度報告の「3・3計画」について、費用積算を含む具体案の作成を進める。今期で5~6回開催する。	今期はスマホ・タブレット導入について4回作業部会を開催して検討した。導入機種を選定、コンテンツ制作計画、アップ方法について具体案を作成した。	機種選定等で定価のあるものは予算の検討は可能だが、展示解説等のコンテンツ制作費用は詳細なシナリオや画像等を具体的に示さないと算定できない。できるだけ安価に算定するための資料作り。
第2期	4~5回作業部会を開催し、理科大と連携したデジタル眼鏡を使った展示、及び特別展示室の復活についての具体案と予算案を作成する。	今期はスマホ・タブレット導入および科学教育振興について作業部会6回開催し、展示の自作動画見本を含め具体案を作成し、企画運営会議を開催し作業部会の検討結果について協議した。	出来るところから進める展示替え、科学教育振興の具体案にかかる予算を明らかにし、段階的・年次計画を作成する。
第3期	段階的進捗計画案の作成、および展示動画コンテンツの自作を進めながら、できたものを試行的に展示場で見ることができるようにする。	平成29年度以降の実施計画に係る予算を積算中。手作り動画コンテンツは、博物館内部で進めるほか、外部にも制作の依頼を進めている。また、市民研究員が指導する科学のイベントを数回実施した。	クオリティの高い動画コンテンツを制作するには、高い技術と時間を要し、他の業務と並行して進めることが難しく、なかなか進まない。
第4期	年度内に展示動画コンテンツを最低5本作り上げ、運用準備をする。また、出前事業を含め、新年度の科学教育振興にかかわる年間計画を作る。それらを企画運営会議にかけ事業展開に結び付ける。	現施設を活用改修して科学教育振興を促進するための年次計画が立案できた。展示動画コンテンツの試作を5本自作し、タブレットを使った展示解説のめどがついた。一部予算化。	年次改修計画の順次予算化。支援してくれる市民研究員の活動とリンクさせた事業展開。モバイルプラネタリウムの活発な運用。

管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 博物館がインターネットフリースポットとなり、展示解説動画を配信する設備が整った。	今 後 の 方 向 性	成 果	②	⑤	⑦	レ
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充				
			現 状 維 持	③	⑥	⑨	
			縮 小	④	⑧	⑩	
休 廃 止	①						
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	平成25年度答申の理念を変えず、如何にコストをかけずに、魅力的で必要とされる博物館へとリニューアルできるか、平成26年度より企画運営会議で検討を進めてきた。同事業はこれまで検討会議の費用のみであったが、平成28年度より順次実施していくため、コスト・成果共に拡充していくこととなる。施設の改修にかかる費用など、事業総額を試算している。これを早期に完成させることが課題である。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06010602															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	平成25年度答申には、計画にかかる費用が示されておらず、これまでに実現できているものは限定的である。企画運営会議では、中長期計画を立案すると共に、多額の費用が必要とされるハードの建設などを、再検討し、答申の趣旨を実現させる新たな手法を検証してきた。その成果は、モバイルプラネタリウムの導入、科学実験工作室の設置、展示解説動画の配信などに具体化され、平成28年度に実施される。同事業の実施によって、「展示替え・科学教育振興」はようやく実現の途についたと評価される。	平成25年度答申をより具体化するために、方法の検討をし費用積算を行い企画運営会議で示されたいわゆる3・3計画に基づき、できることから行うことは、科学教育振興のために重要なことである。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果	拡 充	②	⑤	⑦	成 果	拡 充			レ
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
休 廃 止	①				休 廃 止					
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性							
平成28年度実施計画に、博物館改修計画を提出する。そのために、企画運営会議を開催し、費用・スケジュールを含む最終案を精査していく。	平成25年度答申を尊重し、できることから費用をかけずに魅力ある博物館にリニューアルするために、企画運営会議により検討された、実際に可能な展示替え計画に基づき事業を充実・拡大することは妥当なことである。									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		考古館施設管理事務		事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	07020201						
担当部署		教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供							
				細施策	11	尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実							
				事務事業	01	維持管理運営事業							
	予算事業名	考古館施設管理費			会計コード	001	款	10	項	05	目	07	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	博物館の基本的機能である資料の収集・収蔵、調査・研究、展示、教育普及などの活動はもちろん、2つの国宝「土偶」の保管・展示にふさわしい施設として、また、史跡公園として整備された特別史跡「尖石石器時代遺跡」を将来にわたり保存・管理するとともに、その活用を担う施設として機能するよう維持・管理しながら運営する。												
現状と背景 （どうして）	尖石縄文考古館は2つの国宝「土偶」をはじめ茅野市が世界に誇る歴史的文化遺産の収蔵・展示、特別史跡「尖石石器時代遺跡」の保存・管理・活用を担う施設である。また、縄文を意識したまちづくりと人づくり、縄文を活かした観光と地域活性化、縄文の素晴らしさや魅力を国内外へ発信するための核となる施設である。												
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	茅野市の縄文文化や歴史に関心のある市民および一般愛好者。観光客。											
	対象 （直接働きかける）	同上と業者											
手段・方法 （どうやって）	意図	安全に、かつ安心して利用できる考古館および史跡公園となるよう維持・管理する。 縄文文化のすばらしさ・魅力を感じてもらえる環境を整え、入館者の増加を図る。											
		職員による施設・史跡公園、展示・収蔵品の点検見回りを実施する他、①建物設備管理 ②環境衛生管理 ③運営管理 ④ブローグゾーン展示替えの各業務を業者へ委託する。 考古館および史跡公園で開催されるさまざまなイベントを報道を通じて広く情報発信する。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		施設内外の安全状況確認	施設内外点検実施回数	回	週1回×52周				52				
		報道関係者等への情報発信	情報発信件数	件	月3件×12月				36				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		事故・クレーム件数の削減	事故・クレーム抑制率	%	1-事故・クレーム件数/来館者数				100				
		入館者数の増	入館者数の増	%	H27年度/H26年度				104				

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	37,779,850	45,119,063	54,044,876
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円		8,969,692	8,474,000	9,872,000	10,395,000
職 員 数	一般財源	円	37,779,850	36,149,371	45,570,876	31,397,418	31,949,000
	正規職員	人	2.25	1.38	2.45	2.45	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人	0.53	0.53	0.53	0.53	
	合計	人	2.78	1.91	2.98	2.98	
	対象（者）数						
延 利 用 （ 者 ） 数 (b)	延利用（者）数						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	673.00	806.00	969.00	743.00	764.00
活 動 指 標	施設内外点検実施回数	目標	52	52	52	52	
		実績	52	52	52	52	
	情報発信件数	目標	36	70	80	36	
		実績	60	60	70	36	
	-	達成率	166.67	85.71	87.50	100.00	-
		達成率	-	-	-	-	-
成 果 指 標	事故・クレーム抑制率	目標	100	100	100	100	
		実績	100	100	100	100	
	入館者数の増	目標	103	103	103	104	
		実績	87	112	135	83	
	-	達成率	84.66	108.74	131.07	79.81	-
		達成率	-	-	-	-	-
備考							

事務事業名	考古館施設管理事務	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	07020201	
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	史跡公園管理委託業務入札と業務開始 施設内外の安全状況確認	史跡公園管理委託業務入札と業務開始 施設内外の安全状況確認	史跡公園管理委託業務の実施内容の確認に手間取り、入札準備に予想以上の時間を要した。
第2期	適切な温度管理を目指し、冷房の強弱をこまめに行う。 施設内外の安全状況確認考古館と与助尾根遺跡を結ぶ木橋が老朽化しており、修理または架け替えが必要か、業者に確認してもらおう。	適切な温度管理を目指し、状況に応じた冷房の調節を行った。 木橋の現状を業者に確認してもらい、欄干および床板の交換が必要との回答を得る。	考古館建設および史跡公園整備から15年が経過し、急速に老朽化が進んだ感がある。安全状況を確認しているが、目の行き届かない箇所も多く現状の把握ができていない。
第3期	施設内外の安全状況確認の強化	施設内外の安全状況の確認	目の行き届かない箇所の安全確認方法が課題である。
第4期	施設内外の安全状況確認の強化 史跡公園から青少年自然の森地を結ぶ木橋の改修	施設内外の安全状況の確認 史跡公園から青少年自然の森地を結ぶ木橋の改修	館内の消防設備機器が耐用年数を経過しており、計画的な修繕が必要である。

事 中 評 価																													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 国宝指定記念特別展の実施に伴う環境調査の結果、展示ケースの経年劣化によって、国指定文化財の収蔵展示が適切でない環境であることがわかった。 新年度の実実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 国宝「土偶」の展示ケースを、外気温の影響を受けにくい高気密性能をもち、直下型地震に対応する縦揺れ防止機能を備えたものに買い替えたい。 史跡公園・考古館周辺・青少年自然の森の管理委託業務の仕様（樹木管理を切り離すなど）を見直し、実態に合った予算要求をしていきたい。	<table border="1"> <tr> <td>今</td> <td>成 果</td> <td>拡 充</td> <td></td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後</td> <td>の</td> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td>方 向 性</td> <td>縮 小</td> <td></td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td>向 性</td> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	今	成 果	拡 充		②	⑤	⑦	後	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨	の	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩	方	向 性	休 廃 止	①			
今	成 果	拡 充		②	⑤	⑦																							
後	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨																							
の	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩																							
方	向 性	休 廃 止	①																										

評価年度	
------	--

評 価	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
		1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
	チェック					4					4					電子化等	4	A
課 題	施設及び設備に関し建築から15年が経過しており経年劣化により修繕費がかかる。大雨時などは設備異常による警報が出たり、雷雨時は、頻繁に停電になる。今年の3月には、考古館への送電線の一部が凍結したことで断線し、この影響でロビーが浸水する事態も発生している。国宝を所蔵している館として、今後、館の設備等の維持管理をどのようにしていくか課題である。史跡公園・考古館周辺・青少年自然の森の管理委託業務（草刈・樹木管理・害虫駆除）の仕様と現状に整合しない箇所ある。仕様の見直しが必要である。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要																
		前年度総合評価判定															A	
		前年度評価シート整理番号															07020201	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		文化財保護法によると、国宝「土偶」（縄文のピナス・仮面の女神）、国特別史跡「尖石石器時代遺跡」の所有者である茅野市は、これらを「管理をしなければならぬ」とされている。今後も、その価値が損なわれぬよう適切な管理を行うことはもちろん、生活の中にかせる様々な活用方法を考える必要がある。					茅野市の「宝」である縄文を適切な環境下で保存し、後世に繋げるとともに、縄文の価値を広く発信して、まちづくりや人づくり、観光や地域活性化に活かしていくための重要な施策である。			
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成 果	拡 充		②	⑤	⑦	成 果	拡 充		
	の	現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持		④	
	方 向 性	縮 小		④	⑧	⑩		縮 小			
	性	休 廃 止	①					休 廃 止			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	国宝を展示できる環境を整え、維持するために館内の巡視と環境データの把握を行い、館の快適な環境を保つ。					展示環境も改善してきつつあるが、今後もこの状態を維持し、なおかつよりよい環境を維持するために、調剤の調整など環境維持に有効な手立てを採る。					

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		考古館運営事務		事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	07020202	
担当部署		教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
			細施策	11	尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実			
			事務事業	01	維持管理運営事業			
画	予算事業名	考古館運営費			会計コード	001	款 10 項 05 目 07 事業 02	
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	尖石縄文考古館は、特別史跡尖石遺跡の管理と2体の国宝「土偶」をはじめ縄文時代の貴重な考古資料を収蔵・展示するとともに、子供から大人まで楽しめる縄文体験学習を常時受け入れる施設である。当事業は、地域の歴史資産をまもり、今にいかし、後世に伝える役割を担う考古館の運営に係るものである。						
	現状と背景 (どうして)	尖石縄文考古館は2つの国宝「土偶」をはじめ茅野市が世界に誇る歴史的文化遺産の収蔵・展示、特別史跡「尖石石器時代遺跡」の保存・管理・活用を担う施設である。また、縄文を意識したまちづくりと人づくり、縄文を活かした観光と地域活性化、縄文の素晴らしさや魅力を国内外へ発信するための核となる施設である。						
	目的	受益者 (誰のために)	茅野市の縄文文化や歴史に関心のある市民および一般愛好者。観光客。					
P	対象	対象 (直接働きかける)	同上と業者					
		意図 (どんな状態にしたいか)	縄文文化のすばらしさ・魅力を感じてもらえる環境を整え、入館者の増加を図り、縄文をいかしたまちづくり・人づくりにつなげていく。					
L	手段・方法 (どうやって)	考古館および史跡公園で開催されるさまざまなイベントを報道を通じて広く情報発信する。						
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
		報道関係者等への情報発信	情報発信件数	件	月3件×12月	36		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
		入館者数の増	入館者数の増	%	H27年度/H26年度	104		

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円				14,549,652	17,559,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円				728,000	964,000
一般財源	円				13,821,652	16,595,000
職員数	人				2.45	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人				0.53	
合計	人				2.98	
対象(者)数						
延利用(者)数(b)						
単位コスト(a)/(b)	円				-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円				262.00	317.00
活動指標	情報発信件数	目標	件		36	
		実績	件		36	
	達成率	%			100.00	-
	-	目標	-			
実績		-				
達成率	%				-	-
成果指標	入館者数の増	目標	%		104	
		実績	%		83	
	達成率	%			79.81	-
	-	目標	-			
実績		-				
達成率	%				-	-
備考						

事務事業名	考古館運営事務	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	07020202	
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	リーフレットの増し刷りの準備	リーフレットの増し刷りの準備	リーフレットは特定業者が版をもっているため、随意契約で製作している。1部当たりの単価が安くはないので、紙の厚さを落とすなどして単価が抑えられるか業者と協議したい。
第2期	縄文文化月間ポスターの印刷準備 縄文まつり駐車場の造成準備	縄文文化月間ポスターの印刷 縄文まつり駐車場の造成を委託する業者の選定	情報収集に手間取り、縄文文化月間ポスターの製作が遅れた。情報方法の改善が必要である。
第3期	縄文まつり駐車場の造成	縄文まつり駐車場の造成	特になし。
第4期	契約満了による複写機(コピー)の長期委託契約準備 『尖石』、『仮面土偶 発掘の記録』の増し刷りに伴う原稿見直しと発注準備	契約満了による複写機(コピー)の長期委託契約準備 『尖石』、『仮面土偶 発掘の記録』の増し刷りに伴う原稿見直しと発注準備	在庫管理が不十分のため、『展示図録』、『尖石』、『仮面土偶 発掘の記録』が品切れとなった。

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 考古館発行の冊子『展示図録』、『尖石』、『仮面土偶 発掘の記録』が残部僅少となった。	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 上記3冊の増し刷りにかかる費用を要求したい。		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック																					A
館内及び館外(史跡公園の堅穴住居等)展示を理解する上で補助的役割を果たす、『常設展示図録』と『尖石』が年度末に品切れとなってしまった。在庫管理はもとより月毎の販売状況の把握を徹底する必要がある。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要																				
	前年度総合評価判定										A										
	前年度評価シート整理番号										07020201										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	文化財保護法によると、国宝「土偶」(縄文のピナス・仮面の女神)、国特別史跡「尖石石器時代遺跡」の所有者である茅野市は、これらを「管理をしなければならぬ」とされている。今後も、その価値が損なわれぬよう適切な管理を行うことはもちろん、国宝「土偶」をはじめ収蔵展示される考古資料が日常生活にいかせるよう、さまざまな活用方法を考えるきっかけづくりに資する館である必要がある。	茅野市の「宝」である縄文を適切な環境下で保存し、後世に繋げるとともに、縄文の価値を広く発信して、まちづくりや人づくり、観光や地域活性化に活かしていくための重要な施策である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策 (ACTION)	今 後 の 方 向 性 (ACTION)					改 革 ・ 改 善 策									
	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦		成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦	レ					
	現 状 維 持	③	⑥	⑨		現 状 維 持	③	⑥	⑨						
	縮 小	④	⑧	⑩		縮 小	④	⑧	⑩						
休 廃 止	①				休 廃 止	①									
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
今後、茅野市の縄文を広く伝えることを意識し、講座・教室などの事業とも連携し、考古館の認知度を高め縄文を識る役割を果たすガイドブック等の発行に取り組む。					展示解説『尖石』や『仮面土偶 発掘の記録』などの残部希少な出版物は、茅野市の縄文を識り、発信する重要な手立てで、増刷し拡充を図っていく。										

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	資料整備事務	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	07020202
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史
				連絡先	76-2270

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 11 尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実 事務事業 02 資料整備事業		
	予算事業名	資料整備事業費		会計コード 001 款 10 項 05 目 05 事業 09		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	収蔵資料の内、劣化の激しい鉄器・木器・土製品を中心に保存処理を行い、保存処理終了後は考古館常設展示において公開する。 収蔵資料の写真撮影を行い、台帳化を進める。 市民学習用の図書資料の購入。				
	現状と背景 （どうして）	収蔵資料の内、鉄器や木器・土製品は劣化が激しいため、貴重な資料から保存処理・修復を行う必要がある。 保存処理が必要な収蔵資料は発掘調査により増加しているが、保存処理・写真撮影を行っていない。				
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	対象 （ 誰 の た め に ）	施設利用者				
	対象 （ 直 接 働 き か け る ）	寄贈・購入された図書 保存処理・修理が必要な収蔵資料				
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	収蔵資料・図書資料で台帳化が行われていないものを台帳化する。 保存処理・修復を実施し展示できる状態にする。 展示公開の実施および貸出要望に応えられるようにする。				
手段・方法 （ ど う や っ て ）	図書資料は受領次第台帳化する。 収蔵資料から学術的に重要で、劣化の激しいものを選択し台帳化を行い優先順位を決定する。 優先順位に基づいて保存処理を実施する。 保存処理したものを順次公開する。					
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		新規寄贈図書・購入図書資料の台帳	図書台帳化率	%	購入・寄贈図書資料/購入・寄贈図書台帳化率	100
		保存処理された資料	遺物保存処理率	%	保存処理実施点数/保存処理必要点数	100
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		新規寄贈図書・購入図書資料の台帳化率	台帳化率	%	新規図書数/新規図書台帳記入数	100
		保存処理された資料の公開率	保存処理された資料の公開率	%	保存処理済みの資料数/保存処理済資料展示回数	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	1,051,436	1,012,826	1,026,549	1,032,760	1,087,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円	1,051,436	1,012,826	1,026,549	1,032,760	1,087,000
職員数	人					
正規職員	人	0.05	0.10	0.05	0.05	0.05
嘱託職員	人					
臨時職員	人	0.25	0.02	0.45	0.45	0.45
合計	人	0.30	0.12	0.50	0.50	0.50
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	19.00	18.00	18.00	19.00	42.00
D （ ）	図書台帳化率	目標	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100
	達成率	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	遺物保存処理率	目標	100	100	100	100
		実績	20	25	100	100
	達成率	20.00	25.00	100.00	100.00	-
-	目標	100				
実績	-					
達成率	-					
O （ ）	台帳化率	目標	100	100	100	100
		実績	60	65	70	70
	達成率	60.00	65.00	70.00	70.00	-
	保存処理された資料の公開率	目標	100	100	100	100
実績		10	15	20	30	
達成率	10.00	15.00	20.00	30.00	-	
備考	市民プランの細施策において横断的な事務事業である。 H23から上記の活動指標・成果指標に変更。					

事務事業名	資料整備事務	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	0702020	
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳史	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	宮坂英弉旧蔵資料の整理 保存処理の必要な考古資料の台帳化	宮坂英弉旧蔵資料の整理 保存処理の必要な考古資料の台帳化	他業務との兼ね合いから進行が遅れ気味である。
第2期	収蔵庫内環境調査委託業務の準備 宮坂英弉旧蔵資料の整理 保存処理の必要な考古資料の台帳化	環境調査委託業務の準備 宮坂英弉旧蔵資料の整理	他業務の兼ね合いから環境調査委託業務が遅れ気味である。
第3期	環境調査委託業務の業者決定と事業開始 木器の保存処理委託業務の準備(資料選び出し、見積依頼など)	環境調査委託業務の業者決定と事業開始 土器の保存処理委託業務の業者決定と事業開始	他業務の兼ね合いから予定した木器の実測ができず、保存処理を土器に変更した。
第4期	環境調査委託業務実施 土器の保存処理委託業務実施 書籍の購入	環境調査委託業務完了 土器の保存処理委託業務完了 書籍の購入	保存処理する土器の優先順位を決める。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 他業務との兼ね合いから、収蔵庫内の環境調査、木器の保存処理という委託業務が遅れている。	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 展示頻度や貸出し頻度の多い土器を中心に、木器の保存処理をどのように進めるか方向性を検討したい。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
図書資料の台帳化は目標通り進んでいるが、保存処理が必要な資料全体の台帳化の進行速度が遅い。保存処理終了資料の展示・公開が進んでいない。臨時職員の当業務を図書整理だけに限定している。	チェック				4					4					4					4	A
記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要																					
前年度総合評価判定	B																				
前年度評価シート整理番号	07020202																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	保存処理・修復が必要な資料の把握・優先順位づけが業務の基礎であるが、効率が悪い。臨時職員の業務状況を把握し、保存処理・修復台帳業務にあたる時間を確保できないか検討する必要がある。	資料の状態を把握し保存処理を適切に実施することで、実物資料や写真資料の貸出要望に迅速に応えられるようにするために大事な事務である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成果の方向性	拓 充		②	⑤	⑦	拓 充			
現 状 維 持			③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
縮 小			④	⑧	⑩	縮 小				
休 廃 止	①					休 廃 止				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拓 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

遺物保存処理・修復業務について、正規職員が事務事業に該当する業務にあたる時間を2ヶ月単位で定期的に確保する。臨時職員が実施できる業務を明確にする。常設展示のテーマに即した保存処理遺物を組み込む。常設展示に保存処理・修理に関する小展示コーナーをつくる。ホームページ上で保存処理・修復業務および資料を公開する。	保存処理が必要な資料の台帳化を進める。
---	---------------------

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		国宝指定記念事業			事業期間	平成 27 ~	年度	整理番号	07020103					
担当部署		教育委員会	文化財課	尖石縄文考古館	作成担当者名	山 科 哲	連絡先	76-2270						
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む								
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供									
			細施策	11	尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実									
			事務事業	03	常設展・特別展・講演会・研究会・講習会開催事業									
	予算事業名	国宝指定記念事業			会計コード	001	款	10	項	05	目	05	事業	10
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	新潟県、山梨県当の縄文時代の国宝・重要文化財級の土器と茅野市の土器の共通性と優れたデザインを探る。												
	現状と背景 （どうして）	平成26年8月21日中ッ原遺跡「土偶」（仮面の女神）が国宝に指定された。これを記念して、中越地方に発達した火焰型土器、王冠型土器をはじめ、新潟県・長野県・山梨県出土の造形美あふれる縄文土器を一同に集め、土偶だけではない縄文造形に焦点をあて、中部地域の縄文文化の素晴らしさを知ってもらおう。												
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 市民・文化財に興味のある者											
		対象 （直接働きかける）	市民・文化財に興味のある者											
		意図	市民・文化財に興味のある多くの方々に来館していただき、縄文時代の造形力の素晴らしさを感じ取ってもらいたい。											
	手段・方法 （どうやって）	新潟県から山梨県にかけて発掘されている縄文時代の国宝・重要文化財級の土器を他館から借用し、特別展を開催する。												
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		報道関係取材件数	報道件数	件	新聞・テレビ等への取材件数					10				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		特別展期間入場者数	特別展入館者数	%	特別展時入館者数/通年度入館者数					110				

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円				1,368,740	74,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円				1,368,740	74,000	
職員数	人						
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	24.00	1.00	
D （ ）	活動指標	報道件数	目標	件		10	
			実績			10	
	達成率	%	-	-	100.00	-	
	-	-	目標				
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
O （ ）	成果指標	特別展入館者数	目標	%		110	
			実績			100	
	達成率	%	-	-	90.91	-	
	-	-	目標				
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
備考	本事業は平成26年度地方創生先行型事業として3月補正され、繰り越し明許により平成27年度に実施する。						

事務事業名	国宝指定記念事業	事業期間	平成 27 ~	年度	整理番号	07020103	
担当部署	教育委員会	文化財課	尖石縄文考古館	作成担当者名	山 科 哲	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・借用資料の調査と特別展示室の環境調査 ・資料選定と借用館、文化庁との調整協議 ・特別展のPR	・十日町市博物館、山梨県立考古博物館所蔵資料の調査を実施 ・環境調査により有機酸ガス濃度が指定文化財の展示に適さないことが判明 ・指定文化財以外の資料による展示構成案の作成	・有機酸ガスの除去 ・特別展のPR
第2期	・借用資料の確定 ・特別展のPR ・特別展開幕 ・有機酸ガスの除去	・借用資料の確定 ・特別展のPR ・特別展開幕 ・有機酸ガスの除去	・指定文化財展示ケースの性能再調査(有機酸ガス濃度の再測定、温湿度の定点記録)
第3期	・指定文化財展示ケースの性能再調査(有機酸ガス濃度の再測定、温湿度の定点記録) ・企画展の立案	・指定文化財展示ケースの性能再調査(温湿度の定点記録)	・指定文化財展示ケースの性能再調査(有機酸ガス濃度の再測定)
第4期	・指定文化財展示ケースの性能再調査(有機酸ガス濃度の再測定) ・企画展の立案	・企画展の立案	・指定文化財展示ケースの性能再調査(有機酸ガス濃度の再測定)

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 環境調査の結果、展示ケースの経年劣化によって、国指定文化財の収蔵展示に適切ではない環境があることがわかった。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>これまでに掲載されていない新指定の文化財のほか、未指定の文化財についても検討する。文化財の種類ごとか、地域ごとの検討も、文化財審議委員会にはかりながら検討していく。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	06040104															

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
特別展に関連した縄文土器にテーマを設けて、縄文ゼミナールで講演会を実施する。	茅野市の縄文文化を識る手がかりとして、土器を探ることが重要である。また、周辺地域の縄文土器と比較展示することにより、縄文文化の広がりを探ることに有効である。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	
改革・改善策	縄文土器を中心に据えた特別展の開催は、縄文土器を通じて縄文の造形力や、地規制を識る重要な役割を果たす。	縄文をテーマに設けた特別展を開催することで、縄文のすばらしさを発信する有効的な手段となる。

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	-------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		編文教室事務		事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	07020204					
担当部署		教育委員会事務局		尖石縄文考古館		考古館係	作成担当者名	山 科 哲					
							連絡先	76-2270					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供							
				細施策	11	尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実							
				事務事業	03	常設展・特別展・講演会・研究会・講習会開催事業							
	予算事業名	編文教室事業費			会計コード	001	款	10	項	05	目	07	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	小学生から大人まで、実際に土偶・土器などを制作する体験学習や講座・特別展示などを通じて、縄文文化や遺跡の大切さについて理解していただく市民向けの学習メニュー。												
現状と背景 （どうして）	茅野市には国宝土偶をはじめ多数の優れた縄文時代の遺物、それらを出土した縄文時代遺跡の宝庫である。また、尖石遺跡の発掘などが早くから注目されて行われ、縄文文化研究にも大きな足跡を残してきた地である。												
目的	対象 （誰のために）	茅野市の縄文文化や歴史に関心のある市民及び一般愛好者。											
	対象 （直接働きかける）	同上											
的 意 図 （どんな状態にしたいか）	多くの方々に参加していただき、縄文王国茅野としての郷土のすばらしい縄文文化や遺跡の大切さについて理解していただける人を増やす。												
手段・方法 （どうやって）	縄文時代の技術や文化を楽しく体験・学習できるメニューによる教室を開催する。 また、より深く縄文時代・縄文文化を理解してもらうため、大学教員等による講義を開催する。												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		縄文教室・縄文ゼミナール等の講座開催数	開催数	回	開催数				13				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		縄文教室・縄文ゼミナール等の講座参加者の増	講座参加者の増	%	H27年度/H26年度				110				

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	321,161	536,000	423,794	303,804	566,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					37,000
	一般財源	円	321,161	536,000	423,794	303,804	529,000
	職員数						
	正規職員	人	0.10	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	人					
臨時職員	人	1.90	1.25	1.25	1.25		
合計	人	2.00	1.45	1.45	1.45		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	6.00	10.00	8.00	5.00	10.00	
活動指標	開催数	目標	14	13	13	13	
		実績	13	13	14	17	
	達成率	92.86	100.00	107.69	130.77	-	
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
成果指標	講座参加者の増	目標	400	400	400	400	
		実績	430	398	688	632	
	達成率	107.50	99.50	172.00	158.00	-	
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	縄文教室事務	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	07020204	
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	山 科 哲	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	縄文ゼミナール第1回 縄文教室第1回・第2回	縄文ゼミナール第1回 縄文教室第1回・第2回	縄文教室の講師(尖石土器サークルメンバー)と十分な事前打ち合わせの時間をとり実施する。
第2期	縄文ゼミナール第2回・第3回 縄文教室「縄文を楽しむ」第1~4回 縄文文化月間中のイベント(ギャラリートーク、ナイトミュージアム)	縄文ゼミナール第2回・第3回 縄文教室「縄文を楽しむ」第1~4回 縄文文化月間中のイベント(ギャラリートーク、ナイトミュージアム)	ギャラリートークの集客をいっそう図るため、参加者アンケートを参考に内容をより充実させる。
第3期	縄文文化大学講座 縄文ゼミナール第4回 縄文教室第3回・第4回、縄文教室「縄文を楽しむ」第5回	縄文文化大学講座 縄文ゼミナール第4回 縄文教室第3回・第4回、縄文教室「縄文を楽しむ」第5回	ゼミナール、教室とも、内容の充実と集客を図るためのアンケートと振り返り
第4期	今後のゼミナール、教室の企画立案と内容の検討	平成28年度の縄文教室、縄文ゼミナールの立案及び講師依頼	効果的な広報活動

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 受講者には好評を博しているが、材料費が以前よりも高騰しており、受益者負担の額を再検討すべきと思われる。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 尖石縄文まつりの休止に伴い、まつりの事業費に縄文教室受講者の作品(土器・土偶)を焼くのに必要な薪代が計上できなくなった。そのため、当事業に薪代を計上することとしたい。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課題	体験型講座の縄文教室や講演スタイルの縄文ゼミナール等を行い参加者には好評を博している。縄文プロジェクト構想にうたわれている「市民総学芸員化」目指して、より「縄文文化」を理解してもらえるよう効果的に取り組んでいく必要がある。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		A
前年度評価シート整理番号		07020204

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
多くの参加者にめぐまれ、好評を博した。さらに多くの方に参加してもらえるよう、また幅広い年齢層が参加できる講座内容にするよう吟味するなど努めていく。	縄文プロジェクト構想にうたわれている「市民総学芸員化」を目指すため、世界に誇る茅野市の縄文文化のすばらしさを市民の皆様が知り、理解していただくための大事な施策である。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
改革・改善の方向性	成 果 の 方 向 性 拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 休 廃 止
改革・改善策	参加者アンケートを参考にしながら企画を立てる。また、参加者を増やすための募集方法を企画する。	参加者アンケートを参考にしながら企画を立てる。また、一貫したテーマに沿った内容にするなど工夫し、郷土の縄文文化に理解と関心をもつ市民を一人でも多く育てる努力をする。
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	尖石史跡公園整備事務			事業期間	平成 10 ~ 年度	整理番号	07020205
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270
計 画	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政 策	03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む		
				施 策	06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供		
				細 施 策	11 尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実		
				事務事業	04 尖石遺跡整備事業		
	予算事業名	尖石史跡公園整備事業費			会計コード	001 款 10 項 05 目 07 事業 04	
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	国指定特別史跡尖石遺跡の保存・管理を行う。考古館と青少年自然の森、森林計画地と一体となった運営を行う。縄文プロジェクト構想の縄文のまちづくりの一環として、整備・保存作業を市民参加を得て行う。					
	現状と背景 (どうして)	史跡指定地は全体の94%の公有地化が終了した。平成2年度から国庫補助事業による史跡整備事業を行い、平成20年度に国庫補助事業による整備は完了した。今後の史跡整備については、市民参加による史跡整備を実施していく予定となっている。一方で文化庁・長野県教育委員会から史跡保存管理計画の早期策定を求められている。					
目 的	対 象 (誰のために)	市民と観光客。					
	対 象 (直接働きかける)	市民。					
	意 図 (どんな状態にしたいか)	市民や観光客が、八ヶ岳山麓の縄文文化や豊かな自然を感じ取り、体験できる公園として提供する。 国特別史跡の大切さを市民に理解してもらう。 特別史跡の保護・管理と利用者の安全管理を図る					
	手 段・方 法 (どうやって)	特別史跡の保存管理計画を策定する。 史跡整備・管理作業への市民参加を呼びかけて実施する。 公園内の堅穴住居保守点検業務委託の仕様書を見直す。 八ヶ岳山麓の自然を体感できるような縄文の森の復元を行う。					
N 評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		国特別史跡保存管理計画作成	進捗度	%	完成率	100	
		市民参加による史跡の整備・管理	市民参加率	%	整備作業への市民参加回数/整備作業回数	100	
	成果指標	公園利用者への聞き取り調査・アンケートの実施	実施回数	%	実施回数/12ヶ月	100	
		成 果・効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		利用者数の増加	使用者数増加率	%	使用者数/前年度利用者数	100	

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
		事業費等(a)	円	1,021,650	5,588,625	883,900	1,577,100
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円		155,000			
	地方債	円					
	その他特定財源	円		2,435,125			
職 員 数	一 般 財 源	円	1,021,650	409,500	825,900	789,100	1,904,000
	正 規 職 員	人	0.50	0.74	0.74	0.50	
	嘱 託 職 員	人					
	臨 時 職 員	人					
合 計	人	0.50	0.74	0.74	0.50		
対 象 (者) 数							
延 利 用 (者) 数 (b)							
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	円	18.00	100.00	16.00	28.00	57.00	
D 活 動 指 標	進 捗 度	目 標	%	100	100	100	100
		実 績	%	20	30	10	100
		達 成 率	%	20.00	30.00	10.00	100.00
	市 民 参 加 率	目 標	%	100	100	100	100
		実 績	%	100	100	100	100
		達 成 率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	実 施 回 数	目 標	%	100	100	100	100
		実 績	%	10	50	10	2
		達 成 率	%	10.00	50.00	10.00	2.00
	成 果 指 標	使 用 者 数 増 加 率	目 標	%	100	100	100
		実 績	%	100	100	100	100
		達 成 率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
-	目 標	-					
	達 成 率	%	-	-	-	-	
備 考	H23年度活動指標の変更						

事務事業名	尖石史跡公園整備事務	事業期間	平成 10 ~	年度	整理番号	07020205
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳史	連絡先 76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第2回保存管理計画策定指導委員会の開催	第2回保存管理計画策定指導委員会の開催(5月27日)	計画書を前半と後半に分け、別の職員が作成したため、内容に整合しない箇所がみられる。
第2期	文化庁協議 第3回保存管理計画策定指導委員会の開催	文化庁協議(7月15日) 第3回保存管理計画策定指導委員会の開催(9月30日)	指導委員会指摘事項の手直し 素案の庁内協議・調整 地元との調整
第3期	指導委員会指摘事項の加筆と訂正 第4・5回保存管理計画策定指導委員会の開催 素案の庁内調整・協議 地元との調整 史跡南斜面の樹木伐採・枝払い委託業務の入札準備	指導委員会指摘事項の加筆と訂正 第4・5回保存管理計画策定指導委員会の開催(11月9日、12月16日) 素案の庁内調整・協議(12月22日) 史跡南斜面の樹木伐採・枝払い委託業務の実施	素案の庁内調整・協議 地元との調整
第4期	指導委員会指摘事項の加筆と訂正 文化庁協議 素案の庁内調整・協議 地元との調整	指導委員会指摘事項の加筆と訂正 文化庁協議(1月26日) 素案の庁内調整・協議(1月27日、3月4日) 地元との調整(3月2日)	庁内職員への周知、地元区への説明 整備活用に向けた工程案の作成と庁内合意

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 保存管理計画を策定する中で、台地斜面の崩落防止、樹木の除間伐、木橋の改修などの緊急性の高い委託業務および工事の必要性が話題となった。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 台地斜面の崩落防止工事、樹木の除間伐委託業務、木橋の改修工事に要する費用を計上したい。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4					4					4					4	A
課題	策定した保存管理計画を実行に移すために、地元住民、庁内関連部署、文化庁等の関係者並びに関係機関と合意形成を図り、実施計画を定める必要がある。 外来特定生物の駆除等の環境整備に関わるボランティア活動とは別に、史跡公園を活用したさまざまなイベントを展開し、今以上に広く市民に足を運んでもらえる場とする必要がある。 屋根を中心に堅穴住居の不朽が進んでいる。来訪者が安心・安全に利用できるよう、修理や整備に要する財源を確保することが必要である。															記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要					
	前年度総合評価判定										A										
	前年度評価シート整理番号										06040204										

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	史跡整備に参加した市民の満足度と、利用者の満足度が一致するかアンケートなどにより検証する必要がある。 市民参加による史跡整備の成果は着実にあがっている。整備の成果を考古館の展示と関連付けるなど、ひろく情報発信することで、より多くの市民参加を得られることができる可能性がある。	国の特例史跡を管理するとともに、八ヶ岳山麓に繁栄した縄文文化の基礎となった豊かな自然を感じ取り、体験できる公園として提供することで、遺跡や文化財の大切さを理解してもらうために大事な施策である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性								
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									
堅穴住居保守点検の仕様を見直す。	保存管理計画についての策定作業を進め、長野県教育委員会、文化庁の指導を受ける。									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	尖石縄文文化賞事務	事業期間	平成 12 ~ 年度	整理番号	07020206
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	作成担当者名	山 科 哲	連絡先	76-2270

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 11 尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実 事務事業 05 縄文文化賞事業		
	予算事業名	尖石縄文文化賞事業費		会計コード 001 款 10 項 05 目 05 事業 07		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	国指定特別史跡尖石遺跡の発掘と集落研究に情熱を注いだ名誉市民故宮坂英式の業績を記念し、縄文時代の研究のさらなる発展を願って茅野市が制定した考古学賞であり、研究に功績のあった者を表彰する。				
	現状と背景 （どうして）	名誉市民故宮坂英式の尖石遺跡の調査・研究は、日本の縄文遺跡とその研究者の表徴である。その尖石遺跡は、史跡の国宝と言われる国の特別史跡である。また、考古館では、我が国最初の縄文時代の国宝である「縄文のビーナス」を展示している。こうした経歴を持つ尖石縄文考古館を、縄文研究の拠点とすべく、全国に向け情報発信している。				
目 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （誰のために）	全国の縄文時代研究者、及び団体。				
	対象 （直接働きかける）	同上				
	意図	縄文王国茅野、及び尖石縄文考古館を全国に知らしめ縄文文化研究の発展に寄与することで、「縄文プロジェクト構想」に示されたまちづくりの基礎を築き、市民に周知する。				
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	縄文まつりに授賞式を行う。また、前年度受賞者による講座を授賞式と同日に開催する。 全国の大学、博物館、埋蔵文化財センターへの募集告知、各地の動向を把握している研究者への推薦依頼を行う。					
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		募集要項を関係機関へ配布する	募集要項の配布件数	件	大学165、埋蔵文化財センター101、歴史系博物館168	433
		推薦依頼を行う	推薦依頼者数	人	各県、各地域の研究者数	34
	成果指標	受賞者による市民向け講座を開催する	講座開催回数	%	前年度受賞者数/講座開催回数	100
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		応募者数の増加を目指す	応募件数	件	平成25年度と同数以上	1
推薦依頼者から被推薦者を受ける	被推薦者数	件	平成25年度と同数以上	2		

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	1,327,943	1,847,000	1,424,966	1,311,136
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	100,000			100,000	100,000	
	一般財源	円	1,227,943	1,847,000	1,424,966	1,211,136	1,673,000	
	正規職員	人	0.27	0.40	0.40	0.40	0.40	
職 員 数	嘱託職員	人						
	臨時職員	人	0.10					
	合計	人	0.37	0.40	0.40	0.40	0.40	
対 象 （ 者 ） 数	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受 益 者 負 担 額	市民一人当たりのコスト	円	24.00	33.00	26.00	24.00	86.00	
	活 動 指 標	募集要項の配布件数	目標	件	433	433	433	433
実績			件	433	433	433	433	
達成率			%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
推薦依頼者数		目標	人	34	34	34	33	
		実績	人	34	34	33	33	
		達成率	%	100.00	100.00	97.06	100.00	-
講座開催回数	目標	%	1	1	1	1		
	実績	%	1	1	1	1		
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-	
成 果 指 標	応募件数	目標	件	4	4	1	1	
		実績	件	2	1	1	2	
		達成率	%	50.00	25.00	100.00	200.00	-
	被推薦者数	目標	件	10	11	2	6	
		実績	件	11	2	6	3	
		達成率	%	110.00	18.18	300.00	50.00	-
備 考								

事務事業名	尖石縄文文化賞事務	事業期間	平成 12 ~	年度	整理番号	07020206
担当部署	教育委員会 生涯学習部 文化財課	尖石縄文考古館	作成担当者名	山 科 哲	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	委員委嘱、後援依頼、広告掲載依頼、推薦依頼、ホームページ上での募集開始	委員委嘱、後援依頼、広告掲載依頼、推薦依頼、ホームページ上での募集開始	広告掲載やホームページ上での告知を可能な限り早めていく。
第2期	選考委員会の開催、賞状・トロフィー・授賞式パンフレットの作成、市長答申	選考委員会の開催、賞状・トロフィー・授賞式パンフレットの作成、市長答申	賞状・トロフィー・パンフレット作成を滞りなく進める。市長答申後の記者会見へ多くの報道機関に参加してもらう。
第3期	授賞式の開催、後援者への報告、推薦依頼者への報告	授賞式の開催、後援者への報告、推薦依頼者への報告	授賞式への参加者をこれまで以上に多くする。報告を迅速かつスムーズにする。
第4期	助成金の請求 次回の助成金の申請 後援依頼	助成金の請求 次回の助成金の申請 平成28年度選考委員の委嘱内諾	後援依頼

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 委員委嘱と後援依頼を早めて、募集期間をなるべく長くする。また、ここ数年固定してきた選考委員会開催日について、選考委員のフィールドワークとの調整が必要となってきた。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） これまで通りに実施	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4					4	A
課題	被推薦者数は前年度並みであったが、応募者は少なかった。応募者、被推薦者がともに前年度以上になるよう努める。															記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																A					
前年度評価シート整理番号																07020206					

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	より効果的な推薦を得るため、さらに比較的若手の研究者に推薦を依頼していく。	縄文王国茅野、及び尖石縄文考古館を全国に知らしめ、縄文文化研究の発展に寄与することで「縄文プロジェクト構想」によるまちづくりの基礎をなす施策として重要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	現状の状況で、よりよく効果的に文化賞をアピールし、有効に運営を行っていきたい。	尖石遺跡・宮坂英弉先生の業績、茅野市の縄文文化を全国に広める重要な役割を果たし、今後ともこの文化賞を続けていくことは重要な役割である。								
今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	青少年自然の森管理運営事務事業	事業期間	平成 4 ~ 年度	整理番号	07020207
担当部署	教育委員会事務局 尖石縄文考古館 考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 11 尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実 事務事業 06 青少年自然の森維持管理事業		
	予算事業名		会計コード	001 款 10 項 05 目 09 事業 01		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	青少年自然の森は、青少年が豊かな自然の中で「生きる力や知恵」を育むための原体験をおこなう施設である。この施設を施維持管理していくための事業である。				
	現状と背景 （どうして）	青少年が豊かな自然の中で「生きる力や知恵」を育むための原体験施設として極めて重要な施設である。				
目的	対象 （誰のために）	利用者				
	対象 （直接働きかける）	同上				
手段・方法 （どうやって）	意図 （どんな状態にしたいか）	安全で安心して利用ができる施設の整備及び管理を行う。				
		利用者に安全かつ快適に施設を利用していただくため、施設の修繕を計画的に進め、あわせて備品や電気保安などの定期点検を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		施設内外の安全状況確認	施設状況点検率	%	施設内部と外部の状況確認実施回数/開館日	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		事故・クレーム件数の削減	事故・クレーム抑制率	%	1-事故・クレーム件数/来館者数	100

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	4,418,000	4,720,206	3,491,560	3,275,422	4,751,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円		3,250,400	2,673,100	2,430,104	3,986,000	
一般財源	円	4,418,000	1,469,806	818,460	845,318	765,000	
職員数	人						
正規職員	人						
嘱託職員	人	1.00	0.80	1.00	1.00	1.00	
臨時職員	人	0.50	0.31	0.50	0.50	0.50	
合計	人	1.50	1.11	1.50	1.50	1.50	
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	79.00	84.00	63.00	59.00	150.00	
D （ ）	施設状況点検率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	100	100	100	100
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	%	-	-	-	-
実績		%	-	-	-	-	
-	目標	%	-	-	-	-	
	実績	%	-	-	-	-	
O （ ）	事故・クレーム抑制率	目標	%	100	100	100	100
		実績	%	100	100	100	100
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	%	-	-	-	-
実績		%	-	-	-	-	
-	目標	%	-	-	-	-	
	実績	%	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	青少年自然の森管理運営事務事業	事業期間	平成 4 ~	年度	整理番号	07020207	
担当部署	教育委員会事務局	尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳史	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	木に引っ掛かる折れ枝の確認及び処理 貸出備品の補修・点検 経年劣化によるアスレチック器具等の点検	折れた枝の処理 貸出備品の補修・点検 経年劣化によるアスレチック器具等の点検	折れた枝が木に引っ掛かっていないか、定期的な点検する。 定期的アスレチック器具等を点検する。
第2期	敷地内支障木の確認、その伐採及び処理	敷地内支障木の伐採・処理	安全面を考え業者委託を考えたい。
第3期	敷地内支障木の確認、その伐採及び処理 宿泊棟屋根の洗浄作業 施設の細部点検の実施 炊飯棟かまどの修理	敷地内支障木の確認 宿泊棟屋根の洗浄作業 施設の細部点検の実施 炊飯棟かまどの修理	樹木の管理が課題である。
第4期	敷地内支障木の伐採及び処理 宿泊棟の網戸の修理	敷地内支障木の伐採及び処理 宿泊棟の網戸の修理	樹木の管理が課題である。

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 宿泊棟や研修棟等の各施設は、豊かな自然環境との調和を図るため、木をふんだんに使用している。建築から20年以上を経過した今、雨水と微生物等による腐朽が外回りの至るところで進んでいる。自然環境への配慮は必要だが、施設の延命化を図るために、耐久性のある木材以外の使用も考慮する 新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 5棟ある宿泊棟に付設するウッドデッキの4面が、雨水と微生物等による腐朽によって、利用できない状態となっている。危険防止のために撤去することとし、再設置が必要か検討したい。	<table border="1"> <tr> <td>今 成 果 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後 の 現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	今 成 果 拡 充	②	⑤	⑦	後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性 休 廃 止	①		
今 成 果 拡 充	②	⑤	⑦														
後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨														
方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩														
方 向 性 休 廃 止	①																

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
宿 泊 棟 や 研 修 棟 等 の 各 施 設 を 適 切 に 維 持 管 理 し て い く た め に、 施 設 の 現 状 把 握 と 不 具 合 を 早 期 発 見 す る こ と が 必 要 で あ る。 外 見 で は わ か ら な い 箇 所 の 不 具 合 を ど の よ う に 発 見 す る か、 業 者 に よ る 定 期 的 な 点 検 を 含 め 課 題 で あ る。 又 た、 施 設 利 用 者 の 減 少 を 食 い 止 め る こ と も 課 題 の ひ と つ で あ る。 老 朽 化 の 進 む 施 設 の 維 持 管 理 は も ち ろ ん で あ る が、 考 古 館 に よ る 一 体 的 な 管 理 運 営 を 見 直 し、 今 以 上 に 魅 力 あ る 施 設 と な る よ う 検 討 す る 時 期 に きて いる よ う に 思 わ れ る。					4					4					4					4	A
記 号 の 定 義	A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要																				
前年度総合評価判定	A																				
前年度評価シート整理番号	07020206																				
総 合 評 価	業20年以上経過しており、至る所に不具合がみられる。利用者が安心かつ安全に施設が利用できるよう、計画的に改修工事をしていく必要がある。										細 施 策 評 価 後 施設の延命化を図るとともに、安全かつ快適に利用していただくための大切な施策である。										
改 革 ・ 改 善 策	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性										

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	①	成 果 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	①
今 後 の 方 向 性	②	⑤	⑦	③	④	②	⑤	⑦	③	④
方 向 性	③	⑥	⑨	④	⑧	③	⑥	⑨	④	⑧
性	④	⑧	⑩	①		④	⑧	⑩	①	
性	①					①				
性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策	利用者が安全で安心な施設利用ができるよう、改修工事を計画的に行い環境整備を行っていく。また、小さな備品については、古い物から順次交換していく。					利用者の安全性を保持していくために日々の点検を怠りなく実施する。				

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		縄文プロジェクト構想の推進事業		事業期間	平成	～	年度	整理番号	01090101							
担当部署		企画総務部 まちづくり戦略室		作成担当者名	三井 潤		連絡先	273								
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む										
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供											
			細施策	11	尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実											
			事務事業	07	縄文プロジェクト推進事業											
	予算事業名						会計コード	001	款	02	項	01	目	06	事業	12
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	縄文プロジェクト構想を推進し、市民の方の縄文文化に対する関心や理解を高め、縄文を活用したまちづくり、まちおこしを行う。														
	現状と背景 （どうして）	当市には、縄文時代の国宝や特別史跡があるが、この資産を十分に活用できておらず、また市民の方の関心も決して高いとは言いきれない状態である。														
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	市民													
		対象 （直接働きかける）	市民、事業者、関係部署													
		意図	縄文プロジェクト構想を見直してより具体的な基本計画を立て、それに基づき縄文を活用した（根づかせる）事業を展開する。それにより、茅野市の知名度の向上と、市民の方の縄文文化に対する関心や理解を高める。													
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文を活用したイベントや事業を行う。 ・縄文に関連した商品が一つでも多く開発される。 														
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値							
		縄文プロジェクト推進市民会議の開催	市民会議の開催	回												
		縄文プロジェクト構想を見直す	縄文プロジェクト構想の見直し	回					1							
	成果指標	縄文関連商品開発支援事業による補助金の交付	補助金交付件数	件	前年度の交付件数を上回る。				2							
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値							
		市民の実感	関心度	%	市民アンケートでまちづくりに縄文が活用されていると思う市民の割合				100							

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円			3,387,218	4,485,000	1,533,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円			3,387,218	4,485,000	1,533,000
	職員数						
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人						
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)						
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	61.00	80.00	27.00
活 動 指 標 （ ）	市民会議の開催	目標	回			8	2
		実績	回				
	縄文プロジェクト構想の見直し	目標	回			1	
		実績	回			1	
	補助金交付件数	目標	件			100.00	-
		実績	件			2	2
	関心度	目標	%			100	100
		実績	%			48	57
	-	目標	-				
		実績	-				
備考	達成率	%			47.70	56.70	
	達成率	%					

事務事業名	縄文プロジェクト構想の推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	01090101
担当部署	企画総務部	まちづくり戦略室	作成担当者名	三井	潤	連絡先	273

期	目標	実績	課題
第1期	第2回縄文プロジェクト実行市民会議と各部署の開催、小屋フェス準備、ラッピングバスの走行開始、茅野駅西口への大型パネルの設置、女神のクールビズ準備	縄文プロジェクト実行市民会議各部署の開催 小屋フェスの地元企業への説明会の開催と参加 ラッピングバスの走行開始、茅野駅西口への大型パネルの設置、女神のクールビズのデザイン決	第2回縄文プロジェクト実行市民会議を開催できなかった。 大手企業と女神のクールビズコラボ企画が不調に終わった。
第2期	第2回縄文プロジェクト実行市民会議の開催 縄文プロジェクト実行市民会議各部署の開催 小屋フェスの開催 女神のクールビズ2015開始	第2回縄文プロジェクト実行市民会議の開催 縄文プロジェクト実行市民会議各部署の開催 小屋フェスの開催 女神のクールビズ2015開始	実行市民会議の委員が多く、会議を開催しても意見がまとまりづらい。会議の開催方法を検討する必要がある。
第3期	小屋フェスの来年度の方向性の検討 女神のクールビズ2016の方向性の検討 縄文プロジェクト実行市民会議のあり方検討 縄文プロジェクト実行市民会議各部署の開催	小屋フェスの方向性は定まっていないが、SuMiKaとの協議、SuMiKaと水明閣のマッチングを行っている。クールビズは宮坂編集長と検討し、キャラクターの作成の提案をいただいたが、キャラクターの作成は行わない。	縄文プロジェクト実行市民会議のあり方については結論は出ていないが、あえて結論は出さず各部署の進捗にあわせて柔軟な対応ができる会議（必要に応じて必要な検討ができる場）をしたい。
第4期	小屋フェスを旨めた小屋コミュニティと市の関わり方の検討と小屋フェス開催に向けた諸課題の検討 世界遺産を目指す姿のありようの検討と具体化（Googleと担当課のマッチングサポート）	3/29にSuMiKaとミーティングを行った。 世界遺産関係については、文化財課と協議を行い、世界遺産に届かない近隣市町村との連携を模索中。 Googleについては御柱終了後、商工課を中心にシンポジウムなどを企画する予定。	SuMiKa関連（水明閣）は行政としての関わり方等の課題を整理する必要がある。

事中評価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成果 拡 充 後 の 現状維持 方 縮 小 向 性 休 廃 止 性
小舎フェスの反響が良く、来年度も実施できるよう検討したい。 若年層へのアプローチとして、女神のクールビズを大手アパレル企業とタイアップできるような方法を模索したい。 認知獲得のため都内でのPRを検討したい。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コスト投入の方向性
上記の事業を具体化し、それらを予算要求したい。	

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定	
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		
評価の観点					4					レ	3					4	B
チェック																	

課題	縄文関連商品補助金の交付件数も増え、着々と市民レベルでの縄文を活かしたまちづくりが根付き始めたと考えられる。ただし、客観的な数字としては、決して多い件数とは言えないため、事務事業での工夫は絶えず行い、市民の関心を高めていく必要がある。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定	B
前年度評価シート整理番号		

総合評価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果 拡 充	現状維持	縮 小	休 廃 止	判定	成果 拡 充	現状維持	縮 小	休 廃 止	判定	
市民アンケートでまちづくりに縄文が活用されていると思う市民の割合が昨年度よりも9ポイント上昇し、2人に1人以上がそのように実感していただいている。この割合が増えることで、行政主導ではない市民の生活に根差した本来の縄文プロジェクトが展開できると考えられるので、継続して市の取組に力を入れていきたい。					4	イベントを中心に縄文プロジェクトが本格的に展開できた年である。今後も、引き続き、シティプロモーションに縄文のコンセプトを取り入れていく。					レ
前年度改革・改善策の実施状況						前年度細施策評価における今後の方向性					

改革・改善の方向性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果 拡 充	現状維持	縮 小	休 廃 止	判定	成果 拡 充	現状維持	縮 小	休 廃 止	判定	
予算の枠として捉えと、現状の予算で十分確保できていると考えられる。その予算の範囲内で事業を組み立て、成果指標のアップにつなげていきたい。					4	全国的にも、茅野市が注目を浴びる取組を縄文プロジェクトで展開していく。 コストは八ヶ岳縄文ライフフェスティバル（額は未定）に係る経費の増を見込む。					レ
改革・改善策						皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コスト投入の方向性					皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コスト投入の方向性

最終評価年月日	平成28年4月20日	最終評価責任者	企画戦略課長	小平 雅文
---------	------------	---------	--------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		関係団体支援等事業費		事業期間	平成	～	年度	整理番号	07020209			
担当部署		教育委員会事務局		文化財課	文化財係		作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270		
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む						
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供						
				細施策	11	尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実						
				事務事業	09	関係団体支援等事業費						
	予算事業名	関係団体支援等事業費		会計コード	001	款	10	項	05	目	07	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	縄文王国茅野として広く、縄文文化の情報を発信するためのイベントで、市民主導の実行委員会で開催する。国史跡、考古館・博物館のある県内外の市町村と情報を共有し広く発信するために、博物館協議会等諸団体の運営に関わる費用の一部を負担する。											
現状と背景 （どうして）	縄文文化が栄えた尖石遺跡を中心に、縄文文化の素晴らしさを、市民とともに発信するため。											
目的	対象	受益者 （誰のために）	市民・全国の人に									
	対象	対象 （直接働きかける）	実行委員会に働きかける									
的	意図 （どんな状態にしたいか）	多くの人がまつりに参加し、縄文時代の雰囲気を感じてほしい。										
手段・方法 （どうやって）	尖石縄文公園内で、縄文時代に関連したイベント（縄文食や土器焼き）を開催し、豊かな自然を満喫しながら縄文文化に親しんでもらう。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値		
		まつりでのイベント数	イベント件数	件	イベント件数					15		
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値		
		まつり参加人数	参加人数	人	当日の参加者数					4,000		

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円				3,081,000	81,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円				3,081,000	81,000
	職員数	人				0.10	
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人				0.10		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円					-	-
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円					55.00	1.00
活動指標	イベント件数	目標	件				15
		実績	件				10
	達成率	%				66.67	
	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%					
成果指標	参加人数	目標	人				4,000
		実績	人				3,500
	達成率	%				87.50	
	-	目標	-				
		実績	-				
	達成率	%					
備考							

事務事業名	関係団体支援等事業費	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07020209
担当部署	教育委員会事務局	文化財課	文化財係	作成担当者名	小池 岳史	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	第1回実行委員会の開催。	第1回実行委員会の開催(6/25)	選挙等で始動が遅れた。
第2期	第2回実行委員会の開催 まつり準備	第2回実行委員会の開催(8/27)	特になし。
第3期	縄文まつりの開催	縄文まつりの開催(10/11)	開催初の雨天でのスタートとなった。開会式会場の考古館への変更を手間取ったほか、イベントを実施するか否かを判断するタイミングが課題となった。
第4期	第4回実行委員会の開催	第4回実行委員会の開催(2/8)	縄文まつりと仮称「市民総合芸術祭 縄文トリエンナーレ」の関連性など、今後の縄文まつりのあり方が課題である。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
縄文まつりが休止となるため、博物館協議会等諸団体の運営に関わる費用(81,000円)のみ計上する。	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定						
チェック					4					4					4	A					
課題	<p>イベントを精査・整理し、単に集客を図ることを目的とするのではなく、真に縄文に関心のある人々のためのイベントとする必要がある。 縄文プロジェクト実行市民会議の楽しむ部会とも連携し、内容を検討していく。</p>																				
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>																				
前年度総合評価判定																					
前年度評価シート整理番号	06040109																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	有料イベントの開催や実行委員会組織の見直しを行い、イベント数よりも内容重視の集中型への転換が必要。	多くの人がまつりに参加し、縄文時代の雰囲気を感じてもらい、縄文文化の素晴らしさを発信するために大切な施策である。夏の花火大会の開催がなくなり、市民が集まるイベントが少なくなっていることから、市民の楽しめるイベントは必要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	有料イベントなどにより、自主財源の確保に努め、運営の仕方もより市民団体主体へと改善を図っていく。	有料イベントなどにより、自主財源の確保に努め、運営の仕方もより市民団体主体へと改善を図っていく。								

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	----------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	尖石ボランティア事業	事業期間	平成 24 ~ 年度	整理番号	07020208
担当部署	教育委員会生涯学習部 文化財課尖石縄文考古館 考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 11 尖石縄文考古館・青少年自然の森の充実 事務事業 08 尖石ボランティア事業		
	予算事業名	尖石ボランティア事業費		会計コード 001 款 10 項 05 目 07 事業 07		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	尖石縄文考古館で市民参加による博物館活動の場とするための事業。尖石縄文考古館の事業をサポートする尖石ボランティアと、考古館を活動の場として自主的な活動を行う尖石サークルの2種類の活動を行っている。尖石ボランティアは史跡公園の環境整備、考古館でのイベント開催、講座講師を無償で務めている。尖石サークルは、会員を増加させながら活発に活動している。サークル会員も、尖石縄文考古館の講座講師を無償で務めている。考古館職員とボランティア会員、サークル会員の意見交換のために、尖石サロンと題して話し合いの場を設けているほか、会員の知識向上を図るため、昨年度に引き				
	現状と背景 （どうして）	尖石縄文考古館の運営に市民感覚をいかすため、茅野市の財産である文化財を市民とともに守り、その価値を知ってもらうため。				
目 的 （ P U R P O S E ）	受益者 （誰のために）	市民、考古館観覧者、公園利用者				
	対象 （直接働きかける）	同上				
手 段 ・ 方 法 （ H O W ）	意 図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	市民総学芸員化とともに、市民が講師発信者、および考古館・茅野市に残る縄文文化の素晴らしさを伝える発信者となってもらう。市民参加による博物館・史跡公園づくりを推進し、博物館運営、史跡公園づくりを茅野市のまちづくりの活動として認知されるようにする。				
	手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	ボランティア活動に学習の要素を加え、茅野市の自然、文化を楽しみ学びながら活動できるボランティア活動プログラムを立てる。 尖石縄文検定合格者に、学習・解説・史跡整備等の実施を通知し、ボランティアによる検定合格後の活動の場を提供する。				
N （ E V A L U A T I O N ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ボランティア事業開催ごとの参加率	ボランティア事業参加率	%	ボランティア活動参加者/ボランティア会員数	100
		尖石サロン開催数ごとの会員参加率	サロン参加率	%	ボランティア、サークル会員出席者数/総会員数	100
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		ボランティア会員数の増加	ボランティア会員増加率	%	今年度会員数/前年度会員数	120
		サークル活動の活性化	サークル会員増加率	%	今年度サークル会員数/前年度サークル会員数	120

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	33,668	36,862	41,398
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	33,668	36,862	41,398	24,098	50,000
	正規職員	人	0.01	0.07	0.20	0.10	0.20
	嘱託職員	人			0.15	0.15	0.15
	臨時職員	人	0.21		0.15	0.15	0.15
	合 計	人	0.22	0.07	0.50	0.40	0.50
	対象（者）数						
延 利 用 （ 者 ） 数 （ b ）							
	単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受 益 者 負 担 額		円					
	市民一人当たりのコスト	円	1.00	1.00	1.00	0.00	40.00
活 動 指 標	ボランティア事業参加率	目標	100	100	100	100	
		実績	90	90	90	90	
	達成率	90.00	90.00	90.00	90.00	-	
	サロン参加率	目標	100	100	100	100	
		実績	70	40	50	50	
	達成率	70.00	40.00	50.00	50.00	-	
-	目標	-	-	-	-		
	実績	-	-	-	-		
成 果 指 標	ボランティア会員増加率	目標	120	120	120	120	
		実績	85	105	110	110	
達成率	70.83	87.50	91.67	91.67	-		
サークル会員増加率	目標	120	120	120	120		
	実績	100	120	120	110		
達成率	83.33	100.00	100.00	91.67	-		
備 考							

事務事業名	尖石ボランティア事業	事業期間	平成 24 ~	年度	整理番号	07020208	
担当部署	教育委員会生涯学習部	文化財課尖石縄文考古館	考古館係	作成担当者名	小池 岳 史	連絡先	76-2270

期	目 標	実 績	課 題
第1期	史跡公園と周辺の清掃 エゴマ栽培準備・種蒔き・苗移植 外来植物の駆除 展示解説の実施 縄文教室への協力 尖石サロンの開催	史跡公園と周辺の清掃 エゴマ栽培準備・種蒔き・苗移植 展示解説の実施 縄文教室への協力 学習会の開催 尖石サロンの開催	会員が高齢化、新住民化している。今後を考え、幅広い年齢層の旧住民を取り込む必要がある。
第2期	エゴマ苗の移植・支柱たて・草取り 外来植物の駆除 展示解説の実施 尖石サロンの実施 展望ギャラリーの展示	エゴマ苗の移植・支柱たて・草取り 展示解説の実施 尖石サロンの実施 展望ギャラリーの展示	会員が高齢化、新住民化している。今後を考え、幅広い年齢層の旧住民を取り込む必要がある。
第3期	エゴマの収穫・おはぎの振る舞い 展示解説の実施 縄文まつり各イベントへの協力(講師役) 学習会の実施 尖石サロンの実施	エゴマの収穫・おはぎの振る舞い 展示解説の実施 縄文まつり各イベントへの協力(講師役) 学習会の実施 尖石サロンの実施	会員が高齢化、新住民化している。今後を考え、幅広い年齢層の旧住民を取り込む必要がある。
第4期	展示解説の実施 尖石サロンの実施	展示解説の実施 尖石サロンの実施	会員が高齢化、新住民化している。今後を考え、幅広い年齢層の旧住民を取り込む必要がある。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 活動をけん引してきた会員が高齢化し、「第2世代」へ引き継ぐ時期に来ていると思われる。スムーズに世代交代ができるか大きな課題である。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 予算・活動は今年度を維持しつつ、考古館のイベント(講座)にしっかり位置づけて開催したい。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	
------	--

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	ボランティア会員が高齢化している。 別荘永住者の参加者が多く、地元市民の参加が少ない。 ボランティア会員が実施すべき業務内容を、職員が行っている部分がある。 ボランティア会員が持っている技能がいかに博物館・史跡公園運営に役立っているか伝える態度が必要である。 尖石縄文検定合格者とボランティア会員が直接交流の場を設け、実際にボランティアを行っている市民からやりがいを説明してもらう必要がある。	記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 07020208	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	比較的年齢の若いボランティア会員を増加するためには、職員も共に働き、感謝する姿勢が重要であり、妥当性は高い。 正規職員が理想としている博物館活動を説明し、共感してもらうためには、ボランティア活動時に職員がいる必要がある。 会員相互の交流を活発にするように業務を進め、仲間意識が醸成されるような機会を設ける必要がある。	史跡公園づくりに市民が参加する、パートナーシップによるまちづくりにつながる事業として重要である。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止					② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①	成果の方向性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止				
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										

改革・改善策	尖石縄文検定合格者へのボランティア活動の周知。 尖石縄文検定合格者とボランティア会員の直接交流の場を設定する。 ボランティア活動に、縄文を学ぶ学習会(尖石学習会)を加える。 職員の役割を検討し、ボランティア会員が担っていた業務を明確にし、会員のやる気と充実感を引き出すようにする。 野外活動は天候に左右されるので、計画通りに進められるよう、予備日を設ける。	ボランティア活動の周知・広報を行うとともに、参加者が活動しやすい環境を作るための意見交換会を行う。
--------	--	---

最終評価年月日	平成28年3月31日	最終評価責任者	文化財課尖石縄文考古館長	守 矢 昌 文
---------	------------	---------	--------------	---------

平成27年度事務事業評価シート（施設整備等事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	体育施設維持管理事業	事業期間	平成 15 ~ 年度	整理番号	07040107
担当部署	教育委員会事務局	作成担当者名	伊藤 善彦	連絡先	72-8399

計 画 （ P ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 12 総合体育館・運動公園の充実 事務事業 01 施設維持管理運営事業		
	予算事業名		会計コード	001 款 10 項 06 目 02 事業 01		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	多くの市民、スポーツ団体に利用されている運動公園内スポーツ施設の維持管理、設備の保守点検、公園内清掃、公園内各スポーツ施設の改修工事等を行う。 ・消防設備点検・電気工作物保守点検・夜間照明設備保守点検・競技器具保守・グランド整備業務・総合体育館清掃管理業務・公園内トイレ清掃業務・公園内清掃業務・総合体育館受付業務の委託事業。また、老朽化した施設の小規模な補修・改修工事の実施。施設維持管理に必要な光熱水費、使用料、消耗品費等の支払い、整備用原材料の購入を行う。				
	現状と背景 （どうして）	老朽化した設備の保守点検、清掃活動等の施設運営に必要な管理業務を行い、体育施設の機能維持を図る。				
目的 （ L ）	対象 （誰のために）	運動公園を利用する全ての市民				
	対象 （直接働きかける）	同上				
手段・方法 （ A ）	意図 （どんな状態にしたいか）	運動公園を利用する全ての市民が、スポーツをはじめ、それぞれの目的に応じて施設を利用する際に、快適かつ良好（安心・安全）な状態にしたい。				
	（ L ）	全体計画（総事業費）	平成26年度までの実績	平成27年度の実績	平成28年度以降の計画	
評価指標の作成 （ N ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	成果指標	施設維持の調査実施	調査数	回	未対応部分の把握	52
		施設維持の委託実施	委託数	件	委託内容の充実及び内容の確認	18
	（ A ）	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
苦情を減らす	苦情非発生日率	%	(365-苦情発生日数/365日) × 100	100		

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	77,019,548	78,933,123	84,160,000	76,085,898	81,013,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円	17,984,253	18,755,000	19,673,000	21,133,842	21,915,000
一般財源	円	59,035,295	60,178,123	64,487,000	54,952,056	59,098,000
職員数	人					
正規職員	人	0.66	1.36	1.36	1.36	1.36
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.66	1.36	1.36	1.36	1.36
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	1,372.00	1,410.00	1,503.00	1,359.00	1,447.00
活動指標 （ D ）	調査数	目標	52	52	52	52
		実績	45	45	45	45
	達成率	%	86.54	86.54	86.54	86.54
	委託数	目標	21	21	22	21
実績		19	19	22	21	
達成率	%	90.48	90.48	100.00	100.00	
成果指標 （ O ）	苦情非発生日率	目標	100	100	100	100
		実績	63	63	65	69
	達成率	%	63.00	63.00	65.00	69.00
	—	目標	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—	
達成率	%	—	—	—	—	
備考						

事務事業名	体育施設維持管理事業	事業期間	平成 15 ~ 年度	整理番号	07040107
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤 善彦
				連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	早期に委託契約を締結し、施設の保守安全を確保する。テニスコート・広場野球場・自由広場の水はけ工事をくグランド路面整備工事に合わせ実施して降雨による使用不可能日を減らす。	テニスコート・広場野球場・自由広場の水はけ工事を実施し降雨後の利用可能時間が早くなった。引き続き職員によるゾーンパトロールを実施し早期に危険箇所の把握対応を実施している。	自由広場の整備は予算削減のため、カキ起を削ったためグランドの硬度が確保できず、競技に支障が出始めている。
第2期	陸上競技場の芝生管理を業者と協議し、大会等に支障のない範囲で養生する。競技施設の緊急工事は、入札差金により対応したい。	陸上競技場の芝生は肥料散布により、かなり状況回復した。	樹木による競技施設への影響がある箇所が増えている。(テニス・弓道)
第3期	外施設クローズ後に陸上競技場の芝生を捕植し次年度に向けて養生する。競技影響支障木の順位付けを行い順次計画的に伐採する。	競技支障木の伐採木・枝落とし箇所を選定済。外施設閉鎖後実施する。	4月の御柱祭に自由広場が駐車場として使用されるため、使用開始時期の遅延が懸念される。
第4期	支障木伐採実施。次年度早期に外施設が使用できるよう工事発注を行い、施行業者と日程を協議する。	グランド整備は発注済。御柱祭に向け、第2駐車場支障木伐採済。	公園全体の樹木の樹高が高く、計画的に伐採し、植栽管理が必要。

事 中 評 価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 テニスコートは、集水パイプ敷設工事を行い、抜本的な対策が必要である。	今 後 の 方 向 性																				
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 屋内GB場の雨漏れ改修・各施設の屋根外壁塗装	方 向 性																				
	<table border="1"> <tr> <td>成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	レ	現 状 維 持	③	⑥	⑨		縮 小	④	⑧	⑩		休 廃 止	①			
成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	レ																	
現 状 維 持	③	⑥	⑨																		
縮 小	④	⑧	⑩																		
休 廃 止	①																				

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	<p>運動公園施設は建設後38年が経過し、各施設とも老朽化する中で維持管理費は増加傾向にある。限られた予算の中で、委託業務の内容精査と委託先の検討、改修工事の優先度・重要度のさらなる検討が必要。また、運動公園は森林緑化エリアも広大であり樹木が大きくなっているため近隣住居に支障が出ていることや、樹木も40年以上になり根の腐り等で倒木の危険性が高い。</p>															
記号の定義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	07040107															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性					前年度細施策評価における今後の方向性			

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	今 後 の 方 向 性					今 後 の 方 向 性			
成 果 的 拡 充	② ⑤ ⑦ レ					レ				
現 状 維 持	③ ⑥ ⑨									
縮 小	④ ⑧ ⑩									
休 廃 止	①									
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
限られた財源の中で、効果的な維持管理ができるよう、委託事業については業務内容の精査及び委託先の検討、改修工事については優先度・重要度の検討や工事内容についても精査しながらスピード化を図ることにより、事業費が拡大する。	限られた財源の中で、効果的な維持管理ができるよう、委託事業については業務内容の精査及び委託先の検討を行う。また、改修工事については優先度・重要度を付け工事内容をよく精査し、施設機能の更なる保全を図る。									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤柄敏
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	体育施設環境整備事業	事業期間	平成 ~ 年度	整理番号	07040108
担当部署	教育委員会 生涯学習部 スポーツ健康課	作成担当者名	小林 拓斗	連絡先	72-8399

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 12 総合体育館・運動公園の充実 事務事業 01 施設維持管理運営事業		
	予算事業名		会計コード	001 款 10 項 06 目 02 事業 02		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	利用者が安全かつ快適に利用できる公園になるよう、運動公園内の利用環境整備を行う事業。芝生管理など各種業務の委託を行っている。委託している業務としては、林内整備・草刈・緑化木刈込み、芝生管理、病虫害駆除（アメシロ消毒等）、テングス病及び枯枝伐採、支障木伐採、伐採木ウッドチップ化事業などがある。希少動物が生息する貴重な公園であるので、それにマッチした環境整備を実施していく。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市運動公園は自然の中にある公園であり、公園林内の木や芝生などに様々な支障が出てくる（アメシロの発生や倒木、芝生が枯れるなど）。放置すれば、安全面でも景観上でも利用者に対し、不利益を与えてしまう。そのため、定期的に公園内の整備を実施していく必要がある。				
目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	公園を利用する全ての市民				
	対象 （直接働きかける）	委託業務請負業者				
的 意 図	公園内の利用環境整備を行い、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。					
手 段 ・ 方 法 （ ど う や っ て ）	整備にあたり、毎年度定期的に委託が必要な業務があるので、その委託業務の委託料を確保し、業務の早期発注を行う。それ以外の整備については、利用者からの要望を精査し、優先度が高いものから予算化していく。陸上競技場の公認改修工事に伴う芝生の張替と野球場外野に新規で植えた芝生について、平成25年度から芝生管理委託を業務として追加。					
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		委託業務件数	委託件数	件	委託業務の発注及び内容検査	15
	成 果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		利用者が利用しやすい環境整備を行い、利用人数を増加させる	運動公園内施設利用人数	人	近隣公園、体育練成館を除く運動公園内施設利用人数	320,000

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	17,567,369	13,217,525	15,565,170
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職 員 数	一般財源	円	17,567,369	13,217,525	15,565,170	15,365,715	16,810,000
	正規職員	人	0.61	0.69	0.69	0.69	0.69
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
対 象 （ 者 ） 数	合計	人	0.61	0.69	0.69	0.69	0.69
	延利用（者）数 (b)		309,603	297,945	289,975	313,145	
	単位コスト (a)/(b)	円	57	44	54	49	-
	受益者負担額	円					
活 動 指 標	市民一人当たりのコスト	円	313.00	236.00	278.00	274.00	393.00
	委託件数	目標	15	15	15	15	15
		実績	11	17	16	13	
	-	達成率	73.33	113.33	106.67	86.67	-
目標		-	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
成 果 指 標	運動公園内施設利用人数	目標	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000
		実績	309,603	297,945	289,975	313,145	
	達成率	96.75	93.11	90.62	97.86	-	
	目標	-	-	-	-	-	
-	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
備 考							

事務事業名	体育施設環境整備事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07040108
担当部署	教育委員会 生涯学習部 スポーツ健康課		スポーツ健康係		作成担当者名	小林 拓斗	連絡先 72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	委託業務については、早期発注に努め、利用者が利用しやすい環境を整備していく。	・林内整備・草刈・緑化木刈込委託業務発注 ・草刈委託業務発注(ひまわり作業所) ・運動公園内芝生管理発注(長期契約H25~27) ・林内整備・草刈・緑化木刈込発注 ・運動公園施設環境整備委託業務発注(体育協会) ・公園内清掃委託業務(長期契約H24~26)	今年度は雑草の成長が早く、委託業者と念密な打ち合わせが必要。
第2期	委託業務について、業務が円滑に進むように請負業者との打ち合わせを緊密に行い、事業を進める。 競技施設の芝生に悪影響が出ないよう、委託業者と密に打ち合わせを行う。 病虫害の駆除は、市民や利用者から要望がある前に実施すること。	・運動公園内芝生管理(芝刈、施肥、殺菌剤散布等) ・公園内林内整備・草刈・緑化木刈込 ・病虫害駆除(アメリロ) ・隣接地支障植物撤去(アレチウリ・オオキンケイギク)	・公園内の環境整備のため、引き続きパトロールが必要。
第3期	外部施設の冬期閉鎖に備え、公園内清掃委託業務、公園施設環境整備委託業務について請負業者と打ち合わせを行い、事業を進める。	・運動公園内芝生管理(作業完了) ・公園内林内整備・草刈・緑化木刈込(作業完了) ・テングス病処理委託業務発注準備 ・緊急支障木伐採	・施設環境整備委託が履行できなくなり、契約解除したため、新規に委託となった。作業内容等細かく説明の必要がある。
第4期	テングス病・枯枝伐採委託業務の発注を行い、環境整備に努める。 降雪による倒木や倒木の可能性がある危険個所の確認、伐採を行い、利用者の安全を確保する。	・テングス病・枯枝伐採処理委託業務 ・緊急支障木伐採	テングス病・枯枝伐採、緊急支障木伐採の木材が有効活用できればよい。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 枯木が多く今後の整備計画が必要。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) パトロールを行いながら、伐採が必要な木は早急に行う。 なお、継続し植栽も行っていく。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック				レ	3				レ	3				レ	3	A
課題	<p>保守点検など、毎年度恒常的にかかる経費については、次年度以降も確保する必要がある。 支障木伐採については、運動公園内にある林内の樹木について、危険と思われるものが散見される。支障木伐採委託にあたっては、前年度からマーキングするなどし、風雨による倒木が起こる前に対応するなど、限られた予算内で被害を拡大させない対応が必要である。しかし、限界があるため、事前伐採分の予算化が必要となってくると考えられる。</p>															
CH E C K	<p>記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p> <p>前年度総合評価判定 前年度評価シート整理番号 07040108</p>															

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
運動公園は16施設を保有しており、施設利用者数が年間30万人を超えている。散歩やウォーキングなど統計数値には表れない潜在的な利用者もいるため、経常的な施設の環境整備の必要性、重要性は高いものである。	運動公園は16施設を保有しており、施設利用者数が年間30万人を超えている。散歩やウォーキングなど統計数値には表れない潜在的な利用者もいるため、経常的な施設の環境整備の必要性、重要性は高いものである。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性
拡 充	②	⑤
現 状 維 持	③	⑥ ⑨
縮 小	④	⑧ ⑩
休 廃 止	①	
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
改 革 ・ 改 善 策	限られた財源の中で、効率的、効果的な環境整備ができるよう、委託事業については業務内容の精査及び委託先の検討を行い、最少コストの投入で最大の効果が得られるように事業を進めていく。 整備の効果として、成果指標として設定している施設利用者人数が目標値である32万人を超えるよう環境整備を進めていく。	限られた財源の中で、効率的、効果的な環境整備ができるよう、委託事業については業務内容の精査及び委託先の検討を行い、最少コストの投入で最大の効果が得られるように事業を進めていく。 整備の効果として、成果指標として設定している施設利用者人数が目標値である32万人を超えるよう環境整備を進めていく。

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	バッティングセンター管理運営事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040111				
担当部署	教育委員会	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 拓斗		連絡先	72-8399				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供								
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実								
			事務事業	01	施設維持管理運営事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	10	項	06	目	02	事業	05
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	昭和56年に開設したバッティングセンターは、屋内型の年間を通して使用できる施設であり、多くの利用者に利用していただいている。管理運営は、シルバー人材センターに業務を委託している。管理運営の内容としては、ピッチングマシンのパネの修理、部品の交換、高さの調整、施設内の清掃など管理運営に係る業務一式を委託している。事業費としては、部品交換、ボール購入等の消耗品費、両替機の修繕料、マット、タオル、モップの使用料などを計上している。											
	現状と背景 （どうして）	開設から30年以上が経過し、ピッチングマシンや両替機など消耗してきており、部品の交換等の対応をしながら運営を行う必要がある。管理運営にあたっては、職員が常駐できないため、業務を委託している。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	バッティングセンターを利用する全ての方										
		対象 （直接働きかける）	管理運営業務委託業者（シルバー人材センター）										
		意図	バッティングセンターを利用する人が、快適かつ安全に利用できるように状態を維持したい。										
	手段・方法 （どうやって）	部品交換などを素早く行ってもらうよう指導し、マシンの消耗を少しでも減らしていくことで、利用者に不便をかけないようにしていく。 利用者に対し、不快な感情を与えない接遇を心がけるよう指導する。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		利用者からの要望に対応できるものは対応し、利便性の向上を図る	修理、調整対応回数	回	修理、調整対応回数				100				
	成果指標	委託業者からの派遣職員に対し、接遇指導を行う	接遇指導回数	回	3ヶ月（四半期）に1回				4				
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
	バッティングセンターの延べ利用回数の増加	利用回数	回	打席のカウンター数（3月～11月は1/2、12月～2月はそのままカウント）				60,000					

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
実 施 状 況 （ D O ）	事業費等 (a)	円	6,480,463	6,694,000	7,150,189	6,517,773	6,963,000
	財源内訳						
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円			11,716,300	6,517,773	6,963,000
	一般財源	円	6,480,463	6,694,000	-4,566,111		
	職員数	人	0.26	0.11	0.11	0.11	0.11
	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
臨時職員	人						
合計	人	0.26	0.11	0.11	0.11	0.11	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)		65,894	64,302	65,000		
	単位コスト (a)/(b)	円	98	104	110	-	-
	受益者負担額	円	12,064,500	11,877,600	12,000,000		
	市民一人当たりのコスト	円	115.00	120.00	128.00	116.00	139.00
活動指標	修理、調整対応回数	目標	100	100	100	100	100
		実績	105	105	105	110	
	達成率	%	105.00	105.00	105.00	110.00	
	接遇指導回数	目標	0	4	4	4	4.00
実績		0	1	0	2		
達成率	%	#DIV/0!	25.00	0.00	50.00		
成果指標	利用回数	目標	60,000	60,000	65,000	65,000	65,000
		実績	65,894	64,302	66,249	68,398	
	達成率	%	109.82	107.17	101.92	105.23	
	目標	-	-	-	-	-	
実績	-	-	-	-	-		
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	バッティングセンター管理運営事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040111
担当部署	教育委員会 生涯学習部 スポーツ健康課		スポーツ健康係	作成担当者名	小林 拓斗	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	利用者からの要望(ボール位置の高さ調整やマシンのパネの交換など)に対し、即時対応するよう、指導、監督を行っていく。老朽化しているものについては、早急に整備を進める。	・ピッチングマシンの修理、調整 ・ボール購入業者選定事務 ・バッティングセンター管理運営委託業務契約事務 ・昇降機の修理 ・路面補修1回目	利用回数が前年度同期に比べ、減少してきている。施設の大規模な改修やピッチングマシンの交換が望ましいが、財政的に厳しい状況である。ホームページなどを利用し、バッティングセンターをPRすることで、利用回数の増加につなげたい。
第2期	ボールを定期的に購入し、ボールの入替を行い、利用者の利便性を高める。路面補修(塗装)に予算をかけないよう、請負者と協力し塗装を行う。	・ピッチングマシンの修理、調整 ・ボールの入替作業 ・ピッチングマシンの定期メンテナンス ・路面補修2回目	・ピッチングマシンが古く細かい調整ができない状況である。更新の計画が必要。
第3期	冬期間の降雪に備え、除雪機の点検を早期に実施する。12月1日からの料金、営業時間の変更を正確に行う。	・ピッチングマシンの修理、調整 ・ボールの入替作業 ・料金の設定(12月1日～2月28日まで1ゲーム100円に設定) ・営業時間の変更(12月1日～2月28日まで午後9時)	・新規格のボールを試したが、気温が低くなると割れてしまう。来年度以降も指定品で購入が必要。 ・トイレの屋根から雨漏りがする。早期対応が必要。
第4期	バッティングセンターは、通年営業施設であるため、降雪時に素早く除雪を行い、出来得るだけ早く利用者が利用できる状態にする。	・ピッチングマシンの修理、調整 ・降雪時の除雪作業 ・ボールの入替作業 ・料金の再設定(3月1日～11月30日まで1ゲーム200円に戻す) ・営業時間の変更(3月1日～11月30日まで午後10時) ・トイレ屋根修繕	降雪時に素早く営業開始できるよう除雪に工夫が必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) ピッチングマシンの高さ調整ができなくなっている。今後計画的な更新が必要。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
施設が老朽化しているため、マシンの不調、両替機の故障、グラウンド降雪時の球詰まりなど不具合が出ている。解消にあたり、計画的に大規模な修繕や工事が必要になってきている。優先順位として、利用者や施設周辺に危険がある部分、利用者に不都合な部分から着手していく必要がある。			レ		3			レ		3			レ		3			レ		3	A
記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要																					
前年度総合評価判定																					
前年度評価シート整理番号	07040111																				

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	運動公園は、16の施設を抱えており、それぞれの施設に職員が常駐できないため、管理運営業務を引き続き外部へ委託する必要がある。また、施設の建替は経費的に難しいため、引き続き修繕や部品の交換等で今ある施設を有効活用していく必要がある。	運動公園は、16の施設を抱えており、それぞれの施設に職員が常駐できないため、管理運営業務を引き続き外部へ委託する必要がある。また、施設の建替は経費的に難しいため、引き続き修繕や部品の交換等で今ある施設を有効活用していく必要がある。								
前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策 (ACTION)	今 後 の 方 向 性 (ACTION)					改 革 ・ 改 善 策 (ACTION)				
	ピッチングマシンが古く細かい調整ができなくなっている。利用者の安全面を考え平成29年度から計画的な更新が必要。	ピッチングマシンが古く細かい調整ができなくなっている。利用者の安全面を考え平成29年度から計画的な更新が必要。								

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場管理運営事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040109				
担当部署	教育委員会	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 拓斗		連絡先	72-8399				
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む							
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供								
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実								
			事務事業	01	施設維持管理運営事業								
	予算事業名			会計コード	001	款	10	項	06	目	02	事業	03
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市運動公園国際スケートセンターは、平成元年にオープンし、平成6年から春季から秋季までの施設有効利用ためゴルフ練習場として開設している。平成18年度から、管理運営にあたり指定管理者制度を導入しており、指定管理者として㈱パティネレジャーが管理運営を請け負っている。事業経費として、指定管理者への指定管理料と茅野市減免規定による減免分の補助金を計上し、指定管理者と連携をとりながらスケートセンター・ゴルフ練習場の管理運営を行っている。											
	現状と背景 （どうして）	スケートセンター・ゴルフ練習場は、開設から20年以上が経過していること、また、屋外施設ということで経年劣化が早いこと、競技として専門性があることなどから、スケート場の管理運営に長けている指定管理者の管理運営のもと、通年を通して管理運営していく必要があるため。											
	目的 （どんな状態にしたいか）	受益者 （誰のために）	スケートセンター・ゴルフ練習場利用者										
		対象 （直接働きかける）	指定管理者（株式会社パティネレジャー）										
		意図	スケートセンター・ゴルフ練習場の円滑な施設管理運営を行い、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。										
	手段・方法 （どうやって）	管理運営にあたり、利用者からの要望を精査し、指定管理者と連絡をとりながら事業を進めていく。施設の修繕等にあたっては、指定管理料の中で対応できるものと、市で対応すべきものを精査し、優先度の高いものから実施していく。また、指定管理者のモニタリングを行い、運営状況や適正な管理運営が実施されているかをチェックし、指定管理料の適正な運用がなされているかを把握していく。											
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		指定管理料内での運営がなされているか	最終収支率	%	指定管理料÷営業収支			100					
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		利用者が利用しやすい環境を整え、利用者数を増加させる	スケートセンター利用者数	人				50,000					
	同上	ゴルフ練習場利用者数	人				30,000						

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円	32,664,200	34,410,000	58,787,090
財 源 内 訳	国庫支出金	円			4,776,000		
	県支出金	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	32,664,200	34,410,000	54,011,090	33,067,560	#VALUE!
職 員 数	正規職員	人	0.46	0.06	0.06	0.06	
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
	合計	人	0.46	0.06	0.06	0.06	
	対象（者）数						
	延利用（者）数 (b)		76,074	73,637	68,442	67,631	
	単位コスト (a)/(b)	円	429	467	859	489	#VALUE!
	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	582.00	615.00	1,050.00	591.00	#VALUE!
活 動 指 標	最終収支率	目標	100	100	100	100	
		実績	110	87	88	82	
	達成率	%	110.00	87.00	88.00	82.00	
	—	目標	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—		
	達成率	%	—	—	—	—	
成 果 指 標	スケートセンター利用者数	目標	50,000	50,000	50,000	50,000	45,000
		実績	46,873	44,265	38,449	36,324	
	達成率	%	93.75	88.53	76.90	72.65	
	ゴルフ練習場利用者数	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	35,000
実績		29,201	29,372	29,993	31,307		
	達成率	%	97.34	97.91	99.98	104.36	
備考							

事務事業名	スケートセンター・ゴルフ練習場管理運営事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040109
担当部署	教育委員会 生涯学習部 スポーツ健康課		スポーツ健康係	作成担当者名	小林 拓斗	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	指定管理者と連絡を密に取り合い、利用者からの要望に早期に対応できるように事業を進めていく。	・ゴルフ練習場管理運営事業計画に基づく、料金及び開場期間の承認 ・ゴルフ練習場のオープン ・ゴルフ練習場の管理運営 ・ゴルフ場ネット風遠計交換工事	第1期の入場者数は昨年度より増加した。継続し入場者を増やすため、指定管理者と念密な打ち合わせが必要。
第2期	夏季の別荘客などの集客が見込めるので、利用者数の目標値を達成できるよう事業を進める。	・ゴルフ練習場の管理運営 ・次期指定管理者の選定委員会	利用者数向上につながるPR等、集客方法を検討する必要がある。
第3期	スケートセンター開場の準備を行い、利用者が快適に利用できる状態にする。	・次期指定管理者の審査会 ・ゴルフ練習場のクローズ ・フライングポンプモーター交換工事 ・施設補修工事(スケートセンターオープン前) ・スケートセンターのオープン ・次期指定管理者の決定	暖冬のため冷凍機をフル稼働していたため、ターボチャージャーの故障が起きた。日々の点検を怠らないように指導が必要。
第4期	スケートセンター閉場後、ゴルフ練習場開場の準備を行い、開場時に利用者が快適に利用できる状態にする。	・次期指定管理者の決定 ・冷却ポンプ入替工事 ・スケートセンターのクローズ ・ゴルフ練習場オープン準備	設備が古く故障が頻発している。日々の保守点検を行うとともに、予算を確保し計画的な設備更新が必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
ゴルフ練習場の入場者数が過去最高を記録した。今後も効果的なPRが必要。	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	
次年度からプールを加え新たに5年間の指定管理者に(株)パティネレジャーを指定した。より入場者を増やすため、限りある予算の中できめ細やかな対応が必要。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック			レ		3			レ		3			レ		3	A
課題	スケートセンターの利用者数が減少してきているため、指定管理者として利用者が増加するよう周知・PRや自主活動が必要と考える。一般の利用者増加も望みたいが、国際規格のスケートセンターであるので、全国大会規模の大会を誘致し、宿泊等による経済効果を求めていくことも必要だと考える。平成元年のオープンから28年が経過し、施設が老朽化してきている。施設全体の計画的な更新が必要。															
CHICK	前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					前年度総合評価判定					07040109

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	前年度改革・改善策の実施状況	-					前年度細施策評価における今後の方向性			

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充			
改 革 ・ 改 善 策	成 果 の 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	成 果 の 方 向 性	現 状 維 持			レ	
	成 果 の 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	成 果 の 方 向 性	縮 小				
改 革 ・ 改 善 策	成 果 の 方 向 性	休 廃 止	①			成 果 の 方 向 性	休 廃 止				
改 革 ・ 改 善 策		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改 革 ・ 改 善 策		広報や市公式HPにも情報を掲載し、PRすることで、利用者数の増加を図っていく。来年度からプールを追加し、スケートセンター・ゴルフ練習場を管理していく。施設一体で最大限の成果が出せるよう引き続き市と業者とで連携をとっていく。					広報や市公式HPにも情報を掲載し、PRすることで、利用者数の増加を図っていく。来年度からプールを追加し、スケートセンター・ゴルフ練習場を管理していく。施設一体で最大限の成果が出せるよう引き続き市と業者とで連携をとっていく。				

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	市営プール管理運営事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040110								
担当部署	教育委員会	生涯学習部	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 拓斗		連絡先	72-8399								
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む											
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供												
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実												
			事務事業	01	施設維持管理運営事業												
画	予算事業名							会計コード	001	款	10	項	06	目	02	事業	04
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	茅野市営プールは、昭和52年から営業開始し、多くの市民や利用者に利用されてきた屋外型プールである。事業費として、管理運営の委託料や光熱水費、燃料費などを計上し、利用者に安全に楽しく利用していただくために、監視業務を含む管理運営業務の委託や傷んだ箇所の補修や点検などを実施している。															
	現状と背景 (どうして)	運動公園内には、16もの施設があり、プールに職員が常駐できないため、管理運営業務を委託する必要がある。また、開設から30年以上が経過しており、剥離箇所や破損箇所が毎年度出ているため、定期的な補修などが必要である。															
	目的	対象	受益者 (誰のために)	茅野市営プールを利用しようとする全ての方													
		対象 (直接働きかける)	市営プール総合管理委託業者														
意図 (どんな状態にしたいか)		茅野市営プールの利用環境整備を行い、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整える。															
手段・方法 (どうやって)	管理運営については専門的な知識と技術を要するため、業者に委託し、大規模改修や工事が必要な場合については、市と協議した上で改修や工事を実施していく。委託業者へ管理運営に必要な委託額を支出することで、安全かつ利用者の利便性を向上させる運営を実施する。 また、利用者からの要望を適宜聞き取り、管理運営に反映させ対応していく。																
	N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値							
委託業者とのミーティングを行い、状況を把握し、指示等を行う			ミーティング回数	回	2回/週×10週(営業期間中)=20回				20								
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		利用者が快適に利用できる状態に維持管理することで利用者数の増加を図る	市営プール利用人数	人	市営プール利用人数				20,000								

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
			事業費等(a)	円	17,049,950	16,812,000	18,265,418	17,924,133
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円			3,104,900	4,589,400		
職員数	一般財源	円	17,049,950	16,812,000	15,160,518	13,334,733	#VALUE!	
	正規職員	人	0.16	0.15	0.05	0.05		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.16	0.15	0.05	0.05		
状況	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)			19,493	11,669	16,638		
	単位コスト(a)/(b)	円		862	1,565	1,077	#VALUE!	
	受益者負担額	円	4,691,000	5,143,200	5,300,000			
O	活動指標	ミーティング回数	目標	回	20	20	20	20
			実績	回	10	10	10	10
		達成率	%	50.00	50.00	50.00	50.00	
	-	-	目標					
			実績					
		達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	市営プール利用人数	目標	人	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績	人	18,137	19,493	11,669	16,638
		達成率	%	90.69	97.47	58.35	83.19	
-		-	目標					
	実績							
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	市営プール管理運営事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040110
担当部署	教育委員会 生涯学習部 スポーツ健康課		スポーツ健康係	作成担当者名	小林 拓斗	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	7月1日からの営業に備え、委託契約事務や必要な工事等を進め、利用者が安全かつ快適に利用できる体制を整えていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・プール営業期間中の異状地区一方通行規制事務 ・市営プール総合管理運営委託業務契約事務 ・市営プール関係工事発注事務 ・監視員救急救命講習事務 ・プール施設車列、芝生管理委託事務 ・水汲修理 	指定管理者移行まで、監視業務は分離発注せず総合管理運営委託契約一本でいくので、事故が起らないよう請負業者と連携をとる。
第2期	7月1日から8月31日までの営業期間中、事故や苦情がないよう運営が円滑に進むよう、担当課と委託業者の連絡を密にとる。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者と運営について事務連絡 ・必要消耗品の購入 ・プールのオープン・クローズ ・委託範囲にない芝生の刈込 ・次期指定管理者の選定委員会 	・利用者の方より刺青が入っている方の入場規制の要望があった。公共施設は身体的な理由により入場の規制をできないため、刺青を隠すお願いを周知する必要がある。
第3期	次年度に向け、指定管理者への移行を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・次期指定管理者の審査会 ・次期指定管理者の決定 	・各プールの塗装が剥げる、また薄くなっている。計画的な修繕が必要。
第4期	次年度のオープンに向け、整備等できる部分は整備していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・整備等必要箇所の調査 ・修繕計画 	次年度のオープンに向け、整備等必要箇所の早期調査及び発見に努めること。

事 中 評 価																	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	<table border="1"> <tr> <td>今 成 果 的 拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>後 の 現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>の 方 向 性 縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>方 向 性 休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	今 成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦	後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨	の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩	方 向 性 休 廃 止	①		
今 成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦														
後 の 現 状 維 持	③	⑥	⑨														
の 方 向 性 縮 小	④	⑧	⑩														
方 向 性 休 廃 止	①																
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 指定管理者以降に伴い、安全管理等徹底する必要がある。	<p>皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>																

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック			レ		3			レ		3			レ		2	C
課題	<p>今年度は、委託契約を行い運営をおこなったが、来年度から指定管理者の初年度になるためより密に連携が必要。 各プールが古くなっているため、計画的に修繕を進める。</p>															
CHIECK	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					前年度総合評価判定					
評 価	プールの管理運営は、人命に関わる部分であるので、専門性を持った業者に管理運営を委託することが必要となってくる。					プールの管理運営は、人命に関わる部分であるので、専門性を持った業者に管理運営を委託することが必要となってくる。					前年度評価シート整理番号 07040110					
改 革 ・ 改 善 策	前年度改革・改善策の実施状況					-					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 的 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	判 定	成 果 的 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	判 定
今 後 の 方 向 性	②	③	④	①		②	③	④	①	
方 向 性	⑤	⑥	⑧			⑤	⑥	⑧		
性	⑦	⑨	⑩			⑦	⑨	⑩		
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改 革 ・ 改 善 策	委託業者の管理運営状態をチェックし、市広報や市公式ホームページなどで市営プールをPRし、利用者人数の目標値を平成28年度に達成するように事業を進める。	委託業者の管理運営状態をチェックし、市広報や市公式ホームページなどで市営プールをPRし、利用者人数の目標値を平成28年度に達成するように事業を進める。
-------------	---	---

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	市民1スポーツ推進事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040101								
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介			連絡先	72-8399								
計 画	市民プランにおける位置づけ	有 政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む												
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供												
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実												
			事務事業	09	市民1スポーツ推進事業												
P	予算事業名							会計コード	001	款	10	項	06	目	01	事業	03
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	市民一人ひとりが豊かなスポーツライフと健康で明るく活力ある生活を実現するため、総合体育大会を開催する。総合体育大会は、NPO法人茅野市体育協会への委託事業とし競技スポーツの30種目を年間を通じて計画的に実施、開催している。															
	現状と背景 (どうして)	平成17年にNPO法人化された茅野市体育協会の下部組織には、各種目の30協会で組織されている。30協会は、各スポーツ競技規則を熟知していることから、各種目の体育大会を円滑・効率的に企画・開催・運営できるため競技人口の拡大(市民1スポーツ)につながる。															
	目的	受益者 (誰のために)	市内在住、在勤、在学者														
L	対象	対象 (直接働きかける)	茅野市体育協会														
	意図 (どんな状態にしたいか)	競技スポーツに取り組んでいる市民を拡大したい。															
	手段・方法 (どうやって)	総合体育大会開催をNPO法人茅野市体育協会に委託し、年齢・興味・関心・体力・技術・技能レベルに応じた競技大会を企画しもらい、各種目の30協会との協働により大会運営への支援を行う。また、広報、各協会報を通じて開催日時等を周知する。															
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		大会開催実施	大会回数	回	年間の大会数			30									
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値									
		参加人数の増加	参加人数	人	年間参加人数			5,000									

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	1,406,070	3,565,625	3,545,900	3,538,000	3,567,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	1,406,070	3,565,625	3,545,900	3,538,000	3,567,000	
職員数	人						
正規職員	人	0.22	0.02	0.01	0.01	0.01	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.22	0.02	0.01	0.01	0.01	
対象(者)数				56,253			
延利用(者)数(b)		3,994	3,605	3,449	3,849		
単位コスト(a)/(b)	円	352	989	1,028	919	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	25.00	64.00	63.00	63.00	65.00	
活動指標	大会回数	目標	回	30	30	30	30
		実績	回	30	29	30	30
	達成率	%	100.00	96.67	100.00	100.00	-
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	参加人数	目標	人	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績	人	3,939	3,112	3,449	3,850
	達成率	%	78.78	62.24	68.98	76.98	77.00
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	市民1スポーツ推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040101
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮介	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	昨年以上の参加者拡大を目標とする。	5月1日委託契約完了 6月14日ウォーキング71人 6月28日空手37人 インディカ164人 ゲートボール58人 ソフトボール164人 硬式テニス44人 マレットゴルフ102人 居合道21人 弓道29人 サッカー346人 参加	各種目体育大会の問題点など細かく情報収集できるよう報告書の内容について検討を進める。
第2期	昨年以上の参加者拡大を目標とする。	7月5日バレーボール127人 軟式野球161人 柔道52人 7月12日卓球73人 7月22日ホウリング26人 7月26日剣道47人 陸上競技463人 8月23日水泳130人 8月29日山岳60人 9月20日合気道32人 9月26日ソフトテニス120人 参加	参加者の減少が見られる競技は、周知の方法・開催日の検討が必要。
第3期	昨年以上の参加者拡大を目標とする。	10月4日スローピッチソフトボール55人 ゴルフ100人 11月8日グラウンドゴルフ724人 11月29日バスケットボール50人 参加	参加者の減少が見られる競技は、周知の方法・開催日の検討が必要。
第4期	昨年以上の参加者拡大を目標とする。	2月7日カーリング25人 2月14日スケート229人 2月28日スキー62人 3月5日少林寺80人 参加	参加者の減少が見られる競技は、周知の方法・開催日の検討が必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	B

課 題	人口減により競技人口も減少してきている。他大会と日程が重なる競技があり、慎重な計画が必要。	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 06030103

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		総合体育大会は、競技スポーツに取り組んでいる市民の拡大のために開催しているが、競技人口の減少も進み、総合的な改革が必要である。	総合体育大会は、競技スポーツに取り組んでいる市民の拡大のために開催しているが、競技人口の減少も進み、総合的な改革が必要である。							
	前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性								

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止	② ③ ④ ①	⑤ ⑥ ⑧	⑦ ⑨ ⑩	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止	② ③ ④ ①	⑤ ⑥ ⑧	⑦ ⑨ ⑩	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

改 革 ・ 改 善 策	限られた財源の中で効果的な大会開催ができるよう、委託業務については、財源を確保し内容をよく精査し、大会開催の内容を十分に検討し、市民1スポーツの拡大を図る。	限られた財源の中で効果的な大会開催ができるよう、委託業務については、財源を確保し内容をよく精査し、大会開催の内容を十分に検討し、市民1スポーツの拡大を図る。
-------------	--	--

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	スポーツ活動充実事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040102					
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介			連絡先	72-8399					
計 画	市民プランにおける位置づけ	有 政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む									
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供									
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実									
			事務事業	06	スポーツ活動充実事業									
P	予算事業名				会計コード	001	款	10	項	06	目	01	事業	14
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	各種大会事業は、茅野市在住、在勤、在学者が参加する大会（諏訪地方ジュニア陸上大会、長野県中农信ジュニアスピードスケート大会、茅野市ふらば～る大会等）の他、NPO法人茅野市体育協会の下部組織である、各協会が誘致した定期的大会（持ち回り）や県内外から選手・役員が参加する大規模大会を支援する。 また、地区大会から予選を勝ち抜いた選手またはチームが全国や国際大会等に出場が決定した時に支援する。												
	現状と背景 (どうして)	各スポーツ競技の大会は、楽しみ志向の人から競技志向の人まで、年齢、興味、関心、体力、技術・技能レベルに応じた競技大会を開催しているが、各大会の主管団体では対応できない業務、また大規模大会などは選手役員で1,000人を超える大会もあるため、協働により大会運営を行うため。												
	目的	受益者 (誰のために)	市内在住、在勤、在学者のスポーツ大会参加者、大規模大会は県内外の選手役員											
L	的	対象	主管団体（運営団体）											
		意図 (どんな状態にしたいか)	各競技スポーツへの意識や生涯スポーツの関心を高め、大会を盛り上げる。 各大会への参加者の拡大、競技レベルアップを図り、全国大会等への出場者を拡大する。											
		手段・方法 (どうやって)	広報ちのやホームページなどに、大会情報の掲載 大規模等開催大会の各スポーツ規則にマッチした必要物品の準備 各主管団体で対応できない大会の事務の代行（諏訪地方ジュニア陸上大会、長野県中农信ジュニアスピードスケート大会、茅野市ふらば～る大会等）等											
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		大会開催	大会回数	回	年間の大会数				8					
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
	参加人数の増加	参加人数	人	年間参加人数				5,000						
	激励金交付件数の増加	激励金交付件数	件	年間交付件数				80						

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
事業費等(a)	円	2,582,666	5,090,289	3,640,056	3,554,035	3,778,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円		1,494,000	1,920,000	1,920,000	1,920,000	
一般財源	円	2,582,666	3,596,289	1,720,056	1,634,035	1,858,000	
職員数							
正規職員	人	0.57	1.03	1.03	1.03	1.03	
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人	0.57	1.03	1.03	1.03	1.03	
対象(者)数							
延利用(者)数(b)	人	2,727	4,631	3,893	3,978		
単位コスト(a)/(b)	円	947	1,099	935	893	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	46.00	91.00	65.00	63.00	206.00	
D	活動指標	大会回数	目標	実績	達成率		
			30	37	123.33		
	-	目標	実績	達成率			
		-	-	-	-	-	-
	-	目標	実績	達成率			
		-	-	-	-	-	-
O	成果指標	参加人数	目標	実績	達成率		
			5,000	2,989	59.78		
	激励金交付件数	目標	実績	達成率			
			80	86	107.50		
	-	目標	実績	達成率			
		-	-	-	-	-	-
-	目標	実績	達成率				
	-	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	スポーツ活動充実事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040102
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	大会参加により、選手の競技レベルアップを図る。 各大会への参加者の拡大。	4/29 市町村対抗駅伝茅野市選手団:35人参加 一般4位 小学生11位 5/23 諏訪ジュニア陸上:665人参加	人口減少に伴う選手人口の減少。 底辺の拡大が必要。
第2期	大会参加により、選手の競技レベルアップを図る。 各大会への参加者の拡大。各競技スポーツへの意識や生涯スポーツへの関心を高め、大会を盛り上げる。	8/30 諏訪地方陸上:351人参加 9/11 縄文マラソン:1125人参加	目的を明確にする。
第3期	昨年以上の参加者拡大を目標とする。 生涯スポーツへの関心を高め、大会を盛り上げる。	10/12 市民スポーツ祭:1900人参加 10/18 ふらば～る大会:60人参加	人口減少に伴う選手人口の減少。 底辺の拡大が必要。
第4期	昨年以上の参加者拡大を目標とする。 生涯スポーツへの関心を高め、大会を盛り上げる。	1/24 県ジュニアスピードスケート:264人参加 2/11 諏訪地方スケート:183人参加	人口減少に伴う選手人口の減少。 底辺の拡大が必要。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック			レ		3			レ		3			レ		3	A

課 題	各スポーツ競技の規則の変更に伴い、大会開催の際に必要な物品が増えてきている。 全ての競技について主管団体が大会運営ができるようにする。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 06030102

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	諏訪地方ジュニア陸上競技大会は、諏訪6市町村の小中学生が陸上の実力を競う機会がないため、継続が必要である。 市民1スポーツを推進するため、各種大会については、市民対象のビッグイベントに発展させるよう推進していく。	諏訪地方ジュニア陸上競技大会は、諏訪6市町村の小中学生が陸上の実力を競う機会がないため、継続が必要である。 市民1スポーツを推進するため、各種大会については、市民対象のビッグイベントに発展させるよう推進していく。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (A C T I O N)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	各競技スポーツへの意識や生涯スポーツの関心を高める場として必要であるため、大会回数は9回を下回らないことが必要。 また、各大会への参加者の拡大、競技レベルアップを図るため、参加人数は5000人を下回らないことを数値目標とし、主管団体、各協会との共催事業として継続していく。参加人数が減少した大会について、減少原因を調査する必要がある。	各競技スポーツへの意識や生涯スポーツの関心を高める場として必要であるため、大会回数は9回を下回らないことが必要。 また、各大会への参加者の拡大、競技レベルアップを図るため、参加人数は5000人を下回らないことを数値目標とし、主管団体、各協会との共催事業として継続していく。参加人数が減少した大会について、減少原因を調査する必要がある。								

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	スポーツ育成団体支援事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040103								
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤善彦			連絡先	72-8399								
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む												
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供												
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実												
			事務事業	02	スポーツ育成団体支援事業												
画	予算事業名							会計コード	001	款	10	項	06	目	01	事業	05
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	・生涯スポーツの推進を図るために、市内のスポーツ活動の中心団体である特定非営利活動法人茅野市体育協会を支援し、スポーツを通して青少年健全育成を進める。 ・スポーツ少年団は、青少年にスポーツの歓びを理解させ、からだと心を育てる組織を社会に作ることを目的に発足しこれを支援する。															
	現状と背景 (どうして)	競技スポーツの競技力向上、地域に根ざしたスポーツ活動の推進及び発展を目指す。															
	目的	対象	受益者 (誰のために)	競技スポーツを行っている市民及びこれから各種スポーツを始める市民。													
対象		対象 (直接働きかける)	同上														
意図 (どんな状態にしたいか)		市民1スポーツを目指し、「生涯スポーツ」「競技スポーツ」の振興と充実															
L	手段・方法 (どうやって)	特定非営利活動法人茅野市体育協会・スポーツ少年団															
	N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値						
スポーツ祭・大会の参加人数を増やす			大会参加人数	人	大会参加人数					40,000							
教室の受講者を増やす			教室受講者数	人	教室受講者数					5,000							
体育協会・スポーツ少年団の加盟者を増やす			加盟者数	人	加盟者数					5,000							
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値							
大会参加人数の増加		前年比大会参加者増加率	%	$(\text{当年度参加者数} - \text{前年度参加者数}) / \text{前年度参加者数} \times 100$					105								
受講者数の増加		前年比教室受講者増加率	%	$(\text{当年度受講者数} - \text{前年度受講者数}) / \text{前年度受講者数} \times 100$					105								

実	施	状	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
						事業費等(a)	円	5,780,000	3,780,000	3,780,000	3,780,000
財	源	内	訳	国庫支出金	円						
				県支出金	円						
				地方債	円						
				その他特定財源	円						
職	員	数	一般財源	円	5,780,000	3,780,000	3,780,000	3,780,000	3,780,000		
			正規職員	人	0.49	0.34	0.34	0.34	0.34		
			嘱託職員	人							
			臨時職員	人							
合計	人	0.49	0.34	0.34	0.34	0.34					
受	益	者	負	担	額	対象(者)数					
						延利用(者)数(b)					
						単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-
						市民一人当たりのコスト	円	103.00	68.00	68.00	68.00
活	動	指	標	大会参加人数	目標	人	40,000	40,000	40,000	40,000	
					実績	人	43,895	40,657	42,986	40,013	
				達成率	%	109.74	101.64	107.47	100.03		
				教室受講者数	目標	人	5,000	5,000	5,000	5,000	
					実績	人	4,712	4,654	4,931	4,807	
				達成率	%	94.24	93.08	98.62	96.14		
加盟者数	目標	人	5,000	5,000	5,000	5,000					
	実績	人	5,112	4,987	4,975	4,262					
達成率	%	102.24	99.74	99.50	85.24						
成	果	指	標	前年比大会参加者増加率	目標	%	105	105	105	105	
					実績	%	110	102	105	93	
				達成率	%	104.76	97.14	100.00	88.67		
				前年比教室受講者増加率	目標	%	105	105	105	105	
実績	%	94	93		105	86					
達成率	%	89.75	88.57	100.00	81.90						
備考											

事務事業名	スポーツ育成団体支援事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07040103
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤善彦	連絡先	72-8399

四半期と	期	目 標	実 績	課 題
	第1期	体育協会・スポーツ少年団の当年度事業に影響のないように早期に補助金を交付し、活動の推進及び発展を図る。	平成27年5月20日交付	
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価						
の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 方 向 性	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		拡 充			
			現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
	休 廃 止	①				
				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						4
課 題	市民のスポーツに対する関心は高くなっているため、初心者スポーツ、ニュースポーツ、競技力向上等は要望が多く、市民1スポーツを目指す本市においては必要な事業となっている。しかし競技スポーツ離れなのか、大会参加人数が減少しているため底辺の拡大から考えて競技人口を増やす必要がある。												記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要			
	前年度総合評価判定				A				前年度評価シート整理番号				07040102				

総 合 評 価 （ C H E C K ）	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	スポーツの関心は高まっており、各協会では初心者スポーツ、ニュースポーツ教室の実施、また、競技力の向上にも力を入れ「市民1スポーツ」を目指し着実に成果をだしている。					スポーツの関心は高まっており、各協会では初心者スポーツ、ニュースポーツ教室の実施、また、競技力の向上にも力を入れ「市民1スポーツ」を目指し着実に成果をだしている。				
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 策 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性					今 後 の 方 向 性				
	成 果 的 方 向 性					成 果 的 方 向 性				
	拡 充		②	⑤	⑦	拡 充				
現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ		
縮 小		④	⑧	⑩	縮 小					
休 廃 止	①				休 廃 止					
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
市民1スポーツを目指す本市においては必要な事業となっている。体育協会の充実を図ることにより「市民1スポーツ」を益々推進する。					市民1スポーツを目指す本市においては必要な事業となっている。体育協会の充実を図ることにより「市民1スポーツ」を益々推進する。					

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤柄敏
---------	------------	---------	----------	-----

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		親子で運動推進事業		事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040104								
担当部署		教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介		連絡先	72-8399								
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む											
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供												
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実												
			事務事業	08	親子で運動推進事業												
画	予算事業名							会計コード	001	款	10	項	06	目	01	事業	06
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	幼児トリム教室、小学生エンジョイスports教室は、スポーツ推進委員が担当している教室で、幼児、小学生を対象にスポーツを楽しむきっかけとなるようなスポーツ教室を開催実施し、障がい児童を対象にひよこ教室を開催している。															
	現状と背景 (どうして)	体力の低下、屋内遊びの増加、運動量の減少、学校週5日制、子どものスポーツ離れなど、現在の現状に対応しスポーツ活動の習慣化を図るため。															
	目的	対象	受益者 (誰のために) 障害児童、幼児、小学生とその保護者 対象 (直接働きかける) 各教室の指導者 意図 (どんな状態にしたいか) 各教室に参加した幼児や小学生が、スポーツを好きになり、スポーツ活動の習慣化を図る。														
L	手段・方法 (どうやって)	・スポーツの効果と楽しさを認識できるような教室運営への参画 ・小学生対象：様々なスポーツ種目が体験できる小学生エンジョイスports開催し、スポーツを楽しみ、スポーツを通じての仲間づくりの機会をつくる。 ・保育園年中、年長対象：幼児トリム教室の実施（運動遊びを通して基本的運動能力を身につけ、身体を動かすことの楽しさを知ってもらう） ・障がい児童対象：身体訓練の充実を図るひよこ教室を開催。															
	N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値							
子供の体力向上、生涯スポーツの振興			教室開催数	回	実施回数				50								
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
		スポーツ活動の習慣化	教室への参加率	%	参加者数/対象者数(割合)				8								

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
	実	事業費等(a)	円	701,788	946,516	708,868	638,045	672,000
財源内訳								
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円	430,000	515,000	450,000	530,000	500,000	
一般財源		円	271,788	431,516	258,868	108,045	172,000	
職員数								
正規職員		人	0.41	0.15	0.16	0.16	0.16	
嘱託職員		人						
臨時職員	人							
合計	人	0.41	0.15	0.16	0.16	0.16		
D	対象(者)数		5,037	4,553				
	延利用(者)数(b)		158	117	108	120		
	単位コスト(a)/(b)	円	4,442	8,090	6,564	5,317	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	12.00	17.00	13.00	11.00	34.00	
	O	活動指標	教室開催数	目標	50	50	50	50
			実績	50	63	69	69	
		達成率	%	100.00	126.00	138.00	138.00	
		達成率	%	-	-	-	-	
	成果指標	教室への参加率	目標	8	8	8	8	
実績			8	9	8	8		
達成率		%	100.00	107.50	100.00	100.00		
達成率		%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	親子で運動推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040104
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮介	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	広報のやホームページなどを使い、教室の内容を詳しく掲載し、広く周知し、昨年以上の参加者拡大を目標とする。また、スポーツ活動の習慣化を図る。	トリム年長火曜:17人参加 トリム年長水曜:24人参加 トリム年中:28人参加 エンジョイ:38人参加 ひよこ:13人参加	参加者を増やすために広く広報をおこなう。 講師の確保。
第2期	スポーツ活動の習慣化を図る	トリム年長火曜: トリム年長水曜: トリム年中: エンジョイ: ひよこ:	ひよこ教室の参加率を上げる。 講師の確保。
第3期	スポーツ活動の習慣化を図る	トリム年長火曜: トリム年長水曜: トリム年中: エンジョイ: ひよこ:	ひよこ教室の参加率を上げる。 講師の確保。
第4期	スポーツ活動の習慣化を図る	トリム年長火曜: トリム年長水曜: トリム年中: エンジョイ: ひよこ:	ひよこ教室の参加率を上げる。 講師の確保。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	応募人数が毎年変動するため、講師の人数・依頼が難しい。 ひよこ教室での講師の確保。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
		前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 07040108

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
現代の子どもに不足している運動をする機会の確保のために必要な教室である。トリム教室では募集定員を超えることが多くなり、人気が高くなっている。継続実施していく。	現代の子どもに不足している運動をする機会の確保のために必要な教室である。トリム教室では募集定員を超えることが多くなり、人気が高くなっている。継続実施していく。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
成果の方向性	拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

改革・改善策	応募人数が毎年定員に達するよう、広く広報活動をしていくことが必要である。	応募人数が毎年定員に達するよう、広く広報活動をしていくことが必要である。
--------	--------------------------------------	--------------------------------------

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		健康増進・体力づくり推進事業			事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040105								
担当部署		教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介			連絡先	72-8399								
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む													
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供													
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実													
			事務事業	11	健康増進・体力づくり推進事業													
画	予算事業名								会計コード	001	款	10	項	06	目	01	事業	06
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	健康で心豊かに生活できる活力ある茅野市健康づくりのため、各種スポーツ講座、健康づくり講座等を実施する生涯スポーツ講座を企画、開催する。																
	現状と背景 (どうして)	車社会となり、日常生活運動量が減少し、生活習慣病が増加傾向にある。茅野市健康づくり計画では、運動習慣の目標値を定めており目標に向けて、一人ひとりが健康に必要な知識及び実践活動の方法を学ぶ必要がある。																
	目的	対象 (誰のために)	高齢者、市民で生涯スポーツに興味のある人															
対象 (直接働きかける)		茅野市スポーツ推進委員会																
意図 (どんな状態にしたいか)		生涯スポーツに取り組む市民を拡大したい。																
A	手段・方法 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、学校等を通じて開催日時等を周知する。 ・健康づくり計画運動部会事業及び熟年体育大学との連携により推進する。 ・各種実施。 																
	N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値								
楽しみながら健康づくりができる			講座参加者数	人	参加者実数				200									
成果指標		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値									
		運動する機会を提供する	開催回数	回	年間実施回数				6									

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)
			事業費等(a)	円	72,548	72,863	114,880
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
職員数	一般財源	円	72,548	72,863	114,880	117,713	184,000
	正規職員	人	0.27	0.03	0.03	0.03	0.03
	嘱託職員	人					
	臨時職員	人					
状況	合計	人	0.27	0.03	0.03	0.03	0.03
	対象(者)数						
D	延利用(者)数(b)						
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
O	受益者負担額	円					
	市民一人当たりのコスト	円	1.00	1.00	2.00	2.00	7.00
活動指標	講座参加者数	目標	人	200	200	200	200
		実績	人	320	187	151	150
	達成率	%	160.00	93.50	75.50	75.00	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
成果指標	開催回数	目標	回	6	6	6	6
		実績	回	6	8	11	9
	達成率	%	100.00	133.33	183.33	150.00	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	健康増進・体力づくり推進事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040105
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	参加者拡大をする。	5/9 トレーニング室器具使用説明会①:19人参加 5/31 ニュースポーツ教室:23人参加	50.60代の参加者の割合が多い。20～40台の参加者を増やす。
第2期	参加者拡大をする。	7/5 健康ウォーキング:22人参加 7/12 体力測定:24人参加 8/26 トレーニング室器具使用説明会②:12人参加 9/16 楽しい健康づくり①:12人参加 9/26 ランニング教室:3人参加	教室によっては、定員に対して参加者が少ない。健康増進。体力づくりに取り組む市民の底辺拡大を目指すために実施内容・広報の仕方の見直しが必要。
第3期	参加者拡大をする。	10/17 トレーニング室器具使用説明会③:10人参加 10/21 楽しい健康づくり②:12人参加	教室によっては、定員に対して参加者が少ない。健康増進。体力づくりに取り組む市民の底辺拡大を目指すために実施内容・広報の仕方の見直しが必要。
第4期	参加者拡大をする。		多くの市民が参加したいと思うような教室の検討。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック		レ			2		レ			2			レ		3	C

課 題	運動講座の内容を充分検討することが必要である。各講座の参加者が少ないため、広報方法の検討、実施内容を充分検討する必要がある。年度初めてランニング教室を開催したが、受講者が取り組みやすいため好評であった。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 C 前年度評価シート整理番号 07040111	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
高齢者を対象とした運動講座への期待は大きいと考えられるので、今後も事業を継続していく。その他の講座は内容が単発のため受講者が集まりにくい。実施内容・方法の検討が必要。	高齢者を対象とした運動講座への期待は大きいと考えられるので、今後も事業を継続していく。その他の講座は内容が単発のため受講者が集まりにくい。実施内容・方法の検討が必要。	高齢者を対象とした運動講座への期待は大きいと考えられるので、今後も事業を継続していく。その他の講座は内容が単発のため受講者が集まりにくい。実施内容・方法の検討が必要。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性	

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 の 方 向 性 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	判 定	成 果 の 方 向 性 拡 充	現 状 維 持	縮 小	休 廃 止	判 定
現状（高齢化社会・子どもの運動離れ・運動する機会の減少）に対応する各教室の計画・実施が必要。実施内容が継続する教室を実施し、運動の定着を図る。					② ⑤ ⑦					レ
現状（高齢化社会・子どもの運動離れ・運動する機会の減少）に対応する各教室の計画・実施が必要。実施内容が継続する教室を実施し、運動の定着を図る。					③ ⑥ ⑩					
					④ ⑧					
					①					
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	自主活動応援事業		事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040106						
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	作成担当者名	小林 亮 介		連絡先	72-8399							
計	市民プランにおける位置づけ	有 政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む									
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供									
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実									
			事務事業	10	自主活動応援事業									
画	予算事業名				会計コード	001	款	10	項	05	目	01	事業	14
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		地域のニーズを活かし、スポーツリーダーが企画立案したコミュニティスポーツ教室実施に係わる経費を負担し、地域でニュースポーツを普及するため、支援する。 また、中学生の社会体育活動として地域指導者に対し支援していく。											
	現状と背景 (どうして)		地域コミュニティが崩壊し、地域教育力の低下、無関心層の増加、地域連携不足になっている。スポーツは、身近な運動施設を中心に趣味を同じくする自発的・自主的な活動を支援することで、コミュニティを芽生えさせる要素を持っている。											
	目的	対象	受益者 (誰のために)	市内の健康や仲間づくりのために運動をしたいと思っている人。 中学生の社会体育活動者。										
対象		対象 (直接働きかける)	茅野市スポーツリーダーバンク 市内中学校の社会体育活動の指導者											
的	意図 (どんな状態にしたいか)	身近な小中学校体育館などを会場に、各地区スポーツリーダーがコミュニティスポーツ教室を企画運営し、誰もが、自分の体力に応じて気軽にできるスポーツを楽しみ、コミュニティを活性化し、健康で明るいまちづくりを目指す。 社会体育競技スポーツ力の向上を図る。												
	手段・方法 (どうやって)	茅野市スポーツリーダーバンクに登録されているスポーツリーダーによる、コミュニティスポーツ教室の実施。 地域の指導者が市内中学校の社会体育活動を行っている者への支援。												
N	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
		活動指標	コミュニティ教室開催	延べ教室開催回数	回	年間実施回数					200			
		社会体育活動の普及	述べ教室開催回数	回	年間実施回数					200				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値				
	スポーツリーダーの登録数	登録者数	人	前年登録者／当年登録者数					100					
	コミュニティ教室参加者数	参加者数	人	前年参加者数／当年参加者数					5,500					

実	施	状	況	D	O	項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
						事業費等(a)	円	1,636,257	1,696,020	1,460,020	1,512,852	1,520,000		
財	源	内	訳	国庫支出金	円									
				県支出金	円									
				地方債	円									
				その他特定財源	円									
一般財源	円	1,636,257	1,696,020	1,460,020	1,512,852	1,520,000								
職	員	数	正規職員	人	0.27	0.10	0.10	0.10	0.10					
			嘱託職員	人										
			臨時職員	人										
合計	人	0.27	0.10	0.10	0.10	0.10								
対象(者)数	人	52,978												
延利用(者)数(b)	人	4,820												
単位コスト(a)/(b)	円	339	-	-	-	-								
受益者負担額	円													
市民一人当たりのコスト	円	29.00	30.00	26.00	27.00	41.00								
活	動	指	標	延べ教室開催回数	目標	回	200	200	200	200				
					実績	回	288	294	271	261				
				達成率	%	144.00	147.00	135.50	130.50	-				
				述べ教室開催回数	目標	回	200	200	50	50				
					実績	回	214	54	30	30				
				達成率	%	107.00	27.00	60.00	60.00	-				
-	目標	-	-	-	-	-								
	実績	-	-	-	-	-								
達成率	%	-	-	-	-	-								
成	果	指	標	登録者数	目標	人	100	100	60	60				
					実績	人	68	61	57	55				
				達成率	%	68.00	61.00	95.00	91.67	-				
				参加者数	目標	人	5,500	5,500	5,500	5,500				
実績	人	4,820	4,666		4,596	3,612								
達成率	%	87.64	84.84	83.56	65.67	-								
備考	市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 03020306													

事務事業名	自主活動応援事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040106
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	小林 亮 介	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	参加者の拡大	コミュニティスポーツ教室開始	スポーツリーダーの高齢化・新規加入者の不足
第2期	参加者の拡大	ジュニアスポーツ教室開催	部活動と社会体育の違いが不明確のため、ジュニアスポーツ教室の実施が難しい。
第3期	参加者の拡大	教室継続	コミュニティスポーツ教室は、参加者の固定化傾向がある。
第4期	参加者の拡大	教室終了	参加者の固定化

事 中 評 価						
管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 的 拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）		現 状 維 持	③	⑥	⑨
			縮 小	④	⑧	⑩
			休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度	当年度
------	-----

評 価	視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
		1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
	チェック					4					4					4	A
課 題	<p>スポーツリーダーの人数が減少しているため、新規認定者を増やし組織を充実させ、より内容を充実させる必要がある。</p> <p>参加者が毎年度固定化している教室がある。新規受講者が増加するよう、スポーツリーダー独自でも、事務局であるスポーツ健康課でも活動や教室の周知を行っていく必要がある。</p> <p>スポーツリーダーバンクについては、今後の活動の方向性・内容を十分に検討する必要がある。</p> <p>中学生対象の社会体育活動の競技力向上のために、支援していく必要があるが、実施内容について精査する必要がある。</p>																
		前年度総合評価判定					A					前年度評価シート整理番号					06030104

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		各地区的スポーツリーダーが行なっているコミュニティスポーツ教室は、各地区の地域スポーツの推進に大きな役割を果たしていると考えられるが、新規受講者が少ない現状がある。今後は、公民館、コミュニティセンターと共同で事業を行うことで、参加者の増加が見込まれる。					各地区的スポーツリーダーが行なっているコミュニティスポーツ教室は、各地区の地域スポーツの推進に大きな役割を果たしていると考えられるが、新規受講者が少ない現状がある。今後は、公民館、コミュニティセンターと共同で事業を行うことで、参加者の増加が見込まれる。			
	ジュニアスポーツ教室の実施により、外部講師を招き競技力向上のために大きな役割を果たしていると考えられる。					ジュニアスポーツ教室の実施により、外部講師を招き競技力向上のために大きな役割を果たしていると考えられる。				
	しかし、指導が伴わない練習（練習試合を含む）は、部活動と実施内					しかし、指導が伴わない練習（練習試合を含む）は、部活動と実施内				
	前年度改革・改善策の実施状況					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後							
	改 革 ・ 改 善 策	成 果 的 拡 充			②	⑤	⑦	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	成 果 的 拡 充				
現 状 維 持				③	⑥	⑨	レ		現 状 維 持				レ
縮 小				④	⑧	⑩			縮 小				
休 廃 止		①							休 廃 止				
	各地区的スポーツリーダーの登録者数を拡大するため、スポーツリーダーのための講習会を積極的に開催する。					各地区的スポーツリーダーの登録者数を拡大するため、スポーツリーダーのための講習会を積極的に開催する。							
	社会体育支援活動では、各種目の活動内容を把握しようとしたが、学校の協力が得られず難しい。					社会体育支援活動では、各種目の活動内容を把握しようとしたが、学校の協力が得られず難しい。							
	ジュニアスポーツ教室の実施は、部活動で実施できない内容（外部講師の指導者を招く等）を支援していく。					ジュニアスポーツ教室の実施は、部活動で実施できない内容（外部講師の指導者を招く等）を支援していく。							

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（施設整備等事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	体育施設整備事業	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040112
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤 善彦	連絡先	72-8399

計 画 目 的 的 手 段 ・ 方 法	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 03 第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む 施策 06 第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供 細施策 12 総合体育館・運動公園の充実 事務事業 04 スポーツ施設整備事業	
	予算事業名	会計コード 001 款 10 項 06 目 02 事業 06			
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	多くの市民及びスポーツ団体に利用されている運動公園の施設の整備を実施計画に基づき計画的に実施する。			
	現状と背景 (どうして)	スポーツ人口が増加しつつある中、運動公園施設は建設から38年が経過している。利用者のニーズに応えるため、スポーツ施設の計画的な改修・整備を行う必要が生じている。			
目 的 的	受益者 (誰のために)	公園を利用する全ての市民			
	対象 (直接働きかける)	同上			
	意図 (どんな状態にしたいか)	市民からのスポーツ施設・設備に関する要望に関する整備を行い、スポーツ環境を整える。			
手 段 ・ 方 法	全体計画（総事業費）	平成26年度までの実績	平成27年度の実績	平成28年度以降の計画	
	スポーツ団体からの要望等を受け、実施計画を作成し、大規模改修及び設備機能の向上を図り、利用ニーズにあった施設の整備を行う。	起流ポンプ取換工事（債務負担分）	オムニコート人工芝張替	各施設の危険箇所や競技の支障になっている整備を助成金の活用を考慮し進めたい。	
	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	施設整備の実施	工事件数	件	整備工事の発注及び内容検査	1
体育関係備品購入	備品件数	件	購入備品の発注及び内容検査	1	
成 果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	施設環境を整える	実施計画の策定・対応件数	件	改修工事の実施	5
	スポーツ設備の充実	不良備品更新・新規拡充件数	件	備品の購入	1

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算又は決算額）	平成28年度事業計画（予算）
事業費等 (a)	円	63,000,000	27,285,300	8,100,000	23,309,640	15,201,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円	42,000,000	4,800,000		6,000,000	
一般財源	円	21,000,000	22,485,300	8,100,000	17,309,640	15,201,000
職員数	人					
正規職員	人	0.41	1.06	1.06	1.06	1.06
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.41	1.06	1.06	1.06	1.06
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	1,122.00	487.00	145.00	416.00	272.00
活 動 指 標	工事件数	目標	2	2	1	3
		実績	2	2	1	3
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	備品件数	目標	2	1	1	1
		実績	2	1	1	1
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
-	目標	-	-	-	-	
実績	-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標	実施計画の策定・対応件数	目標	5	5	5	5
		実績	5	5	5	5
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00
	不良備品更新・新規拡充件数	目標	3	1	1	1
実績		3	1	1	1	
達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
備考						

事務事業名	体育施設整備事業	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07040112
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤 善彦	連絡先	72-8399

期	目 標	実 績	課 題
第1期	オムニコート人工芝張替・図書館裏橋取替工事を早期に実施し、施設利用者の安全を確保し、事故防止に努める。	オムニコート人工芝張替完了し5月28日解放・図書館裏橋取替工事7月9日完成予定	バスケットボール国際ルール変更による、ショットクロックの更新が必要になった。(新ルール適用9月)
第2期	ショットクロックの更新工事を8月末までに実施して9月からの新ルール適用に間に合わせる。	ショットクロックの更新工事8月上旬完了。	広場野球場スコアボード故障
第3期	H28年度陸上競技場3種公認検定に向けた必要備品(ハンマーサークル)を設置する。	10月15日ハンマーサークル設置、10月24日供用開始。	野球場・広場野球場のスコアボード故障、照明コイントイマー故障等老朽化による故障が多発している。
第4期	冬季閉鎖期間中に、スコアボード・コイントイマー等不良個所の修理取り換えを行い、次期シーズンに備える。	スコアボード・コイントイマー工事発注済。外施設解放までに終了予定。	28年度陸上競技場公認検定に向けた舗装路の改修及び必要備品の購入

事 中 評 価																					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 陸上競技場公認事前指導により、舗装路の改修が必要になった。広場野球場のスコアボード(S52年)が故障しており、補修部品が調達できないため全面改修が必要である。	今 後 の 方 向 性																				
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 広場野球場スコアボード全面改修 陸上競技場ウレタン舗装改修	方 向 性																				
	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	拡 充	②	⑤	⑦	レ	現状維持	③	⑥	⑨		縮 小	④	⑧	⑩		休 廃 止	①			
拡 充	②	⑤	⑦	レ																	
現状維持	③	⑥	⑨																		
縮 小	④	⑧	⑩																		
休 廃 止	①																				

評価年度	当年度
------	-----

視 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	A
チェック					4					4					4	

課 題	<p>運動公園は建設後38年が経過し、大規模改修。大規模整備を必要としている施設が多数見受けられる。 厳しい財政状況の中で必要性の高い事業、優先すべき事業の優先順位及び内容を常に検討する必要がある。 併せて施設利用人数や費用対効果を見据え、施設縮小も含めた施設の総合的長期整備計画の策定期間を迎えていると思われる。しかし利用者の事故等の発生により、翌年度には計画を修正しなければならない状況が発生する。</p>	記 号 の 定 義	<p>A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要</p>
前年度総合評価判定	A	前年度評価シート整理番号	07040112

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
運動公園全体で大規模改修が必要とする施設が多数見受けられます。施設の総合的長期整備計画の策定が必要であり、施工内容等について十分な打ち合わせをしながら計画をしていきたい。	運動公園全体で大規模改修が必要とされる施設が多く出てきている。施設の総合的長期整備計画の策定が必要であり、施工内容等について十分な打ち合わせをしながら計画を策定していきたい。
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後																																								
成 果 の 方 向 性	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	拡 充	②	⑤	⑦	レ	現状維持	③	⑥	⑨		縮 小	④	⑧	⑩		休 廃 止	①				<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性</p>	拡 充				レ	現状維持					縮 小					休 廃 止				
拡 充	②	⑤	⑦	レ																																						
現状維持	③	⑥	⑨																																							
縮 小	④	⑧	⑩																																							
休 廃 止	①																																									
拡 充				レ																																						
現状維持																																										
縮 小																																										
休 廃 止																																										
改 革 ・ 改 善 策	<p>今後の方向性については、費用対効果を十分見据え、事業の優先度・重要度を見直し、施設の廃止・縮小も視野に入れ、効果的な整備計画を検討する。整備計画策定にあたっては、専門的な知識と経験が必要となるので、コンサルタントに業務委託をしたい。整備工事については優先度、重要度の検討や工事内容についても精査しながらスピード化を図ることにより、事業費が拡大する。</p>	<p>今後の方向性については、費用対効果を十分見据え、事業の優先度、重要度を見直し、施設の廃止・縮小も視野に入れ、効果的な整備計画を策定していきたい。整備計画策定にあたっては、専門的な知識と経験が必要となる。しかし、各競技の全国大会開催時期やの誘致状況の情報を得る必要があるためアンテナを高くし情報収集に努めていきたい。</p>																																								

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	スポーツ推進計画策定事業			事業期間	平成	～	27	年度	整理番号	07040113			
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤 善彦			連絡先	72-8399				
市民プランにおける位置づけ	無	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む								
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供								
予 算 事 業 名				会計コード	001	款	10	項	06	目	01	事業	—
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	茅野市のまちづくりにおける10年後のスポーツ振興のあるべき姿と目標を今後のスポーツ推進の方向性や方策を市民の皆さんに明らかにするために推進計画を策定する。												
現 状 と 背 景 (どうして)	市民一人一人がそも自発性のもとに、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、各々の関心や適性に応じて、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画できる環境整備が必要であり、運動する子供としない子供の二極化への対応が課題であり、スポーツの力による観光の活性化等の工業振興を図る必要があるため。												
目 対 象	受 益 者 (誰のために)	全市民											
	対 象 (直接働きかける)	スポーツ推進委員・スポーツリーダー 茅野市体育協会 スポーツ少年団 公民館 社会福祉協議会 コミュニティ											
的 意 図 (どんな状態にしたいか)	市民1スポーツ～市民の体力向上とスポーツ文化の高揚～を合言葉に何らかの形でスポーツに参加し、最低でも市民は週1回以上のスポーツに参加または維持できようになりたい。												
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	市民アンケートを実施してスポーツの現状把握や課題整理ニーズを把握し、10年後のスポーツ振興のあるべき姿と目標を関係団体と内容を検討し計画を作成する。												
評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		策定委員会の開催	策定委員会開催数	回	策定に向けての検討まとめ					10			
	アンケート実施	アンケート実施回数	回	市民アンケートの実施して課題、施策の再検討を行う。					1				
	成果指標	成 果 ・ 効 果 は 何 ？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など					最終目標値			
		スポーツ推進計画策定											

項 目	単 位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円					223,020
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円					223,020
職員数	人			0.40	0.40	0.60
正規職員	人					
嘱託職員	人			0.10	0.10	0.40
臨時職員	人					
合 計	人			0.50	0.50	1.00
対 象 (者) 数						
延 利 用 (者) 数 (b)						
単 位 コ ス ト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受 益 者 負 担 額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	—	—	—	104.00
活動指標	策定委員会開催数	目標	回		9	10
		実績	回		9	9
	達成率	%	—	—	100.00	100.00
	アンケート実施回数	目標	回			1
実績		回			1	1.00
達成率	%	—	—	—	100.00	
成果指標	—	目標	—			
		実績	—			
	達成率	%	—	—	—	—
	—	目標	—			
実績		—				
達成率	%	—	—	—	—	
備 考	スポーツ推進計画の策定が成果指標となるため、数値目標の設定ができない。					

事務事業名	スポーツ推進計画策定事業	事業期間	平成	~	27	年度	整理番号	07040113
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤 善彦	連絡先	72-8399	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	市民要望を把握するためのアンケート調査の実施、課題施策の再検討を行う。他市町村の状況を調べる。	他市町村の状況調査を実施。スポーツ推進委員・スポーツリーダー・公民館体レク専門委員会・体育協会・地区コミュニティに依頼してアンケートを実施中	達成目標数値の設定
第2期	市民アンケートからの課題、施策の再検討を行い素案を作成する。	市民アンケート集計中	達成目標値の必要性
第3期	アンケート集計結果を推進計画に反映させ素案を作成する。	アンケート集計終了したが、有効性に疑問が発生した。	アンケート有効性がなく、再実施が必要になった。アンケート実施方法の検討が必要である。
第4期	年度内の完成は不可能であるが、次年度早期の完成を目指し、市民アンケートを実施方法を企画課と調整し実施に向けた準備をする。	アンケート内容確定	早期にアンケート調査をまとめ、パブリックコメント・全協報告し、28年度中には成果品を完成させる。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 アンケート有効性に問題があり、再実施が必要になった。	今 成 拓 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 成果品の印刷製本費の予算計上	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	早期に企画課と共同で市民アンケートを実施すること、また、アンケート結果を集計するとともに、パブリックコメント等を活用し市民からの意見を推進計画に反映させたものを推進計画に盛り込む。また、議会全員協議会へ報告し次年度中に完成させる。															
	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
	前年度総合評価判定															
	前年度評価シート整理番号															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
		今年度を実施したアンケートの有効性に疑問が生じたことから、アンケートの再実施することになった。アンケートにより現状把握や課題の整理、市民ニーズを把握することで、より市民の声を反映した計画を作成していきたい。					今年度を実施したアンケートの有効性に疑問が生じたことから、アンケートの再実施することになった。アンケートにより現状把握や課題の整理、市民ニーズを把握することで、より市民の声を反映した計画を作成していきたい。			
	前年度改革・改善策の実施状況 一部実施					前年度細施策評価における今後の方向性				

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 休 廃 止	①				成 果 の 方 向 性 休 廃 止			
	成 果 の 方 向 性 縮 小		④	⑧	⑩	成 果 の 方 向 性 縮 小				
	成 果 の 方 向 性 現 状 維 持		③	⑥	⑨	成 果 の 方 向 性 現 状 維 持				レ
	成 果 の 方 向 性 拓 充		②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性 拓 充				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性		
	アンケートの再実施にあわせ、アンケート結果やパブリックコメント等により現状把握やニーズを把握し、課題整理を行い策定計画に反映させることで、10年後のスポーツ振興のあるべき姿と目標を関係団体と内容を検討し市民目線で実効性のある計画とする。					アンケートの再実施にあわせ、アンケート結果やパブリックコメント等により現状把握やニーズを把握し、課題整理を行い策定計画に反映させることで、10年後のスポーツ振興のあるべき姿と目標を関係団体と内容を検討し市民目線で実効性のある計画とする。				

最終評価年月日	平成28年4月25日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鋤 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

#N/A

事務事業名	第2運動公園・第2体育館建設事業（検討中）	事業期間	平成 〇〇 ~ 〇〇 年度	整理番号	07040115
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤 善彦
				連絡先	72-8399

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む			
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供			
				細施策	12	総合体育館・運動公園の充実			
				事務事業	05	第2運動公園・第2体育館建設事業			
画	予算事業名				会計コード	款	項	目	事業
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	運動公園は、他自治体の運動公園に比較すると市街地に33.8haの広大な敷地の中に16のスポーツ施設があり、年間約32万4千人が利用している。							
	現状と背景 (どうして)	運動公園内の総合体育館は、年間8スポーツ種目の他、公民館などの事業で65大会が開催されるが、大会は土日に集中しており、その大会を目指して、練習は夕方から夜間にかけて行われていることから、利用者は施設使用の予約が取れない状況が相次いでいる。また、市内の利用者が使用したい時も使用できない状況である。							
	目的	受益者 (誰のために)	運動公園利用を希望する方々						
P	対象	対象 (直接働きかける)	同上						
		意図 (どんな状態にしたいか)	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組める環境を構築し地域で「ふれあい、連携する、健康でやさしい地域づくり」を目指す						
	手段・方法 (どうやって)								
N	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
		成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算 又は決算額)	平成28年度 事業計画(予算)	
実 施 状 況	事業費等(a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	職員数							
	正規職員	人						
	嘱託職員	人						
臨時職員	人							
合計	人							
O D	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	活動指標	-	目標	-				
			実績	-				
		-	達成率	%	-	-	-	-
			目標	-				
	成果指標	-	目標	-				
実績			-					
-		達成率	%	-	-	-	-	
		目標	-					
-	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考	H22年度同等の講座が他の課でもあるとの意見があり、未着手。 H23年度は関係機関と検討。 H24年度は関係機関と検討。							

事務事業名	第2運動公園・第2体育館建設事業（検討中）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040115
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤善彦	連絡先	72-8399

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨
		成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩
		成 果 的 方 向 性	休 廃 止	①		
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			

評価年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						

記号の定義
A：計画どおり事業を進めることが適当
B：事業の進め方に改善が必要
C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要
D：事業の統合、休・廃止の検討が必要

前年度総合評価判定
前年度評価シート整理番号 07040114

細 施 策 評 価 前

細 施 策 評 価 後

総 合 評 価	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後								
		成 果 的 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 的 方 向 性	拡 充							
		成 果 的 方 向 性	現 状 維 持	③	⑥	⑨	成 果 的 方 向 性	現 状 維 持							
		成 果 的 方 向 性	縮 小	④	⑧	⑩	成 果 的 方 向 性	縮 小							
		成 果 的 方 向 性	休 廃 止	①			成 果 的 方 向 性	休 廃 止							
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性								皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鈴 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

#N/A

事務事業名	熟年者スポーツ・健康推進事業（検討中）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040116
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤善彦	連絡先	72-8399

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む						
			施策	06	第6節 生涯を通じて学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供						
			細施策	12	総合体育館・運動公園の充実						
			事務事業	07	熟年者スポーツ・健康維持事業						
画	予算事業名						会計コード	款	項	目	事業
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	健康で心豊かに生活できる活力ある地域とするため、各種スポーツ講座、健康づくり講座等を企画、開催する。									
	現状と背景 (どうして)	車社会となり、日常生活運動量が減少し、生活習慣病が増加傾向にある。茅野市健康づくり計画では、運動習慣の目標値を定めており目標に向けて、コミュニティづくりの中で健康に必要な知識及び実践活動の方法を学ぶ。									
	目的	対象 (誰のために)	高齢者、市民で事業（講習会、教室）に興味のある人								
対象 (直接働きかける)		同上									
意図 (どんな状態にしたいか)		市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組める環境を構築し地域で「ふれあい、連携する、健康でやさしい地域づくり」を目指す									
L	手段・方法 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで健康生活への関心を深め、コミュニティづくりの中で健康生活に必要な知識・実践活動の方法を学ぶ。 ・健康づくり計画運動部会事業及び熟年体育大学との連携により推進する。 ・メディカルチェック・体力測定の実施。 									
		N	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値	
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値			

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
	実	事業費等(a)	円					
財源内訳								
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円						
一般財源		円						
職員数								
正規職員		人						
嘱託職員		人						
臨時職員	人							
合計	人							
D	対象(者)数							
	延利用(者)数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-	
	活動指標	目標	-					
		実績	-					
		達成率	%	-	-	-	-	
		目標	-					
	成果指標	目標	-					
実績		-						
達成率		%	-	-	-	-		
目標		-						
備考	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考	H22年度同等の講座が他の課でもあるとの意見があり、未着手。 H23年度は関係機関と検討。 H24年度は公民館事業の高齢者講座講師報酬を支出している。							

事務事業名	熟年者スポーツ・健康推進事業（検討中）	事業期間	平成	～	年度	整理番号	07040116
担当部署	教育委員会事務局	スポーツ健康課	スポーツ健康係	作成担当者名	伊藤善彦	連絡先	72-8399

四 半 期 と の 管 理	期	目 標	実 績	課 題
	第1期			
	第2期			
	第3期			
	第4期			

事 中 評 価

今 後 の 方 向 性	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	現 状 維 持		③	⑥	⑨
		縮 小		④	⑧	⑩
		休 廃 止	①			
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

評価年度

評 価 課 題 （ C H E C K ）	視 点	妥 当 性				有 効 性				効 率 性				総 合 評 価 判 定			
	評価の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2		3	4	判定
	チェック					4					4						

記号の定義
A：計画どおり事業を進めることが適当
B：事業の進め方に改善が必要
C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要
D：事業の統合、休・廃止の検討が必要

前年度総合評価判定
前年度評価シート整理番号 07040115

細 施 策 評 価 前

細 施 策 評 価 後

総 合 評 価	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T I O N ）	今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
		成 果 的 拡 充		②	⑤	⑦	成 果 的 拡 充														
		現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持														
		縮 小		④	⑧	⑩	縮 小														
		休 廃 止	①				休 廃 止														
		皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性										皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	スポーツ健康課長	鈴 柄 敏
---------	------------	---------	----------	-------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		団体補助金事務		事業期間	平成	～	年度	整理番号	07010101							
担当部署		教育委員会	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	上原平二	連絡先	633							
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む										
				施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供										
				細施策	14	芸術・文化の振興・保護・伝承										
				事務事業	02	生涯学習のまちづくり推進事業										
予算事業名							会計コード	001	款	10	項	05	目	02	事業	19
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	連合婦人会・美術協会・女性団体連絡協議会・ボーイスカウト・ガールスカウト等の活動に対して補助を行う。															
現状と背景 （どうして）	連合婦人会・美術協会・女性団体連絡協議会・ボーイスカウト・ガールスカウト等の活動は、市の生涯学習活動の一翼を担っていただいております。補助金を交付することにより、会の活動が更に発展する。															
目的 的 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	受益者 （ 誰 の た め に ）	連合婦人会・美術協会・女性団体連絡協議会・ボーイスカウト・ガールスカウト等														
	対象 （ 直 接 動 き か け る ）	同上														
	意図 （ ど ん な 状 態 に し た い か ）	社会教育の充実														
手段・方法 （ ど う や っ て ）	社会教育登録団体に活動費の補助															
N （ ）	活動指標 の 作 成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値								
		社会教育の充実	活動件数	数	申請数			6								
	成果 指 標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値								
		社会教育の充実	活動件数	%	今年度共催数/前年度共催数			100								

実 施 状 況 （ D O ）	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
			事業費等 (a)	円	350,000	350,000	350,000	350,000
財 源 内 訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職 員 数	一般財源	円	350,000	350,000	350,000	350,000	650,000	
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
対 象 （ 者 ） 数	対象（者）数							
	延利用（者）数 (b)							
	単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—	
	受益者負担額	円						
市 民 一 人 当 た り の コ ス ト	市民一人当たりのコスト	円	6.00	6.00	6.00	6.00	12.00	
	活動指標	活動件数	目標 数	6	6	6	6	
		実績 達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	—
	—	目標 実績	—	—	—	—	—	
達成率		%	—	—	—	—	—	
成 果 指 標	活動件数	目標 実績	%	100	100	100	100	100
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	—	目標 実績	—	—	—	—	—	
		達成率	%	—	—	—	—	—
備考	平成27年度から事務事業名等わかりやすい表現に変えた。							

事務事業名	団体補助金事務	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07010101
担当部署	教育委員会 生涯学習部 生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	上原平二	連絡先	633	

期	目 標	実 績	課 題
第1期	社会教育委員の会議において補助団体としての承認をいただく。 社会教育登録団体として、社会教育の充実を進める。	補助事業の実施する。	各団体の構成員の高齢化と活動のマンネリ化
第2期	社会教育登録団体として、社会教育の充実を進める。	補助事業の実施する。	各団体の構成員の高齢化と活動のマンネリ化
第3期	社会教育登録団体として、社会教育の充実を進める。	補助事業の実施する。	各団体の構成員の高齢化と活動のマンネリ化
第4期	社会教育登録団体として、社会教育の充実を進める。	補助事業の実施する。	各団体の構成員の高齢化と活動のマンネリ化

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拓 充 後 果 の の 方 向 性 方 向 性
	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ①
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課 題	各団体の構成員の高齢化と活動のマンネリ化	記 号 の 定 義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
	前年度総合評価判定 A 前年度評価シート整理番号 07010208	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	文化芸術振興のために実施される事業に対して共催負担金として支出しています。文化芸術事業は多岐にわたるため、該当事業がないか情報収集に努めます。	地域の文化芸術の振興のために、共催に関する相談に応じ適切な助言を行っています。									
前年度改革・改善策の実施状況	実 施 済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今後の方向性	成 果 の 方 向 性	拓 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拓 充		
	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持			レ	
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				
改革・改善策	補助金を交付し事業を応援します。現状を維持しながら、事業の継続について支援していきます。					現状を維持しながら、事業の継続について支援していきます。				

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	生涯学習課長	小島吉彦
---------	------------	---------	--------	------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	文化芸術振興基本方針策定事業			事業期間	平成 27 ~	年度	整理番号	07010207					
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	作成担当者名	北澤 ゆき子		連絡先	632					
計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有 政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む								
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供								
			細施策	14	芸術・文化の振興・保護・伝承								
			事務事業	01	芸術・文化活動振興事業								
	予算事業名	一般経費（文化芸術振興基本方針策定）			会計コード	001	款	10	項	05	目	01	事業
事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市は国宝「土偶」（縄文のビーナス・仮面の女神）に代表される世界に誇る縄文文化の歴史遺産を有している。また生涯学習の理念に基づいた市民が自主的に行う創作活動や学習活動が根付いている。これらの資産・環境を活かし育てていくために「文化芸術振興基本方針」を策定し、今後の茅野市の文化芸術を振興するうえでの目標とその実現に向けた取り組みの方向性を明らかにする。												
現状と背景 （どうして）	「文化芸術振興基本法」の制定を機に、茅野市の豊かで特徴のある文化や芸術活動を、市民や文化芸術に係る団体、文化の継承者等と協働・連携しながら支援し、地域の文化芸術資源の保護・継承・活用を行うことが求められている。												
目的	対象 （誰のために）	全市民											
	対象 （直接働きかける）	市民、芸術文化に係る団体、地域の文化の継承者											
	意図 （どんな状態にしたいか）	茅野市の文化芸術の振興を推進していくにあたって、市民、学校、団体、行政等のそれぞれの役割と責務を明らかにし、市民一人ひとりが主役となり、生涯を通じて感性や創造性を育み、心豊かな市民生活を送ることを実現する。											
手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術に関するニーズの把握と現状の分析を行い、素案を作成する。 市民、文化芸術団体、サポートC、地域文化創造と協働で検討委員会を開催し、意見集約→検討→まとめを行う。 基本方針案を市長に提言しパブリックコメントを実施する。 基本方針を決定する。 市議会へ報告し市民への周知を行う。 												
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		策定委員会の開催	策定委員会開催数	回	策定に向けての検討とまとめ				10				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		文化芸術振興基本方針策定	文化芸術振興基本方針	冊					1				

実施状況	項目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）
			事業費等 (a)	円			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円					
	職員数	人					
延利用（者）数 (b)	正規職員	人					
	嘱託職員	人					
単位コスト (a)/(b)	臨時職員	人					
	合計	人					
受益者負担額	対象（者）数						
	市民一人当たりのコスト	円	-	-	-	-	-
活動指標	策定委員会開催数	目標	回				
		実績	回				
	-	目標	%	-	-	-	-
		実績	%	-	-	-	-
	-	目標	%	-	-	-	-
		実績	%	-	-	-	-
成果指標	文化芸術振興基本方針	目標	冊				
		実績	冊				
	-	目標	%	-	-	-	-
		実績	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	文化芸術振興基本方針策定事業	事業期間	平成 27 ~	年度	整理番号	07010207	
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	作成担当者名	北澤 ゆき子	連絡先	632

期	目 標	実 績	課 題
第1期	・地域文化創造、サポートCと三者会議を開催し意見交換を行う。 ・既存の素案の課題、問題点を検証する。 ・国、他市町村の策定状況を調査する。	・地域文化創造、サポートCと三者会議を開催し策定状況の確認を行った。	・既存の素案については、今まで課外での検討はされておらず、内容も新法令に対応していないため、再度作成方法、スケジュールを検討する。
第2期	・国、他市町村の策定状況を調査する。 ・策定スケジュールの作成。 ・策定方法の検討。	・県内19市の策定状況を調査するため、アンケート等を計画していたが、未着手となっている。	・業務未着手の状況であるため、可能なところから進めていかななくてはならない。
第3期	・県内19市の策定状況調査のためのアンケート作成と実施。	・19市の作成状況の調査と参考とする市の計画を入手した。	・最新の計画策定市、茅野市と同等規模の市の計画を参考に、基本指針の骨格(項目)を決め、検討を進める。三者会議を開いて検討する。 ・今後策定する第5次茅野市総合計画、茅野市教育振興基本計画と整合させる必要がある。
第4期	・三者会議に策定のスケジュール、参考にする市の計画を提示し、策定方法の検討を行う。また、策定委員の人選の検討と基本指針の骨格づくりを進める。	2月12日に三者会議を行い策定方法の検討を行った。	・市民参画により策定を行った小金井市の計画を参考にする。

の 管 理	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	レ
	今年度の生涯学習部の重点取組であり、数年前からの懸案事項でもある文化芸術振興基本方針の作成であるが、茅野市民館の管理運営に係る業務が多忙のため、着手することができない状態である。		現 状 維 持	③	⑥	⑨		
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		縮 小	④	⑧	⑩		
	基本方針の策定に向け、必要になるものを精査し、予算要求を行う。		休 廃 止	①				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					

評価年度	当年度
------	-----

評 価 課 題	視 点					妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定						
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定							
チェック					4										レ					3						4	B
課題	今年度は情報収集に留まり策定の具体的なスケジュールの作成、策定委員の選定には至らなかった。今後は第5次茅野市総合計画と同時にスタートできるよう計画的に策定進めていく必要がある。																				記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要					
前年度総合評価判定																					前年度総合評価判定	新規事業					
前年度評価シート整理番号																					前年度評価シート整理番号						

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前										細 施 策 評 価 後									
		三者会議で検討し、スケジュールに沿って検討を進めていく										平成29年度中の計画策定を目指しているが、検討が進んでいない状況である。								
	実施済										前年度細施策評価における今後の方向性									

改 革 ・ 改 善 策	今 後 の 方 向 性					改 革 ・ 改 善 策														
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定										
改革・改善策																				
	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	レ	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
	成 果 の 方 向 性	拡 充					現 状 維 持				縮 小						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
	29年度中に策定できるよう、スケジュールを作成し、策定委員の人選にあたる。										策定方針、策定スケジュール、策定委員会のメンバーを確定させ、進める必要がある。									

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	生涯学習課長	小 鳥 吉 彦
---------	------------	---------	--------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	市民館の管理運営事業	事業期間	平成 22 ~ 年度	整理番号	07010206
担当部署	生涯学習課	作成担当者名	北澤 ゆき子	連絡先	632

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	06	第6章 住民自治のしくみづくり
				施策	01	第1節 市民総参加のまちづくりの推進
				細施策	04	市民活動の推進
				事務事業	09	市民館の管理運営事業
	予算事業名	市民館管理運営事業費			会計コード	001 款 02 項 01 目 10 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	茅野市民館は、パートナーシップのまちづくりの理念と手法により、市民・民間と行政が協働して、政策の企画・立案・評価など、責任分担を確認し合いながら、基本構想の策定、基本計画・実施計画の検討、管理運営計画の策定を行った。平成17年茅野市民館建設にともない、市民館の管理運営は指定管理者制度により行っている。				
	現状と背景 （どうして）	市民館の管理運営は指定管理制度により行っているため、連絡調整が必要になる。また、適正に管理運営がされているかについてモニタリングの必要性がある。				
	目的	対象	受益者 （誰のために）	利用者、来館者		
		対象	指定管理者			
	意図 （どんな状態にしたいか）	気持ちよく利用してもらい、市民館の基本理念を享受できる場とする。				
	手段・方法 （どうやって）	連絡調整を密に行い、きめ細かく状況把握をする。また、全庁的に導入しているモニタリング形式にそってモニタリングを行う。				
N （ ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		モニタリング数	モニタリング数	数		12
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		市民館の入館者数	入館者数	人		130,000

項 目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算 又は決算額）	平成28年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	200,160,425	187,459,400	193,566,888	204,553,778	188,790,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円			2,250,000			
地方債	円						
その他特定財源	円	4,856,456	3,402,208	5,150,000	8,300,000	4,500,000	
一般財源	円	195,303,969	184,057,192	186,166,888	196,253,778	184,290,000	
職員数	人	0.22	0.14	0.26	0.55		
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人	0.10	0.02	0.10	0.80		
合計	人	0.32	0.16	0.36	1.35		
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	3,565.00	3,349.00	3,458.00	3,654.00	3,372.00	
D （ ）	モニタリング数	目標	数	12	12	12	12
		実績	数	12	12	12	12
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
-	達成率	%	-	-	-	-	
	目標	-	-	-	-	-	
O （ ）	入館者数	目標	人	130,000	130,000	130,000	130,000
		実績	人	134,517	139,017	144,699	142,440
	達成率	%	103.47	106.94	111.31	109.57	107.69
	-	目標	-	-	-	-	-
実績		-	-	-	-	-	
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	市民館の管理運営事業	事業期間	平成 22 ~	年度	整理番号	07010206	
担当部署	生涯学習部	生涯学習課	文化芸術係	作成担当者名	北澤 ゆき子	連絡先	632

期	目 標	実 績	課 題
第1期	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料の支払計画書締結 三者会議の開催による情報・課題共有と市主催10周年記念事業の開催方法の検討。 スロープ棟漏水対策及天井張替工事入札準備。 第3駐車場の(減額)契約改定手続きを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングに伴い、指定管理者の書類等の確認。 三者会議を開催し、現状把握と課題共有、10周年記念事業の取り組みについて協議。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き三者会議等の開催により、情報や課題共有の場を作っていくことが大切。
第2期	<ul style="list-style-type: none"> 市民館協議会、美術品寄附等検討委員会を開催。 スロープ棟漏水対策及び天井張替工事入札会実施。 第3駐車場の(減額)契約改定手続きを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> H26モニタリングレポートの作成 スロープ棟漏水対策及び天井張替工事入札会実施。 市民館協議会、美術品寄附等検討委員会の実施。 第3駐車場の平成28年度からの賃借料減額について協議が成立。(坪10,000円/年→坪9,500円/年) 	<ul style="list-style-type: none"> スロープ棟漏水対策及び天井張替工事入札不調により、設計内容見直しと再入札の準備及び実施。 第6駐車場の賃借料契約期間満了(H28.3月)に伴う今後の駐車場の在り方について検討。
第3期	<ul style="list-style-type: none"> スロープ棟漏水対策及び天井張替工事の実施。 市主催10周年記念セレモニーの計画と実施。 28年度以降の第6駐車場のあり方について検討。 市民館アンケートの検討。 	<ul style="list-style-type: none"> スロープ棟漏水対策及び天井張替工事の実施。 市主催10周年記念セレモニーの実施。 28年度第6駐車場賃借について理事者協議の実施。(賃借料938,300円減・契約期間1年間) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度以降の第6駐車場賃借契約継続検討のため、利用台数調査を行う。
第4期	<ul style="list-style-type: none"> 三者会議の開催による情報・課題共有。 市民アンケートの実施。 28年度第3・第6駐車場契約準備。 	<ul style="list-style-type: none"> 三者会議を開催し、アンケートの項目を検討。 市民館アンケートの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民館アンケートの検証と考察の作成。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 スロープ棟漏水対策及び天井張替工事入札不調により、設計内容の見直しと再入札の準備を進める。漏水対策工事費約4,000千円増。	今 成 果 拡 充 後 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 向 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 開館10年を経て耐用年数の経過した蓄電池等の改修が順次必要となる。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
チェック					4			レ		3					4	B

課題	市民館の管理運営は指定管理者制度により行っているため、連絡調整が必要になる。また、適正に管理運営がされているかについてモニタリングによるチェックの必要性がある。 第6駐車場の利用台数を調査し継続の有無を検討する。	記号の定義 A: 計画どおり事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	B	
前年度評価シート整理番号	01070207	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	指定管理者による管理運営がなされているため、モニタリングをし、適正な状況が保たれているか、項目によるチェックが必要です。また、連絡調整を頻繁に行うことで、状況の把握ができることから、早期の問題発見につながると考えられます。	指定管理者による管理運営がなされているため、管理運営計画に沿った運営をしているかの確認が必要である。また、指定管理者、サポートCとの三者会議の開催や市民館協議会開催し、市民の皆さんに利用いただく施設を目指している。									
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	成 果 拡 充 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 休 廃 止	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					成 果 拡 充 現 状 維 持 方 向 性 縮 小 休 廃 止			
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性						皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				

改革・改善策	第3・第6駐車場の賃借料減額交渉成立により手続きを進める。 (第3駐車場262,225円減 第6駐車場938,300円減) 29年度以降の第6駐車場の継続について利用台数の把握と検証を行い有無を検討する。(理事者協議により決定する。)	平成30年度からの新たな指定管理に向け、指定管理料など管理運営計画の見直しの検討や手続きなどを進める必要がある。
--------	---	--

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	生涯学習課長	小 島 吉 彦
---------	------------	---------	--------	---------

平成27年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名		団体負担金事務		事業期間	平成	~	年度	整理番号	07010101																															
担当部署		教育委員会	生涯学習部	生涯学習課	生涯学習係	作成担当者名	両角 悠	連絡先	633																															
計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	03	第3章 生涯を通じて楽しく学び続ける、元気で心豊かな市民を育む																																		
			施策	06	第6節 生涯を通じ学び続けることのできる学習機会の充実と場の提供																																			
			細施策	14	芸術・文化の振興・保護・伝承																																			
			事務事業	01	芸術・文化活動振興事業																																			
画	予算事業名							会計コード	001	款	10	項	05	目	02	事業	19																							
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、長野県社会保険協会の会費負担。また、文化芸術事業や諏訪美術展の茅野市教育委員会共催負担金。																																						
	現状と背景 (どうして)	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、長野県社会保険協会の構成員であるため。また、茅野市教育委員会が文化芸術事業や諏訪美術展の共催となっているため。																																						
	目的	対象	受益者 (誰のために)	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、共催事業の文化芸術事業・諏訪美術展																																				
対象		対象 (直接働きかける)	同上																																					
意図 (どんな状態にしたいか)		文化芸術事業の振興を図るために、共催負担金を増やす。																																						
手段・方法 (どうやって)	共催事業を実施する。																																							
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">評価指標の作成</td> <td rowspan="2">活動指標</td> <td>行政活動の結果からつくりだすものは何？</td> <td>指標名称</td> <td>単位</td> <td>算出方法・計算式・目標値設定の考え方など</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td>共催事業を増やす</td> <td>共催申請数</td> <td>数</td> <td>共催申請数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">成果指標</td> <td>成果・効果は何？</td> <td>指標名称</td> <td>単位</td> <td>算出方法・計算式・目標値設定の考え方など</td> <td>最終目標値</td> </tr> <tr> <td>共催事業数を増やす</td> <td>事業件数</td> <td>%</td> <td>今年度共催数/前年度共催数</td> <td>100</td> </tr> </table>																	評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	共催事業を増やす	共催申請数	数	共催申請数	2	成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	共催事業数を増やす	事業件数	%	今年度共催数/前年度共催数
評価指標の作成	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値																																		
		共催事業を増やす	共催申請数	数	共催申請数	2																																		
成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値																																		
		共催事業数を増やす	事業件数	%	今年度共催数/前年度共催数	100																																		

項	目	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予算又は決算額)	平成28年度事業計画(予算)	
実	事業費等(a)	円	106,209	136,041	158,620	209,000	209,000	
	財源内訳	国庫支出金	円					
		県支出金	円					
		地方債	円					
		その他特定財源	円					
	職員数	一般財源	円	106,209	136,041	158,620	209,000	209,000
		正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
		嘱託職員	人					
	状	臨時職員	人					
		合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
対象(者)数								
延利用(者)数(b)								
単位コスト(a)/(b)		円	-	-	-	-	-	
受益者負担額		円						
市民一人当たりのコスト		円	2.00	2.00	3.00	4.00	4.00	
D		共催申請数	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	-
	-	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	-	
O	事業件数	目標	100	100	100	100	100	
		実績	100	100	100	100	100	
	達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
	-	目標	-	-	-	-	-	
実績		-	-	-	-	-		
達成率	%	-	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	団体負担金事務	事業期間	平成	~	年度	整理番号	07010101
担当部署	教育委員会 生涯学習部 生涯学習課	作成担当者名	両 角 悠			連絡先	633

期	目 標	実 績	課 題
第1期	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、共催事業の文化芸術事業・諏訪美術展等に負担金の交付を行なう	共催事業を実施する。	安易な共催依頼などもあり、全て共催を受諾することが難しく、また、共催共催申請のタイミングが遅く良参加できないなどの課題があります。
第2期	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、共催事業の文化芸術事業・諏訪美術展等に負担金の交付を行なう	共催事業を実施する。	安易な共催依頼などもあり、全て共催を受諾することが難しく、また、共催共催申請のタイミングが遅く良参加できないなどの課題があります。
第3期	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、共催事業の文化芸術事業・諏訪美術展等に負担金の交付を行なう	共催事業を実施する。	安易な共催依頼などもあり、全て共催を受諾することが難しく、また、共催共催申請のタイミングが遅く良参加できないなどの課題があります。
第4期	諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯学習市町村協議会、共催事業の文化芸術事業・諏訪美術展等に負担金の交付を行なう	共催事業を実施する。	安易な共催依頼などもあり、全て共催を受諾することが難しく、また、共催共催申請のタイミングが遅く良参加できないなどの課題があります。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	文化芸術振興のために実施される事業に対して共催負担金として支出しています。安易な共催依頼などもあり、全て共催を受諾することが難しく、また、共催申請のタイミングが遅く良参加できないなどの課題があります。															
記号の定義	A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	A															
前年度評価シート整理番号	07010211															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	文化芸術振興のために実施される事業に対して共催負担金として支出しています。文化芸術事業は多岐にわたるため、該当事業がないか情報収集に努めます。	地域の文化芸術の振興のために、共催に関する相談に応じ適切な助言を行っています。									
前年度改革・改善策の実施状況	実施済					前年度細施策評価における今後の方向性					

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	成果の方向性	拡 充		②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充			
	現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持		レ		
	縮 小		④	⑧	⑩		縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					
共催助成金として事業を応援します。						現状を維持しながら、事業の継続について支援していきます。					

最終評価年月日	平成28年5月20日	最終評価責任者	生涯学習課長	小 島 吉 彦
---------	------------	---------	--------	---------